# Bento® 4
# ユーザーズガイド

© 2007-2012 FileMaker, Inc. All rights reserved.

FileMaker, Inc.
5201 Patrick Henry Drive
Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカー及び Bento は、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイルフォルダロゴ及び Bento ロゴは、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。

詳細情報については http://www.filemaker.co.jp をご覧ください。

第 03 版

# 目次


はじめに 7 Bento へようこそ
8 ライブラリのデータを管理する
14 このドキュメントについて
15 詳細情報のリソース

第 1 章 17 Bento の概要
17 ホームダイアログ
18 Bento ウインドウ

第 2 章 31 ライブラリを使用する
31 ライブラリについて
32 Bento テンプレートを使用してライブラリを作成する
34 新規空白ライブラリを作成する
34 ライブラリのアイコンを変更する
35 Bento データベースを共有する
37 ライブラリをグループ化する
38 ライブラリからレコードを削除する
38 ライブラリを削除する

第 3 章 39 アドレスブックライブラリを使用する
39 アドレスブックライブラリについて
40 アドレスブックアプリケーションのデータを表示する
41 アドレスブックアプリケーションをアップデートする Bento アドレスブックフィールド
42 アドレスブックアップデートのトラブルシューティング
42 アドレスブックのデータとバックアップ

第 4 章 43 iCal、iPhoto およびアドレスブックライブラリを移行する
44 iCal ライブラリを移行する
44 iPhoto ライブラリを移行する
45 アドレスブックライブラリを移行する

第 5 章 47 コレクションを使用する
47 コレクションについて
48 コレクションを作成する
49 コレクションからレコードを取り除く
49 コレクションを削除する
50 スマートコレクションについて
50 スマートコレクションを作成する
51 スマートコレクションを変更する

第 6 章 53 フォーム形式を使用する
53 フォームについて
54 フォーム形式でレコードを作成する
54 フォーム形式でレコードを編集する
55 フォーム形式でレコードを複製する
55 フォーム形式でレコードを削除する
56 フォームを作成する
56 フォームを削除する
57 フォームを表示または隠す
57 フォームを複製する
57 フォームをコピーする
58 フォームの名称を変更する
58 フォームをロックおよびロック解除する
59 フィールドをフォームに追加する
59 フィールド間を移動する
60 フォームのフィールドとオブジェクトを移動する
60 フィールドとオブジェクトのサイズを変更する
61 フィールドをフォームから取り除く
61 フォームのレイアウトをカスタマイズする

第 7 章
67 表形式を使用する
67 表形式について
68 表形式でレコードを選択する
68 表形式でレコードを作成する
69 表形式でレコードを編集する
70 表形式でレコードを複製する
70 表形式でレコードを削除する
71 レコードをソートする
71 表形式のフィールドおよび列を使用して作業する
75 列データを集計する

第 8 章
77 グリッド形式を使用する
77 グリッド形式について
78 グリッドとフォームを同時に表示する
78 グリッド項目を表示する
79 グリッド形式のオプションを設定する
79 グリッド項目の表示サイズを変更する
80 グリッド形式でライブラリフォルダを使用する

第 9 章
81 フィールドを使用する
81 フィールドについて
84 フィールドを作成する
93 関連レコードに移動する
94 フィールドパネルを使用する
96 リストフィールドで作業する
101 関連データフィールドを使用して作業する
104 メディアフィールドを使用して作業する
107 暗号化フィールドを使用する
110 場所フィールドで作業する

第 10 章
111 読み込み、書き出し、およびプリント
112 コンマ区切りファイルおよびタブ区切りファイルについて
114 情報を Bento に読み込む
121 情報を Bento から書き出す
126 情報をプリントする

第 11 章 133 情報をバックアップおよび復元する
134 Bento バックアップファイルについて
135 バックアップリマインダーを使用する
135 バックアップリマインダーを変更する
136 バックアップファイルを作成する
136 バックアップファイルから復元する
137 Bento で Time Machine を使用する

第 12 章 139 同期する
139 Mac とデバイスの情報を同期する

付録 A 145 キーボードショートカット

付録 B 149 前のバージョンの Bento に復帰する
149 Bento 4 から前のバージョンに復帰する

索引 153

# Bento へようこそ

## Bento® では、複雑さを感じることなくデータベースを活用して情報を整理できます。

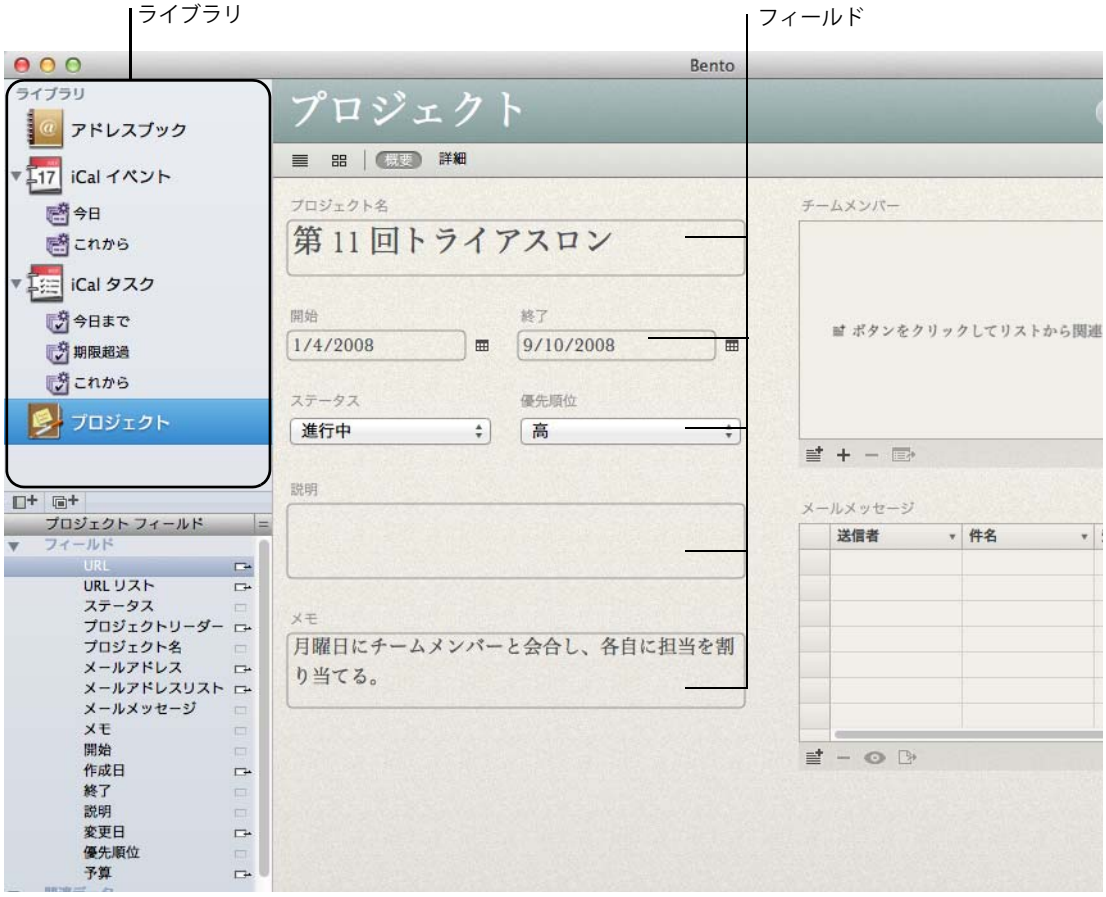
Bento は、連絡先、タスク、そしてさまざまな重要な情報を管理する使いやすいデータベースです。Bento はデータベースであるため、データリレーションシップを作成し、スプレッドシートよりも優れた方法でデータを表示できます。

Bento では重要な情報をひとつの場所にまとめることができ、情報の整理に役立ちます。連絡先の管理、イベントの調整、プロジェクトのトラッキング、タスクの優先順位付けなどを行えるようになります。

## ライブラリのデータを管理する

Bento には、30 以上ものライブラリテンプレートが用意されているため、ライブラリの作成が容易です。支出ライブラリを作成して支出に関する情報をトラックしたり、イベント計画ライブラリを作成して旅行クラブのイベントに関する情報をトラックします。

Bento では、プロジェクトライブラリが用意されているため、旅行クラブのプロジェクト管理をすぐに開始できます。



## その他のアプリケーションからデータを読み込む

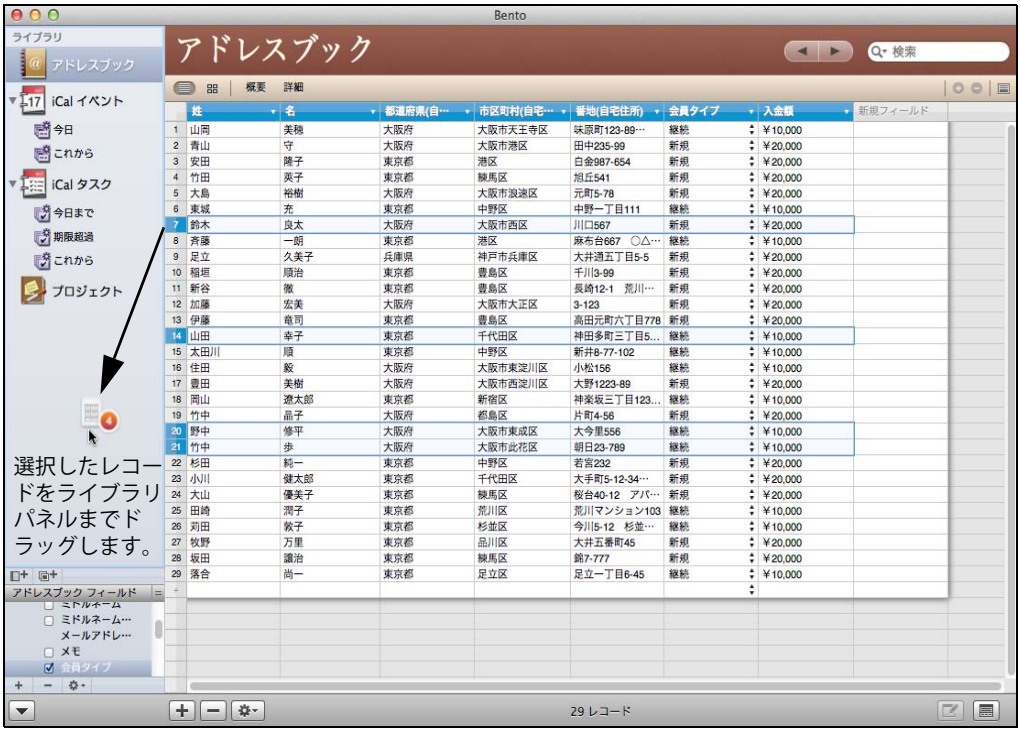
支出のスプレッドシートを Bento にどのように追加しますか？他のアプリケーションからデータを読み込んでライブラリを作成したり、すでに作成したライブラリにデータを読み込むことができます。

スプレッドシートをコンマ区切り (.csv)、タブ区切り (.tab)、Numbers、または Excel ファイルとして保存し、Bento に読み込みます。Bento では、データを保持するためのフィールドと、ファイルのデータの各行に対応するレコードが作成されます。

## コレクションを作成する

次の旅行クラブのイベントのために共に作業するチームがあるとします。すべてのチームメンバーは Bento アドレスブックライブラリにありますが、アドレスブックライブラリの全員ではなく、そのチームメンバーだけを示す小さなグループを作りたいと考えています。その場合は、コレクションを作成します。

コレクションの作成は、アドレスブックのグループや iTunes のプレイリストの作成と同じように簡単です。Bento アドレスブックライブラリを表形式で開きます。チームメンバーのレコードを選択し、[ 選択からコレクションを新規作成 ] メニュー項目を選ぶか、選択したレコードをライブラリパネルまでドラッグします。



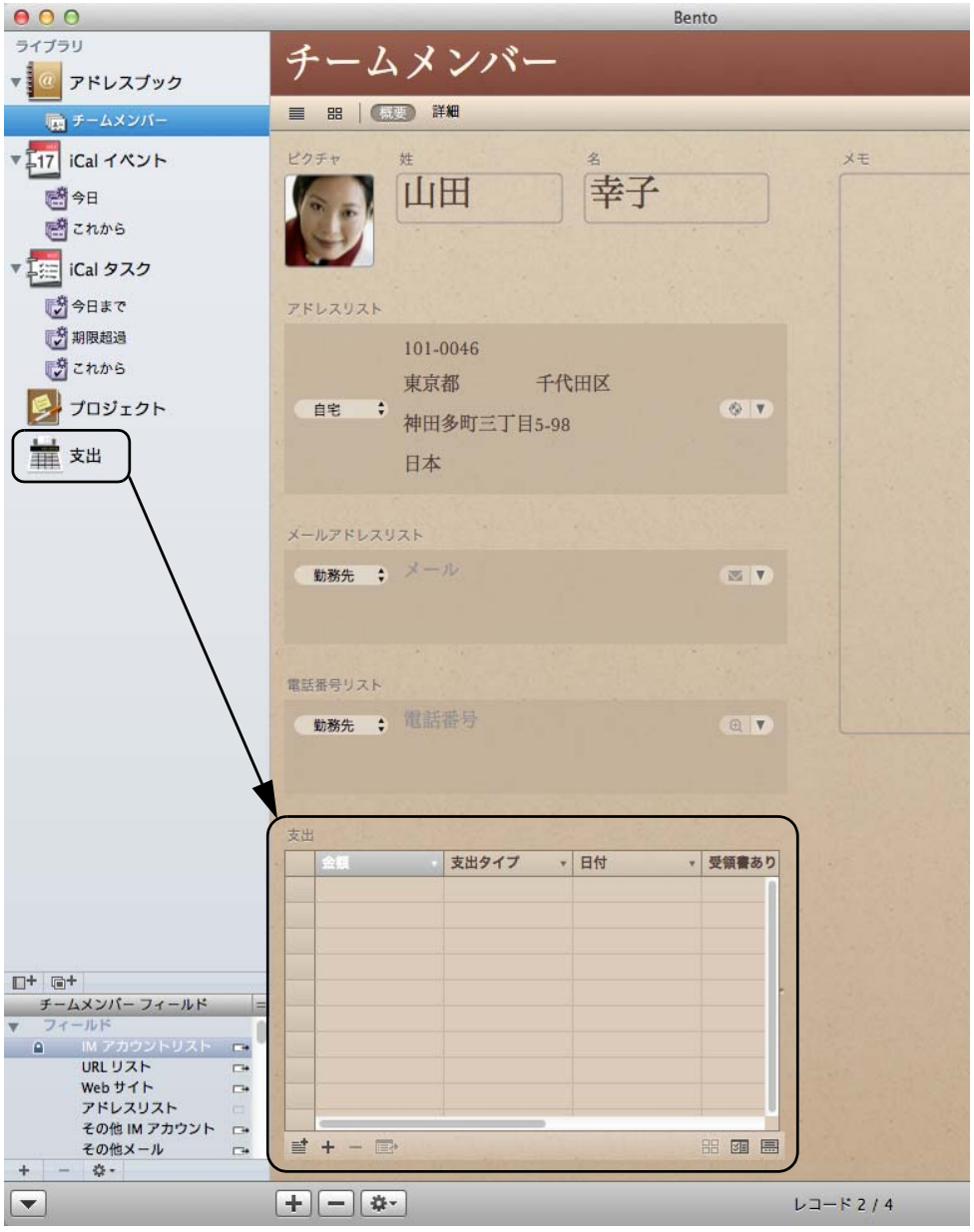

コレクションに「チームメンバー」という名前を付けると、Bento によりチームメンバーコレクションが作成されます。

## リレーションシップを作成する

Bento では、関連データフィールドを使用して、情報のライブラリを簡単に接続できます。

たとえば、チームメンバー別に支出をトラッキングするとします。関連データフィールドを作成するには、「チームメンバー」を「支出」フォームまでドラッグします。

また、各チームメンバーの支出を表示する関連データフィールドを作成することもできます。「支出」を「チームメンバー」フォームまでドラッグします。



# このドキュメントについて

次の表は、このドキュメントで情報が記載されている場所を示します。

| 情報の内容 | 参照先 |
| --- | --- |
| Bento の機能 | 17 ページの第 1 章「Bento の概要」 |
| ライブラリを使用して情報を管理する | 31 ページの第 2 章「ライブラリを使用する」 |
| アドレスブックライブラリを使用して、Mac OS アドレスブックアプリケーションのデータを表示する | 39 ページの第 3 章「アドレスブックライブラリを使用する」 |
| 既存の iCal、iPhoto およびアドレスブックライブラリを移行する | 43 ページの第 4 章「iCal、iPhoto およびアドレスブックライブラリを移行する」 |
| ライブラリからレコードのサブセットを作成する | 47 ページの第 5 章「コレクションを使用する」 |
| 一度に 1 つずつデータを表示する、フォームを作成する、フォームの外観を変更する、新規フィールドをフォームに追加する | 53 ページの第 6 章「フォーム形式を使用する」 |
| 表内のライブラリまたはコレクションのすべてのレコードを表示する | 67 ページの第 7 章「表形式を使用する」 |
| グリッド形式でメディアフィールドとライブラリフォルダを使用する | 77 ページの第 8 章「グリッド形式を使用する」 |
| Bento で提供されるすべてのフィールドタイプ、およびフィールドパネルを使用する | 81 ページの第 9 章「フィールドを使用する」 |
| 読み込み、書き出し、およびプリントによりデータを共有する | 111 ページの第 10 章「読み込み、書き出し、およびプリント」 |
| Bento データのバックアップを作成する | 133 ページの第 11 章「情報をバックアップおよび復元する」 |
| Bento for Mac とデバイス間で情報を同期する | 139 ページの第 12 章「同期する」 |
| キーボードショートカットを使用する | 145 ページの付録 A「キーボードショートカット」 |
| 前のバージョンの Bento に復帰する | 149 ページの付録 B「前のバージョンの Bento に復帰する」 |

# 詳細情報のリソース

Bento を最大限に活用するには、下記のリソースをご利用ください。

## ユーザーズガイド

Bento ユーザーズガイドは、PDF ドキュメントで、Bento の使用に関する詳細情報を提供します。

### ユーザーズガイドを開くには：

[ ヘルプ ] > [Bento ユーザーズガイド ] を選択します。

## 画面上のヘルプ

Bento からヘルプにアクセスするには、[ ヘルプ ] > [Bento ヘルプ ] を選択します。目次内を参照して特定のトピックを検索するか、検索フィールドに質問を入力できます。

## チュートリアル

Bento で実行できる機能について画面上でのデモンストレーションを見るには、チュートリアルを表示してください。

### オンラインチュートリアルにアクセスするには：

[ ヘルプ ] > [ ビデオチュートリアル ] を選択し、画面に表示される指示に従います。

## Bento フォーラム

Bento フォーラムから、テクニカルサポートやヒントにアクセスしたり、問題を報告したり、また、他のユーザと Bento の活用情報を共有してください。

### Bento フォーラムにアクセスするには：

[ ヘルプ ] > [Bento フォーラム ] を選択します。

## Bento テンプレートエクスチェンジ

Bento テンプレートエクスチェンジ Web サイトでは、作成したテンプレートを送信したり、他の Bento ユーザが作成したテンプレートをダウンロードできます。

### Bento テンプレートエクスチェンジにアクセスするには：

[ ヘルプ ] > [Bento テンプレートエクスチェンジ ] を選択します。

メモ　Bento 内からテンプレートを直接送信することもできます。123 ページの「Bento テンプレートエクスチェンジにテンプレートを送信する」を参照してください。

### Bento for iPhone および Bento for iPad

Bento for iPhone および Bento for iPad の機能に関する情報を入手するには、Bento 製品の Web ページにアクセスしてください。

#### Bento for iPhone および Bento for iPad に関する情報を表示するには：

[ ヘルプ ] > [Bento for iPhone, iPod touch and iPad] を選択します。

### テクニカルサポート

Bento ユーザがご利用いただけるサポートオプションの詳細については、サービスおよびサポート情報をご覧ください。

#### サービスおよびサポート情報を表示するには：

[ ヘルプ ] > [ サービスとサポート ] を選択します。

# Bento の概要

# 1

## この章では、Bento の機能の概要について説明します。

この章は、Bento の使用を開始するときに表示される内容の説明です。ホームダイアログを紹介し、ライブラリパネル、フィールドパネル、および表形式、フォーム形式、グリッド形式、または分割形式で情報を表示できるレコード領域などの Bento ウインドウのさまざまなセクションについて説明します。

## ホームダイアログ

Bento を初めて起動するときは、ホームダイアログを使用して Bento について学習したり、最初のライブラリを作成します。

ビデオツアーで、Bento の使いやすさをご体験ください。

Bento では、ライブラリを使用して情報を格納します。Bento の使用を開始する 1 つの方法としてライブラリの作成があります。

ホームダイアログを完了したら、このボタンをクリックして Bento の使用を開始します。

ホームダイアログが不要になったら、[ 開始時にこのダイアログを表示 ] チェックボックスを選択解除します。

## Bento ウインドウ

Bento ウインドウには、2 つのメインセクションが含まれています：

- ウインドウの左側には、ライブラリパネル（デバイスセクションと共有セクションが表示されている場合もあります）およびフィールドパネルが含まれています。
- ウインドウの右側には、Bento のレコードが表示されます。レコードデータは、表形式、フォーム形式、グリッド形式、または分割形式で表示できます。

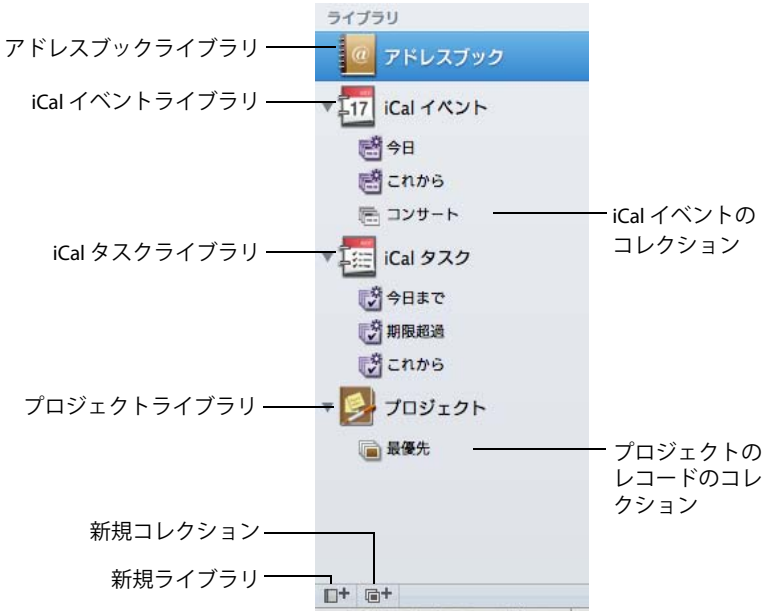
デフォルトでは、Bento ウインドウの両方のセクションが表示されます。ライブラリパネルとフィールドパネルを隠すには、[ 表示 ] > [ ライブラリとフィールドパネルを隠す ] を選択します。

## ライブラリパネル

ライブラリパネルには、Bento にあるライブラリおよびコレクションが表示されます。

- ライブラリ は、内容別にデータを分類します。Bento では、デフォルトで複数のライブラリが提供されています。プロジェクトに関するデータを格納するプロジェクトライブラリは、サンプルデータを持つライブラリの例です。ライブラリを作成すると、その他のカテゴリのデータを格納できます。ライブラリのグループをフォルダで整理できます。

  ライブラリをライブラリパネルに追加するには、[ 新規ライブラリ ] ボタンをクリックします。31 ページの「ライブラリを使用する」を参照してください。



- コレクションは、ライブラリの一連のレコードです。コレクションは、アドレスブックのグループや iTunes のプレイリストに似ています。コレクションには、親ライブラリのレコードが含まれます。ライブラリのレコードは、複数のコレクションに追加できます。たとえば、1 人の人が、友人と同僚の両方に属する場合があります。「友人」および「同僚」という名前のコレクションがある場合、その人の連絡先レコードをアドレスブックライブラリの両方のコレクションに追加できます。

  コレクションをライブラリパネルに追加するには、[ 新規コレクション ] ボタンをクリックします。47 ページの「コレクションを使用する」を参照してください。

ヒント　ライブラリパネルのアイコンおよびテキストのサイズを変更するには、[Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。[ ライブラリパネルテキスト ] で、[ 小 ] または [ 大 ] を選択します。

### コレクション

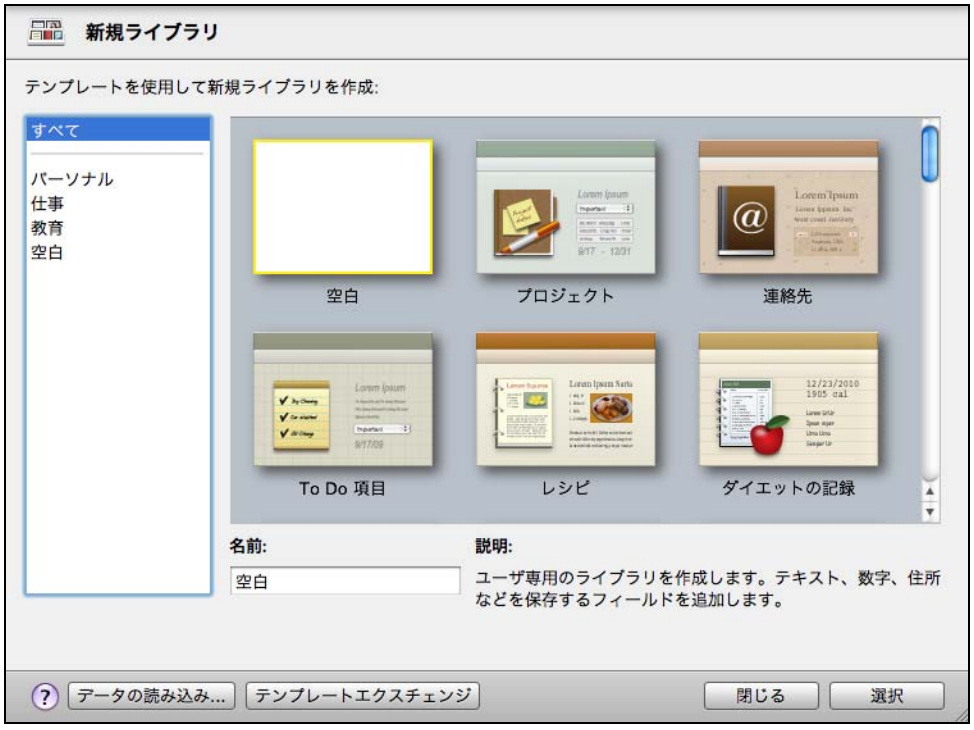
ライブラリのレコードのサブセットを使用する場合は、コレクションを作成します。コレクションには 2 種類あります :

- コレクションは、ライブラリのレコードを新規コレクションに追加すると作成されます。コレクションの作成は、iTunes のプレイリストの作成と同じように簡単です。ライブラリのレコードを選択し、[ 選択からコレクションを新規作成 ] メニュー項目を使用するか、選択したレコードをライブラリパネルまでドラッグします。
- スマートコレクションは、ユーザが設定した条件に基づいて作成されます。定義した条件に適合するレコードがスマートコレクションに表示されます。スマートコレクションを作成するには、[ 詳細検索 ] を使用します。

47 ページの「コレクションを使用する」を参照してください。

## ライブラリを作成する

Bento では、情報の新規ライブラリの作成を容易にする 30 以上のライブラリテンプレートが用意されています。テンプレートは、ライブラリの各レコードに使用する情報のフィールドを定義します。ニーズに応じて変更できます。格納するデータのカテゴリに最も一致するライブラリテンプレートを選択します。




32 ページの「Bento テンプレートを使用してライブラリを作成する」を参照してください。

## デバイスセクション

ライブラリパネルのデバイスセクションには、現在 Bento に接続されているデバイスの数 (2 台まで ) が記録されています。接続されているデバイスがない場合、デバイスセクションは表示されません。

139 ページの「同期する」を参照してください。

### 共有セクション

ライブラリパネルの共有セクションには、ローカルネットワーク（同じサブネット）で共有されているライブラリが一覧表示されます。共有セクションを隠すには、Bento の環境設定で、[ 共有されているデータベースを検索 ] オプションの選択を解除します。

35 ページの「Bento データベースを共有する」を参照してください。

## レコード領域

Bento ウインドウの右側では、Bento に格納されている情報を表形式、フォーム形式、グリッド形式、または分割形式のいずれかとして表示できます。

- 表形式では、スプレッドシートのような表としてライブラリまたはコレクションの情報が表示されます。表の各行が、ライブラリのレコードです。
- フォーム形式では、カスタマイズ可能な配列と、美しいテーマを使用して一度にレコードを 1 つずつ表示します。
- グリッド形式では、メディアフィールドと選択したライブラリ、またはコレクションのフォームサムネールがグリッドレイアウトで表示されます。
- 分割形式では、選択したレコードをフォーム形式と表形式、またはフォーム形式とグリッド形式で同時に表示できます。

表形式では、各レコードを表の行として表示します。

フォーム形式では、単一レコードのフィールドを表示します。

表形式とフォーム形式を分割すると、レコードを表の行、およびページのような形式で同時に表示できます。

グリッド形式では、選択したライブラリにメディアフィールド、またはフォームのサムネールが表示されます。

## 表形式

ライブラリまたはコレクションのすべての情報をスプレッドシートのような表として表示するには、表形式を使用します。

表形式では、次のようなさまざまな方法でレコードを使用できます：

- 表示する列（フィールド）を選択する。
- 任意の順序で列を配置する。
- 特定の列を選択してレコードをソートする。
- 集計行を使用してデータを分析する。

67 ページの「表形式を使用する」を参照してください。

### フォーム形式

一度に 1 レコードずつ情報を表示するには、フォーム形式を使用します。フォーム形式では、各コレクションまたはライブラリに対して複数のフォームを作成し、それぞれに異なる名前を与えることができます。たとえば、プロジェクトライブラリにフォームを作成して、スケジュールの表示とマイルストーンの追跡を行うことができます。

フォームは、次のようなさまざまな方法でカスタマイズできます：

- 表示するフィールドを選択する。
- フォームのフィールドを配置する。
- フィールドのサイズを変更する。
- テーマを使用してフォームの外観を変更する。
- ヘッダとロゴを追加する。

53 ページの「フォーム形式を使用する」を参照してください。

### グリッド形式

選択したライブラリ、またはコレクションで、メディアフィールドとフォームのサムネールを表示するには、グリッド形式を使用します。

グリッド形式では、メディアフィールドとフォームのサムネールをグリッド項目と呼ばれる次のようなさまざまな方法で使用できます：

- グリッド項目のフィルタリング。
- グリッド項目のラベルの設定と変更。
- グリッド項目の表示サイズの変更。

77 ページの「グリッド形式を使用する」を参照してください。

### 分割形式

選択したレコードをフォーム形式と表形式で同時に表示する、または、フォーム形式とグリッド形式で同時に表示するには、分割形式を使用します。

### フォームテーマ

Bento では、フォームに適用可能な多数の美しいテーマが用意されています。すべてのテーマには、コーディネートされた色、レイアウト、フォント、およびテキスト属性が含まれています。フォームのテーマは簡単にいつでも変更できます。

61 ページの「フォームのレイアウトをカスタマイズする」を参照してください。

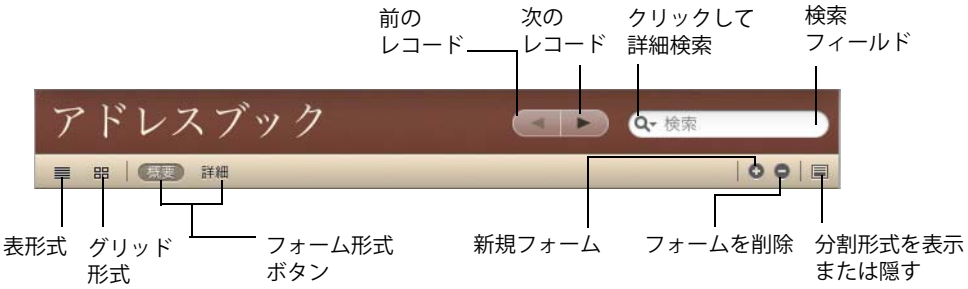
## ナビゲーションバー

ナビゲーションバーには、Bento での情報の表示に役立つ複数のコントロールが含まれています。

- 表形式でレコードを表示するには、 をクリックします。
- グリッド形式でレコードを表示するには、 をクリックします。
- フォーム形式のボタンを 1 つ押すと、ページのような形式で一度に 1 つずつレコードが表示されます。次の例では、[ 概要 ] および [ 詳細 ] というフォーム形式ボタンが 2 つあります。フォーム形式は、必要な数だけ持つことができます。
- 表形式またはフォーム形式から分割形式に切り替えるには、 をクリックします。
- グリッド形式から分割形式に切り替えるには、 をクリックします。

- ライブラリまたはコレクションのレコード内を移動するには、[ 前のレコード ] および [ 次のレコード ] ボタン ( 矢印ボタン ) をクリックします。

  最初のレコードに移動するには、Option を押しながら [ 前のレコード ] ボタンをクリックします。最後のレコードに移動するには、Option を押しながら [ 次のレコード ] ボタンをクリックします。




## 検索フィールドと詳細検索

- [ 検索 ] フィールドを使用して、メディア、関連データ、ファイルリスト、メッセージリスト、および暗号化以外のすべてのフィールドタイプのテキストの単純検索を実行します。

  メモ　暗号化フィールドは、ロック解除されていれば検索できます。

- [ 詳細検索 ] を使用して、特定のフィールドの検索値および条件を定義することにより、一致したレコードのセットを探します。

### 検索フィールドを使用するには：

1　ライブラリまたはコレクションを選択します。

2　検索フィールドにテキスト文字列を入力します。

Bento では、選択したライブラリまたはコレクションの該当フィールドをすべて検索します。Bento では、ユーザに対し、検索文字列に一致したレコードの数を表示し、現在の表示をアップデートして、表形式で選択したフィールドまたはフォーム形式でフォームに追加されたフィールドのレコードと一致するレコードが表示されます。

1.「大」と入力すると、結果のレコード数が 14 になります。

2.「大阪」と入力すると、結果のレコード数が 10 になります。

3.「大阪市」と入力すると、結果のレコード数が 9 になります。

4.「大阪市西区」と入力すると、結果のレコード数が 1 になります。

## 詳細検索を使用するには：

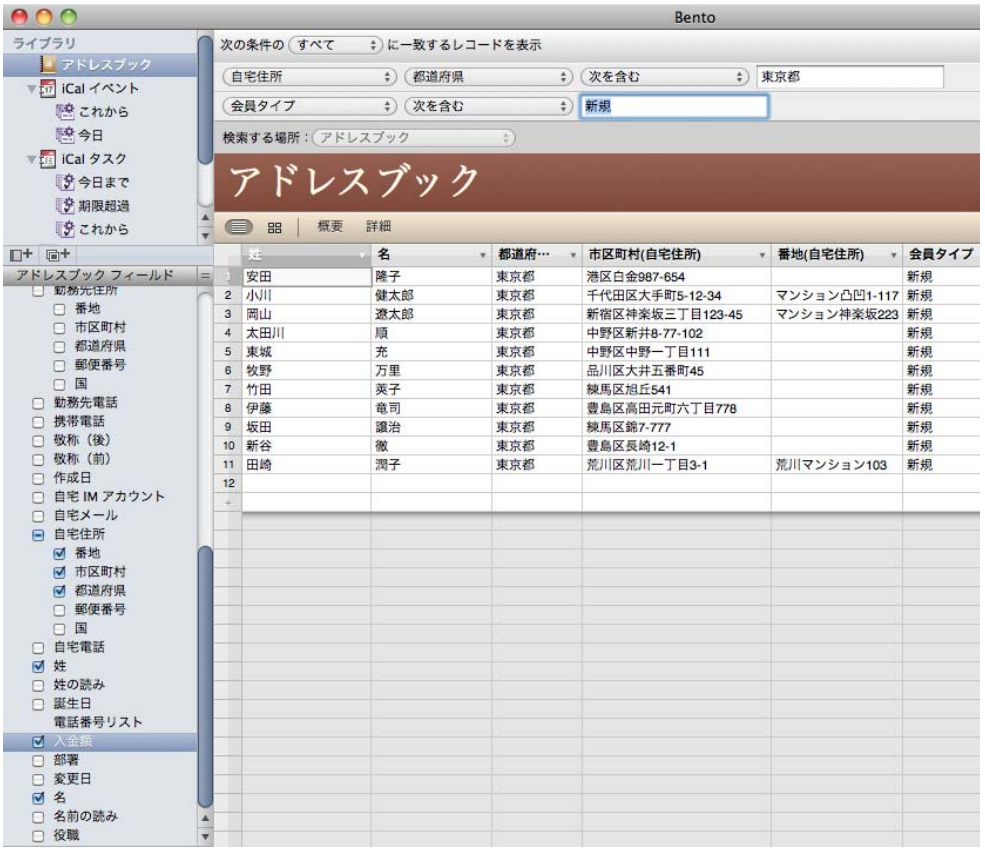
1 ライブラリまたはコレクションを選択します。

2 検索フィールドで、Q- をクリックして [ 詳細検索 ] を選択するか、コマンド + F を押します。

3 検索する内容を指定します。必要に応じて条件を追加または取り除いてください。

場所フィールドで検索する場合は、必ず方角 ( 北、南、東または西 ) を入力してください。入力しない場合、Bento により緯度は北緯、経度は東経と見なされます。

4 [ 検索 ] をクリックします。



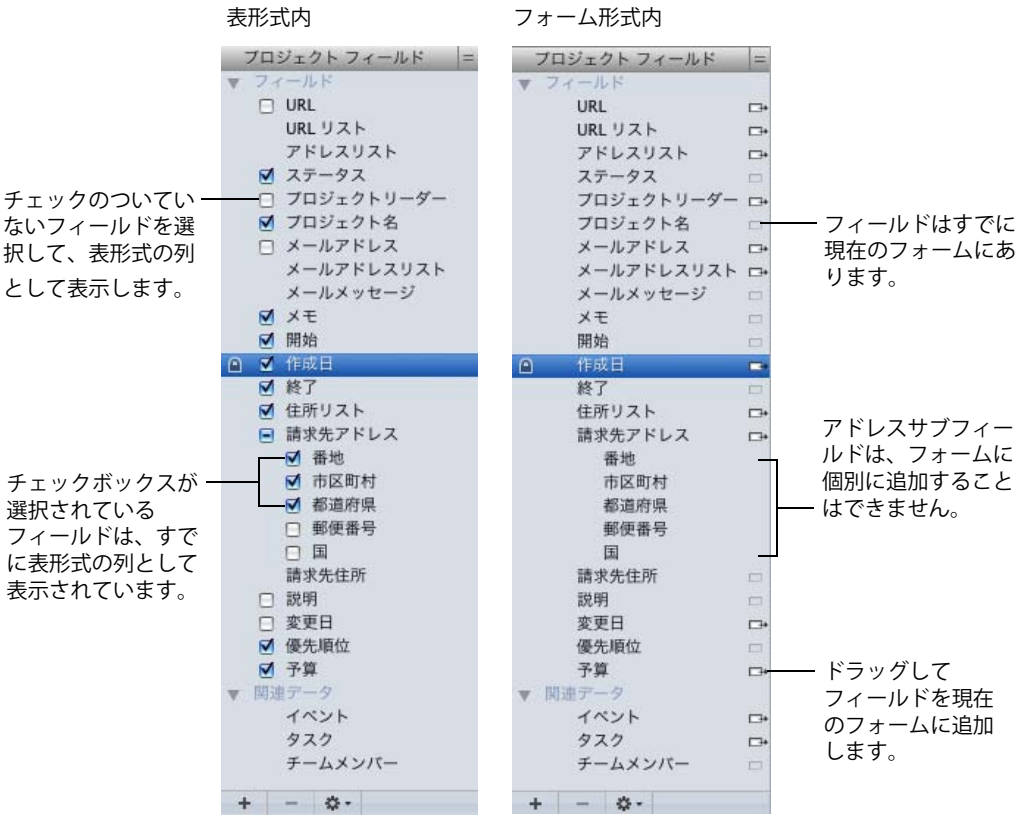

Bento により検索が実行され、一致するレコードが表示されます。

- 一致したレコードをスマートコレクションとして保存するには、[ 保存 ] をクリックします。50 ページの「スマートコレクションについて」を参照してください。
- [ 詳細検索 ] を閉じるには、[ 詳細検索 ] の隣にある X 印をクリックするか、コマンド + F を押します。[ 詳細検索 ] を閉じると、Bento によりすべてのレコードが表示されます。

## フィールドパネル

Bento ウインドウの左側のフィールドパネルには、選択したライブラリまたはコレクションに定義されたフィールドが表示されます。

- 表形式では、フィールドパネルを使用して、どの列を表示するかを選択します。
- フォーム形式では、フィールドパネルを使用して、 の付いたフィールド名をフォームにドラッグし、フィールドを現在のフォームに追加します。
- 分割形式では、現在のフォームに追加できる、または表形式に表示できるフィールドがフィールドパネルに示されます。




94 ページの「フィールドパネルを使用する」を参照してください。

# ライブラリを使用する 2

Bento では、情報の整理にライブラリを使用します。Bento にあらかじめ用意されているライブラリを使用することも、テンプレートを使用して独自のライブラリを作成することもできます。ローカルネットワークで、データベース全体、または選択したデータベースを最大 5 ユーザと共有できます。

次の方法で情報を保持するためのライブラリを作成できます：

- 新規ライブラリダイアログを使用する
- コンマ区切り (.csv)、タブ区切り (.tab)、Numbers、Excel、またはライブラリテンプレートファイルから既存の情報を読み込む

この章では、情報を整理、管理、および共有するためにライブラリを使用する方法を説明します。

## ライブラリについて

Bento は、情報をライブラリに格納します。ライブラリはレコードで構成されており、レコード内のフィールドにより定義されています。

たとえば、デフォルトのプロジェクトライブラリレコードは、プロジェクトステータス、開始日および終了日、チームメンバー情報など、プロジェクトの管理に有用なフィールドで構成されています。

Bento では、ライブラリのレコードを表示する 2 通りの方法を提供しています：

- フォーム形式は、単一レコードのフィールドを表示します。各ページには、アドレスブックライブラリの単一の連絡先レコードなど、一度に 1 レコードが表示されます。ライブラリに対し、1 つ以上のフォーム形式を持つことができます。53 ページの「フォーム形式を使用する」を参照してください。

- 表形式は、アドレスブックライブラリの連絡先のリストなどのように、表内のレコードを表示します。表内の各行は、ライブラリの単一レコードを表します。67 ページの「表形式を使用する」を参照してください。
- グリッド形式では、メディアフィールドと選択したライブラリまたはコレクションのフォームサムネールが一度に表示されます。77 ページの「グリッド形式を使用する」を参照してください。
- 分割形式では、フォーム形式と表形式、またはグリッド形式でレコードを 同時に表示できます。

この章の残りの部分では、ライブラリを作成、使用、および共有する方法について説明します：

- ライブラリテンプレートを使用すると、独自のライブラリを作成できます。後述の 32 ページの「Bento テンプレートを使用してライブラリを作成する」のセクションを参照してください。
- 独自のデータを読み込んでライブラリを作成できます。114 ページの「情報を Bento に読み込む」を参照してください。
- ローカルネットワークで、ライブラリを最大 5 人の Bento ユーザと共有できます。35 ページの「Bento データベースを共有する」を参照してください。

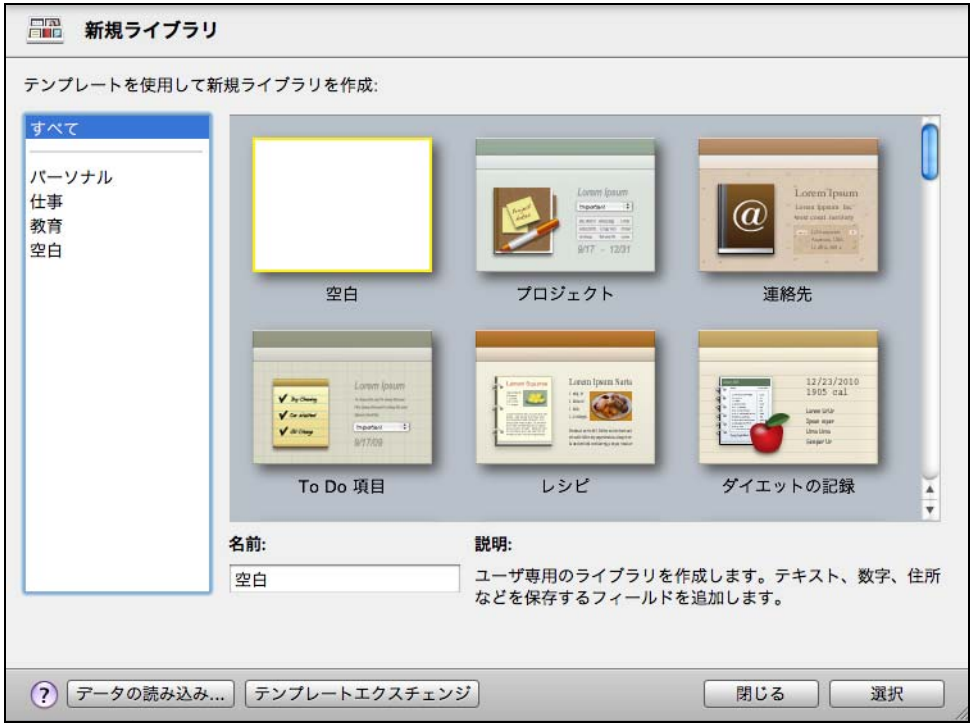
## Bento テンプレートを使用してライブラリを作成する

ライブラリを作成する前に、ライブラリでどのようなタイプの情報を管理するかを考えてください。スケジュールや日付を管理するのですか？連絡先情報を管理するのですか？イベントプランナーでタスクと割り当てを共に提示する方法を探しているのですか？あるいは、在庫や機材リストなどの、具体物のリストを管理するのですか？

Bento では、特定の種類の情報を管理するためのフィールドを作成するライブラリテンプレートを提供しています。また、これらのテンプレートでは、事前に定義したテーマをフォーム形式に適用します。

管理する情報のタイプに最も近いライブラリテンプレートを選択することで、必要なライブラリをよりすばやく作成できます。格納するタイプの情報に合うテンプレートが見つからない場合は、「空白」のテンプレートを使用して、独自のテンプレートを作成できます。テンプレートからライブラリを作成したら、フィールドを追加または取り除いたり、テーマを変更して、フォーム形式をカスタマイズできます。

ヒント　Bento に含める他のアプリケーションからの情報がすでにある場合は、114 ページの「情報を Bento に読み込む」を参照してください。




### Bento テンプレートを使用してライブラリを作成するには：

1. [ ファイル ] > [ テンプレートからライブラリを新規作成 ...] を選択します。
2. [ 新規ライブラリ ] ダイアログの左の列でテンプレートカテゴリを選択し、テンプレートを選択してください。

   ニーズに合うテンプレートがない場合は、[ 空白 ] を選択してください。空白のライブラリを使用して自分ですべてのフィールドを作成できます。

   連絡先テンプレートを選択した場合、Bento でアドレスブックライブラリデータを読み込むことができます。
3. ライブラリ名を入力し、[ 選択 ] をクリックします。

   Bento によりライブラリが作成され、フォーム形式で開きます。

空白テンプレート以外のテンプレートを選択した場合は、新規ライブラリ用に定義されたフィールドを見直してください。

- 新規ライブラリのフィールドおよびフォーム形式が満足のいくものであれば、レコードを追加したり情報を入力する準備ができました。54 ページの「フォーム形式でレコードを編集する」を参照してください。

- 追加フィールドが必要な場合は、フィールドを追加してライブラリをカスタマイズできます。59 ページの「フィールドをフォームに追加する」を参照してください。
- 必要のない情報が定義されているフィールドがある場合は、これらのフィールドを削除します。61 ページの「フィールドをフォームから取り除く」を参照してください。
- フォーム形式のフィールドのレイアウトを変更する場合は、61 ページの「フォームのレイアウトをカスタマイズする」を参照してください。
- フォーム形式の外観を変更する場合は、異なるテーマを選択できます。61 ページの「フォームのレイアウトをカスタマイズする」を参照してください。

## 新規空白ライブラリを作成する

空白のライブラリを作成し、スプレッドシートと同様にデータを追加すると、迅速に使用を開始できます。

### 新規空白ライブラリを作成するには：

1 [ ファイル ] > [ 新規空白ライブラリ ] を選択します。

Bento では、デフォルト名を使用してライブラリが作成され、表形式で開きます。

Bento により、空白レコードが作成されます。このレコードにデータを追加（68 ページの「表形式でレコードを作成する」を参照 )、またはレコードを削除 (38 ページの「ライブラリからレコードを削除する」を参照）できます。

2 名称変更するには、ライブラリ名をダブルクリックします。

3 強調表示されたセルをクリックし、データの入力またはペーストを開始します。

69 ページの「表形式でレコードを編集する」および 69 ページの「表形式でデータをコピーおよびペーストする」を参照してください。

メモ　別のアプリケーションに Bento で使用したい情報がある場合は、情報を読み込んで、ライブラリとそのライブラリのレコードを作成します。114 ページの「情報を Bento に読み込む」を参照してください。

## ライブラリのアイコンを変更する

各ライブラリには独自のアイコンがあります。ユーザは作成したライブラリのアイコンを変更できます。

メモ　Bento で独自のアイコンを作成することはできません。

### ライブラリアイコンを変更するには：

1. ライブラリパネルで、変更するライブラリを Control キーを押しながらクリックします。
2. [ ライブラリアイコンを選択 ...] を選択します。
3. アイコンをクリックし、[OK] をクリックします。

## Bento データベースを共有する

Bento データベースは、ローカルネットワーク ( 同じサブネット ) で最大 5 人の Bento ユーザと共有できます。共有には、データベースを共有する、または共有されているデータベースを検索する各コンピュータ上に現在のバージョンの Bento が必要です。

共有されているライブラリから、データまたはテンプレートを書き出すことができます。詳細については、121 ページの「情報を Bento から書き出す」を参照してください。

Bento の初回起動時、ライブラリはすぐに共有できるように設定されています。その時点で、データベース全体を共有するか、選択したライブラリのみを共有するかを決定できます。

### データベースを他の Bento ユーザと共有するには：

1. [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。
2. ウインドウの上部の [ 共有 ] をクリックします。
3. [Bento データベースを共有 ] を選択します。
4. [ データベース全体を共有 ] または [ 選択したライブラリを共有 ] を選択して、共有するライブラリを選択します。
5. （オプション）共有されているデータベースに、別の名前を入力します。

   この名前は、別のユーザのコンピュータに表示されます（ネットワーク上で共有されているデータベースを検索するように設定されている場合）。
6. 他のユーザが共有されているデータベースを変更できるようにするには、[ 他のユーザにデータへの変更を許可 ] を選択します。

   共有されているデータベースへの変更が許可されていない場合、フィールド上にカーソルを移動すると が表示されます。

   共有されているデータベースを表示しているユーザは、フィールドを作成、または削除したり、フォームレイアウトに変更を加えることはできません。

共有されている間にデータベースに特定の種類の変更を加えると ( フィールド、コレクション、またはフォルダの作成、フォルダの削除、フィールドオプションまたはデータベース名の変更 )、ユーザに対してデータベースから接続を解除し、最新バージョンを使用しているかを確認してから再接続するようにメッセージが表示されます。

7 ユーザが共有されているデータベースを他のコンピュータで表示できるようにするには、コンピュータで Bento を開いたままにしてください。Bento を終了すると、データベースは共有されなくなります。

---

重要　共有されているデータベースを編集しているユーザは、タブで移動したり、現在編集中のフィールドの外側をクリックすると、変更を取り消すことができなくなります。

---

共有されているデータベースの接続を解除するには、データベースの隣にある をクリックします。

## データベースの共有をオフにする

ローカルネットワーク上の他のユーザにデータベースが表示されないようにするには、データベースの共有をオフにします。

### データベースの共有をオフにするには：

1 [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。

2 ウインドウの上部の [ 共有 ] をクリックします。

3 [Bento データベースを共有 ] の選択を解除します。

## 共有されているデータベースを検索する

コンピュータがローカルネットワーク上で別のコンピュータと接続されている場合、共有されているデータベースを検索できます。

### ローカルネットワーク上で共有されているデータベースを検索するには：

1 [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。

2 ウインドウの上部の [ 共有 ] をクリックします。

3 [ 共有されている Bento データベースを検索 ] を選択します。

共有されているデータベースがライブラリパネルの [ 共有 ] セクションに表示されます。

## 共有されているデータベースにパスワードを設定する

一部のユーザのグループのみをデータベースにアクセスさせる場合は、共有されている項目を表示する前に、ユーザに共有パスワードと呼ばれるパスワードの入力を要求することができます。このパスワードはデータベースパスワードとは異なります。データベースパスワードの詳細については、107 ページの「Bento データベースにパスワードを設定する」を参照してください。

### 共有パスワードを設定するには：

1. [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。
2. ウインドウの上部の [ 共有 ] をクリックします。
3. [ 共有パスワードを要求 ] を選択して、パスワードを入力します。

## パスワードで保護された共有データベースを開く

パスワードで保護された共有データベースは、ライブラリパネルに で示されています。

### パスワードで保護された共有データベースを開くには：

1. パスワードで保護された共有データベースを選択します。
2. ダイアログで、共有されているデータベースのオーナーによって設定されている共有パスワードを入力します

## 暗号化フィールドを使用する

まず、共有されているデータベースの共有パスワード ( 設定されている場合 ) を入力してから、データベースパスワードを入力すると、ユーザは共有されているデータベースの暗号化フィールドにアクセスできます。データベースパスワードの詳細については、107 ページの「Bento データベースにパスワードを設定する」を参照してください。

ユーザは共有されている暗号化フィールドのデータをロック、またはロック解除できます。詳細については、108 ページの「暗号化フィールドのデータをロックおよびロック解除する」を参照してください。

# ライブラリをグループ化する

ライブラリのグループをフォルダで整理することができます。

### ライブラリフォルダを作成するには :

1. [ ファイル ] > [ 新規ライブラリフォルダ ] を選択します。

   名称未設定フォルダが現在選択されているライブラリまたはフォルダの上のライブラリパネルに作成されます。

2　フォルダに新しい名前を入力し、Return キーを押します。

### ライブラリフォルダにライブラリを追加するには :

ライブラリを選択して、希望するライブラリフォルダまでドラッグします。

## ライブラリからレコードを削除する

ライブラリから 1 つまたは複数のレコードを削除できます。複数のレコードを削除する場合は、表形式で削除するのが最も簡単です。

### ライブラリから 1 つのレコードを削除するには :

1　ライブラリを選択します。

2　レコードを選択し、[ レコード ] > [ レコードを削除 ...] を選択します ( またはコマンドキーを押しながら Delete キーを押します )。

### 複数のレコードを一度に削除するには :

1　ライブラリを選択します。

2　表形式では、コマンドキーまたは Shift キーを押しながら、削除するレコードをクリックしてから、[ レコード ] > [ 選択したレコードを削除 ...] を選択します ( または、コマンドキーを押しながら Delete キーを押します )。

メモ　コマンドキーを押しながら Delete キーを押すと、レコードはライブラリとコレクションの両方、またはレコードを表示していた関連データフィールドから完全に削除されます。

## ライブラリを削除する

### ライブラリを削除するには :

ライブラリを選択して、Delete キーを押します。Delete キーを押すとライブラリとライブラリのすべてのレコードが削除されます。

このライブラリにある他のライブラリの関連データフィールドも削除されます。

# アドレスブックライブラリを使用する 3

アドレスブックライブラリは、Mac OS アドレスブックアプリケーションからの連絡先情報を表示するため、連絡先情報を再入力する必要がありません。アドレスブックまたは Bento に新規連絡先を入力すると、情報は両方のアプリケーションに表示されます。

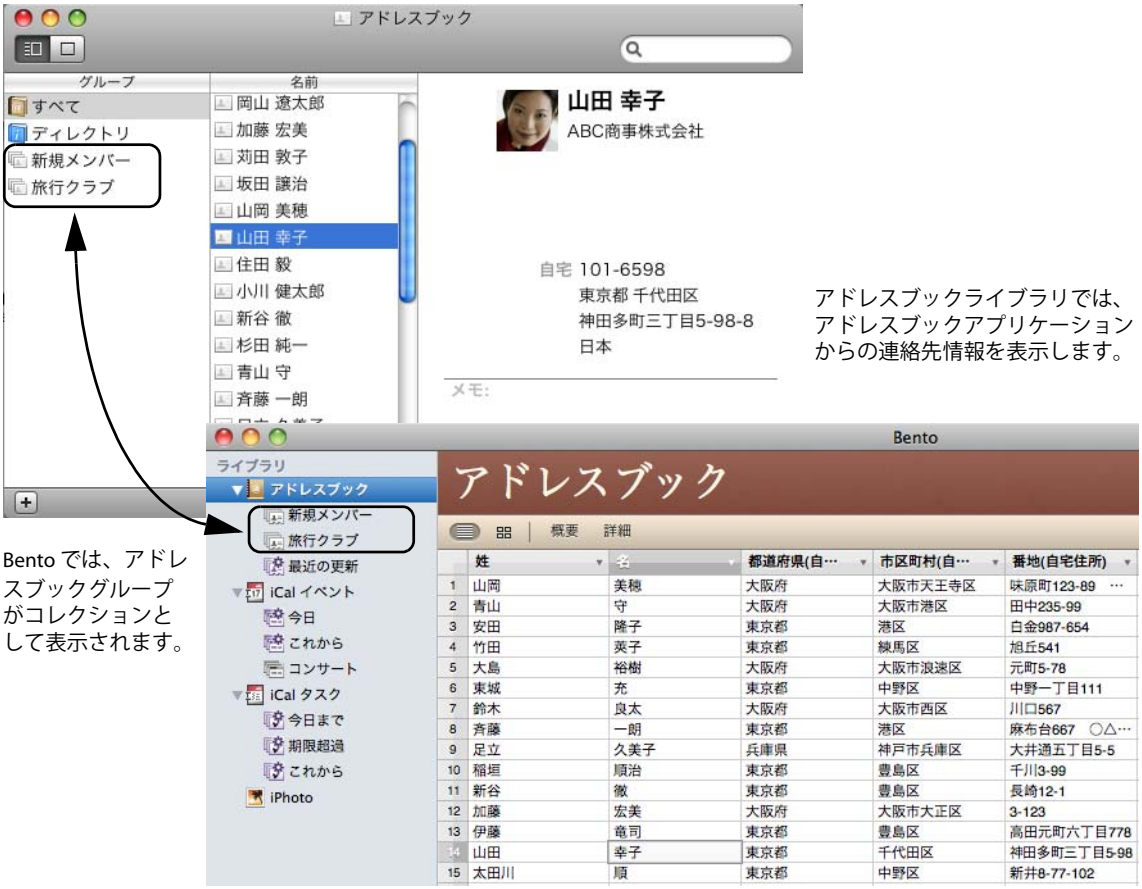
メモ Bento アドレスブックライブラリは Bento 4 for iPad と同期しません。Bento 4 for iPad のアドレスブックを操作するには、アドレスブックライブラリを新しい連絡先ライブラリに移行して、新しい連絡先ライブラリを Bento 4 for iPad と同期します。詳細については、45 ページの「アドレスブックライブラリを移行する」を参照してください。

## アドレスブックライブラリについて

アドレスブックライブラリを表示するように Bento を設定した場合、Mac OS のアドレスブックアプリケーションから連絡先情報とグループが取得されます。Bento のアドレスブックライブラリでレコードの変更を行うと、アドレスブックアプリケーションのレコードも更新されます。

- アドレスブックライブラリにレコードを追加すると、それがアドレスブックアプリケーションに追加されます。
- アドレスブックライブラリでレコードを削除すると、それがアドレスブックアプリケーションから削除されます。
- アドレスブックアプリケーションでグループを作成すると、Bento ではアドレスブックライブラリコレクションが作成されます。
- アドレスブックライブラリでコレクションを作成すると、アドレスブックアプリケーションではアドレスブックグループが作成されます。
- アドレスブックライブラリの下にあるコレクションを削除すると、関連するアドレスブックグループも削除されます。同様に、アドレスブックアプリケーションのグループを削除すると、アドレスブックライブラリの下にある関連するコレクションも削除されます。

メモ 連絡先テンプレートを使用して新しいライブラリを作成するとき、Bento でアドレスブックライブラリデータの読み込みを選択することができます。




アドレスブックライブラリでは、アドレスブックアプリケーションからの連絡先情報を表示します。

Bento では、アドレスブックグループがコレクションとして表示されます。

## アドレスブックアプリケーションのデータを表示する

アドレスブックライブラリの表示はオプションです。

### Bento でアドレスブックデータの表示をオフにするには：

1. Bento で、[ ファイル ] > [ アドレスブックおよび iCal の設定 ...] ( 既存の Bento ユーザの場合 ) または [ ファイル ] > [ アドレスブックの設定 ...] ( 新規ユーザの場合 ] を選択します。
2. 次のいずれかを行います：
   - [Bento にアドレスブックデータを表示 ] を選択して、Bento にアドレスブックライブラリを表示します。
   - [Bento にアドレスブックデータを表示 ] を選択解除して、Bento からアドレスブックライブラリを取り除きます。

メモ アドレスブックデータの表示をオフにすると、アドレスブックライブラリが Bento から取り除かれます。アドレスブックライブラリに基づく関連データフィールドがある場合は、これらのデータフィールドが削除されます。Bento のアドレスブックライブラリで作成されたフィールドもすべて削除されます。

## アドレスブックアプリケーションをアップデートする

### Bento アドレスブックフィールド

次のアドレスブックライブラリのフィールドにより、アドレスブックアプリケーションの情報が更新されます。

| | | |
|---|---|---|
| アドレス：自宅、勤務先、その他 | IM アカウント：自宅、勤務先、その他 | 電話番号リスト |
| 住所リスト | IM アカウントリスト | 名の読み |
| 誕生日 | 会社 | 姓の読み |
| 会社名 | 肩書き | ミドルネームの読み |
| 部署 | 姓 | 敬称（前） |
| メールアドレス：自宅、勤務先、その他 | 旧姓 | 敬称（後） |
| メールアドレスリスト | ミドルネーム | URL |
| 名 | ニックネーム | URL リスト |
| ホームページ | メモ | |
| | 電話番号：勤務先、自宅、携帯電話、主電話番号、自宅ファクス、勤務先ファクス、ポケットベル、その他 | |

アドレスブックライブラリでは、読み込みおよび書き出しを使用できます。アドレスブックライブラリに読み込まれたレコードにより、アドレスブックアプリケーションがアップデートされます。読み込みおよび書き出しについては、111 ページの「読み込み、書き出し、およびプリント」を参照してください。

その他のフィールドを Bento のアドレスブックライブラリのレコードに追加することができますが、追加のフィールドは、アドレスブックアプリケーションには追加されません。フィールドの追加については、81 ページの「フィールドを使用する」を参照してください。

逆に、Mac OS アドレスブックアプリケーションで定義したカスタムフィールドラベルは、Bento のアドレスブックライブラリには表示されません。

## アドレスブックアップデートのトラブルシューティング

このセクションでは、アドレスブックアプリケーションからのデータの表示にともなう一般的な問題のいくつかについて説明します。

- Bento にアドレスブックアプリケーションのスマートグループが表示されないのはなぜですか？

  Bento には、アドレスブックのスマートグループが表示されません。これは、グループの作成に使用される条件が Bento では使用できないことによるものです。

- アドレスブックアプリケーションに私のアドレスブックライブラリのスマートコレクションが表示されないのはなぜですか？

  Bento スマートコレクションの作成に使用される条件は、アドレスブックアプリケーションには渡されません。これは、条件に Bento のみに表示されるフィールドが使用されており、またアドレスブックアプリケーションでは使用できないフィールドが含まれてる可能性があるためです。

- Bento for Mac にアドレスブックライブラリが表示されないのはなぜですか？

  Bento for Mac のアドレスブックライブラリを移行すると、Bento 連絡先ライブラリで置き換えられます。45 ページの「アドレスブックライブラリを移行する」を参照してください。

## アドレスブックのデータとバックアップ

Bento バックアップファイルを作成する場合、アドレスブックアプリケーションからのデータは Bento バックアップファイルには含まれません。アドレスブックからのデータをバックアップするには、Mac OS アドレスブックアプリケーションを使用してください。

Bento のアドレスブックライブラリにフィールドを追加すると、これらの追加フィールドからの情報は、Bento バックアップファイルに含まれます。Bento バックアップファイルの作成については、133 ページの「情報をバックアップおよび復元する」を参照してください。

# 4 iCal、iPhoto およびアドレスブックライブラリを移行する

既存の iPhoto、iCal イベントライブラリまたは iCal タスクライブラリがある場合、Bento for Mac を初めて起動したときに、データを移行するように求めるメッセージが表示されます。

既存のアドレスブックライブラリがある場合、Bento for Mac と Bento 4 for iPad を同期するときに、データを移行するように求めるメッセージが表示されます。

アドレスブックまたは iCal ライブラリを移行すると、ライブラリ内のすべてのデータが新しい Bento ライブラリに移動します。新しいライブラリには、すべてのコレクション、スマートコレクション、フォーム、その他のライブラリへのリレーション、および設定を始めとする元のすべてのデータが含まれます。

移行したデータを含む新しい Bento ライブラリは Mac OS のアドレスブックおよび iCal アプリケーションとはリンクされません。たとえば、データを移行した後に Mac OS のアドレスブックの連絡先を更新した場合、その情報は新しい Bento 連絡先ライブラリに反映されません。同様に、新しい Bento 連絡先ライブラリ内の連絡先を更新した場合、その情報は新しい Mac OS のアドレスブックに反映されません。

ロックされた暗号化フィールドがライブラリに含まれる場合、データベースパスワードを入力してフィールドのロックを解除するように求められます。暗号化フィールドのロックを解除しない場合、ライブラリは移行されません。

メモ Bento ライブラリを移行しても、Mac OS アドレスブック、iCal、iPhoto の各アプリケーションのデータはその影響を受けません。

## iCal ライブラリを移行する

既存の iCal タスクライブラリまたは iCal イベントライブラリがある場合、Bento for Mac を起動したときに、データを移行するように求めるメッセージが表示されます。

画面に表示される手順に従ってデータを移行します。iCal タスクライブラリは Bento タスクライブラリによって置き換えられます。iCal イベントライブラリは Bento イベントライブラリによって置き換えられます。Bento タスクライブラリおよびイベントライブラリは、Mac OS の iCal アプリケーションとはリンクされません。

データを後で移行する場合は、次のいずれかを行います：

- Control キーを押しながらライブラリパネルの iCal タスクライブラリまたは iCal イベントライブラリをクリックして、[iCal の移行 ] を選択する。
- ライブラリパネルのデバイスセクションでデバイスを選択し、[ 移行 ] をクリックする。画面に表示される手順に従ってデータを移行します。

メモ Bento for Mac を初めて使用する場合、iCal データは Bento に表示されません。iCal タスクライブラリおよび iCal イベントライブラリは新規ユーザにはサポートされていません。

## iPhoto ライブラリを移行する

iPhoto ライブラリの表示は Bento でサポートされなくなりました。既存の Bento iPhoto ライブラリがある場合、Bento for Mac を起動したときに、データを移行するように求めるメッセージが表示されます。iPhoto ライブラリは、Bento for Mac の使用を開始する前に移行する必要があります。

iPhoto ライブラリを Bento 写真ライブラリに移行するには、画面に表示される手順に従います。Bento では、次の iPhoto ライブラリレコードのみ写真ライブラリにコピーされます :

- 関連データフィールドで参照される iPhoto ライブラリレコード。
- Bento で作成されたフィールドのデータを含む iPhoto ライブラリレコード。

Bento では、上記の要件を満たすレコードがない場合、写真ライブラリの作成やデータの移行は行われません。

Bento 写真ライブラリは Mac OS iPhoto アプリケーションとはリンクされません。

メモ iPhoto ライブラリの移行後、画像を iPhoto から Bento メディアフィールドに追加することは引き続き可能です。

## アドレスブックライブラリを移行する

Bento for Mac のアドレスブックは、Bento 4 for iPad と同期することはできません。既存の Bento アドレスブックライブラリがある場合、Bento for Mac と Bento 4 for iPad を同期するときに、データを移行するように求めるメッセージが表示されます。

Bento アドレスブックライブラリのデータを Bento 連絡先ライブラリに移行するには、画面に表示される手順に従います。Bento 連絡先ライブラリは Mac OS のアドレ スブックアプリケーションとはリンクされません。

同期の詳細については、141 ページの「Bento for Mac と Bento for iPhone または Bento for iPad を同期する」を参照してください。

ライブラリパネルのデバイスセクションからデバイスを選択し、[ 移行 ] をクリックしてデータを移行することもできます。画面に表示される手順に従ってデータを移行します。

アドレスブックライブラリ表示の詳細については、40 ページの「アドレスブックアプリケーションのデータを表示する」を参照してください。

メモ　連絡先テンプレートを使用して Bento 連絡先ライブラリを新規作成する場合もアドレスブックライブラリからデータを読み込むことができます。32 ページの「Bento テンプレートを使用してライブラリを作成する」を参照してください。

# コレクションを使用する 5

この章では、コレクションを使用して Bento のレコードをさらに整理する方法について説明します。

Bento では、31 ページの第 2 章「ライブラリを使用する」で説明したとおり、レコードがライブラリに格納されます。異なる方法でレコードを整理したり、ライブラリのレコードのサブセットを用いて作業を行う場合に、コレクションを作成できます。

## コレクションについて

コレクションは、ライブラリの一連のレコードです。コレクションは、次のような目的で作成できます :

- 特定目的のレコードのセットを作成します。たとえば、特定のイベントに対して招待した人のコレクションを作成できます。
- レコードを異なる順序でソートします。たとえば、連絡先のコレクションを作成し、姓で連絡先レコードをソートすることができます。
- ライブラリのすべてのレコードではなく、コレクションのレコードからデータを書き出します。

Bento のコレクションは、iTunes のプレイリストに似ています。iTunes を使用したことがあれば、曲やビデオの好きな組み合わせでまとめたリストの作成にプレイリストを使用すると、いかに便利であるかをご存知でしょう。同じように、Bento のコレクションは、ライブラリのレコードのグループ化において便利な方法です。

コレクションには、単一のライブラリのレコードが含まれます。たとえば、アドレスブックライブラリのレコードを、「ベンダー」などのアドレスブックコレクションに入れることができます。ベンダーコレクションには、他のライブラリのレコードを入れることはできません。

ただし、ライブラリのレコードは、同じライブラリ内の任意のコレクションに追加できます。たとえば、「DVD」ライブラリに「お気に入り」コレクションと「クラシック映画」コレクションがある場合は、同じレコードをどちらのコレクションでも保持することができます。

コレクションには 2 種類あります：

- コレクション
- スマートコレクション

コレクションの作成では、[ 新規コレクション ] メニュー項目を使用するか、レコードを選択して [ 選択からコレクションを新規作成 ] メニュー項目を使用するか、または選択したレコードを既存のコレクションまたはライブラリパネルまでドラッグします。

スマートコレクションは、ユーザが設定した条件に基づいて作成されます。スマートコレクションは、ライブラリが変更されるたびにアップデートされます。定義した条件と一致するレコードがスマートコレクションに表示されます。

## コレクションを作成する

特定のレコードのリストを作成する場合は、コレクションを作成します。

### コレクションを作成するには：

1. コレクションを作成するライブラリを選択します。
2. をクリックするか、または [ ファイル ] > [ 新規コレクション ] を選択します。
3. コレクションの名前を入力し、Return キーを押します。
4. 手順 1 で選択したライブラリをもう一度選択します。
5. ナビゲーションバーの表形式ボタンをクリックするか、または [ 表示 ] > [ 表形式 ] を選択し、表形式でライブラリを表示します。

6 コレクションに追加するレコードを選択します。選択したレコードをコレクションまでドラッグするか、または をクリックし、[ コレクションに追加 ] を選んで、選択したレコードをコレクションに追加します。

複数のレコードを選択するには、コマンドキーまたは Shift キーを押したままクリックします。

ヒント　選択したレコードを含むコレクションをすばやく作成するには、レコードを選択し、[ ファイル ] >[ 選択からコレクションを新規作成 ] メニュー項目を選択するか、レコードをライブラリパネルの空白の領域までドラッグします。

## コレクションからレコードを取り除く

### コレクションからレコードを取り除くには：

1 コレクションを選択します。

2 レコードを選択し、コマンドキーを押しながら Delete キーを押します。

[ コレクションから取り除く ] をクリックした場合、レコードは、コレクションから取り除かれるだけで、関連するライブラリからは取り除かれません。[ 削除 ] をクリックすると、レコードが、ライブラリおよびコレクションの両方から完全に取り除かれます。

## コレクションを削除する

### コレクションを削除するには：

コレクションを選択し、Delete キーを押します。レコードがコレクションから取り除かれますが、ライブラリからは取り除かれません。

メモ　1 つまたは複数の関連データフィールドが基本にしているライブラリまたはコレクションを削除すると、これらの関連データフィールドも削除されます。

# スマートコレクションについて

定義した条件に一致するレコードを含むコレクションが必要な場合は、スマートコレクションを作成します。スマートコレクションでは、条件に一致するすべてのレコードが表示されます。

たとえば、同じ町に住む人の連絡先のスマートコレクションを作成できます。その町に住む人の新規連絡先レコードを追加すると、Bento により、その連絡先レコードがスマートコレクションに自動的に追加されます。

あるいは、同じ週に期限が設定されているイベントレコードのスマートコレクションを作成できます。条件に適合するレコードを追加または適合するように編集すると、ライブラリパネルでスマートコレクションを次にクリックしたときに、スマートコレクションにそのレコードが表示されます。

スマートコレクションは、定義した条件に適合するレコードのセットであるため、コレクションとは次の事項が異なっています：

- スマートコレクションにレコードを手動で追加したり取り除くことはできません。スマートコレクションから特定のレコードを取り除く場合は、条件に適合しなくなるように、条件を編集するかまたはレコードの値を編集します。
- スマートコレクションにレコードを読み込むことはできません。

# スマートコレクションを作成する

レコードを追加するスマートコレクションを作成したり、定義した条件に従ってコレクションからレコードを取り除くことができます。

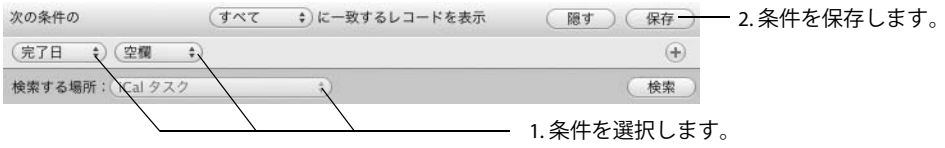
## スマートコレクションを作成するには：

1 [ ファイル ] > [ 新規スマートコレクション ] を選択します。

2 スマートコレクションの名前を入力し、Return キーを押します。

ポップアップメニューおよび入力フィールドを使用して、スマートコレクションの条件を指定します。⊕ をクリックし、追加条件を追加します。

たとえば、完了していない iCal タスクのみを表示するスマートコレクションを作成するには、条件として、[ すべて ]、[ 完了日 ]、および [ 空欄 ] を指定します。



3 [ 保存 ] をクリックします。

ヒント また、詳細検索の条件を指定した後で [ 保存 ] をクリックしても、スマートコレクションを作成できます。26 ページの「検索フィールドと詳細検索」を参照してください。

## スマートコレクションを変更する

スマートコレクションを変更すると、定義した条件に基づいて、Bento によりコレクションがアップデートされます。スマートコレクション内のレコードを編集および複製できます。69 ページの「表形式でレコードを編集する」および 70 ページの「表形式でレコードを複製する」を参照してください。

### スマートコレクションを変更するには：

1 スマートコレクションを選択し、[ ファイル ] > [ スマートコレクションの編集 ...] を選択します。

2 ポップアップメニューおよび入力フィールドを使用して、条件を変更、追加、または取り除きます。

3 [ 検索 ] をクリックし、新規条件により必要なレコードが生成されるかを確認します。

4 [ 保存 ] をクリックします。

メモ 条件に対して行った変更を破棄するには、ライブラリパネルのその他の任意の項目をクリックします。

# フォーム形式を使用する 6

## Bento では、フォーム形式を使用して、ライブラリまたはコレクションから、一度に 1 レコードを表示します。

この章では、フォーム形式でレコードを作成して編集する方法、フォームを作成して編集する方法、フォームのレイアウトをカスタマイズする方法について説明します。

## フォームについて

フォーム形式では、フォームを作成して使用することで、ライブラリまたはコレクションから一度に 1 レコードをページのような形式で表示することができます。たとえば、プロジェクトライブラリ内のプロジェクトを表示できます。

フォームでは、個別レコード用のフィールドが表示されます。複数のフォームまたはページを作成および使用して、そのレコードに関する異なる情報を表示できます。

1 つのフォーム形式に表示されているレコード

同じレコードが、異なるフィールド構成で別のフォーム形式で表示されています。

指定されたライブラリまたはコレクションでは、すべてのフォームのすべてのフィールドを使用することができます。

一度に複数のレコードを表示したり、情報をすばやくスキャンやソートしたい場合はかわりに表形式を使用します。67 ページの「表形式を使用する」を参照してください。選択したレコードをフォーム形式と表形式で同時に表示できます。レコードを選択し、[ 表示 ] > [ 分割形式 ] を選択します。

またフォームでは他のライブラリやコレクションのレコードを関連データフィールドに表示できます。たとえば、パーティイベントに出席する人々を、アドレスブックライブラリから iCal イベントライブラリに表示できます。89 ページの「関連データフィールドを作成する」を参照してください。

## フォーム形式でレコードを作成する

レコードはどの形式でも作成できます。表形式の手順については、68 ページの「表形式でレコードを作成する」を参照してください。

### ライブラリまたはコレクションのレコードを作成するには：

1. レコードを追加するライブラリまたはコレクションを選択します。
2. ナビゲーションバーのフォーム名をクリックするか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前 を選択します。
3. [ レコード ] > [ 新規レコード ] を選択するか、コマンド + N キーを押します。
4. フィールドにデータを入力します。
5. Tab キーを押し、同じレコード内の次のフィールドに移動します。Shift + Tab キーを押し、同じレコード内の前のフィールドに移動します。

ヒント　レコードを迅速に作成するには、Control キーを押しながら、フォームの空白の領域をクリックし、ポップアップメニューから [ 新規レコード ] を選択します。

## フォーム形式でレコードを編集する

### レコードを編集するには：

1. 編集するレコードが含まれているライブラリまたはコレクションを選択します。
2. ナビゲーションバーのフォーム名をクリックするか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

3 必要なレコードに移動します。

Tab または Shift + Tab を押し、フィールド間を移動します。

4 変更するフィールドをクリックし、データを修正して、フィールドの外をクリックするか、Tab を押して変更を保存します。

### 現在の日付と時刻をフィールドに追加する

レコードを編集する際に、現在の日付と時刻を、日付、時刻、またはテキストフィールドに追加することができます。

現在の日付と時刻をフィールドに追加するには：

1 日付、時刻、またはテキストフィールドをクリックします。

2 [ 挿入 ] > [ 現在の日付と時刻 ] を選択します。

| フィールドタイプ | 表示されている内容 |
|---|---|
| 日付 | 日付。[ 時刻を表示 ] オプションを設定すると、時刻も表示されます。 |
| 時刻 | 時刻 |
| テキスト | 日付と時刻 |

## フォーム形式でレコードを複製する

同じまたは同様のデータを持つレコードを既存のレコードとしてすばやく追加するには：

1 複製するレコードを選択します。

2 [ レコード ] > [ レコードの複製 ] を選択します。

## フォーム形式でレコードを削除する

ライブラリから選択したレコードを完全に削除するには：

1 ライブラリを選択します。

2 ナビゲーションバーのフォーム名をクリックするか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

3 レコードを選択します。

4 [ レコード ] > [ レコードを削除 ...] を選択するか、またはコマンドキーを押しながら Delete キーを押します。

ダイアログで [ 削除 ] をクリックします。

### 選択したレコードをコレクションから取り除くには：

1. コレクションを選択します。
2. 取り除きたいレコードを選択します。
3. [ レコード ] > [ レコードを取り除く ...] を選択します。

   [ コレクションから取り除く ] をクリックすると、レコードはコレクションから取り除かれるだけで、ライブラリからは取り除かれません。[ 削除 ] をクリックすると、レコードはライブラリおよびコレクションの両方から完全に取り除かれます。

## フォームを作成する

### フォームを作成するには：

1. フォームを追加するライブラリまたはコレクションを選択します。
2. ナビゲーションバーの をクリックするか、[ フォーム ] > [ 新規フォーム ...] を選択します。

   [ フォームの名前 ] ダイアログで、名前を入力し、[OK] をクリックします。
3. フィールドを空白のフォームに追加します。

   59 ページの「フィールドをフォームに追加する」を参照してください。
4. レコードを作成します。

   54 ページの「フォーム形式でレコードを作成する」を参照してください。

## フォームを削除する

### フォームを削除するには：

1. フォームを削除するライブラリまたはコレクションを選択します。
2. 削除したいフォームを選択します。
3. ナビゲーションバーの をクリックするか、[ フォーム ] > [ フォームを削除 ...] を選択します。

   フォームが 1 つしかない場合は削除できません。

## フォームを表示または隠す

### フォームを隠すには：

1. 隠すフォームが含まれているライブラリまたはコレクションを選択します。
2. 隠したいフォームを選択します。
3. [ フォーム ] > [ フォームを隠す ] を選択します。

   フォームとフォーム名が非表示になります。

   フォームが 1 つしかない場合は隠すことはできません。

### 非表示のフォームを表示するには：

1. 表示する非表示のフォームが含まれているライブラリまたはコレクションを選択します。
2. [ フォーム ] > [ 非表示のフォーム ] を選択します。
3. 表示したいフォームを選択します。

## フォームを複製する

### 同じライブラリまたはコレクション内でフォームを複製するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. [ フォーム ] > [ フォームの複製 ] を選択します。

## フォームをコピーする

### フォームをライブラリ内のコレクションに、またはコレクションから親ライブラリにコピーするには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. Control キーを押しながらコピーするフォームをクリックし、フォームのコピー先のライブラリまたはコレクションを選択します。

   メモ　フォームをライブラリ間でコピーすることはできません。

## フォームの名称を変更する

### フォームの名称を変更するには：

1. ウインドウ上部のフォーム名をダブルクリックします。
2. [ フォームの名前 ] ダイアログで、新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。

## フォームをロックおよびロック解除する

フォームのレイアウトを完了したら、フィールドラベル、フィールドオブジェクトまたはフィールドが移動されたり、サイズが変更されないようにフォームをロックできます。

フォームがロックされると、レイアウトは変更できませんが、次の方法でデータを追加できます：

- フォームがロック解除されているときと同じように、フィールドにデータを入力します。
- [ 新規フィールド ] ダイアログを使用して、フィールドを作成します。フィールドは、最初の列の下に自動的に追加されます。
- ライブラリパネルからライブラリとコレクションをドラッグして、関連データフィールドを作成します。
- Finder からファイルをドラッグして、メディアまたはファイルリストフィールドを作成します。

メモ　既存のフィールドをフィールドパネルからロックされたフォームにドラッグすることはできません。

### フォームをロックするには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. [ フォーム ] > [ フォームをロック ] を選択するか、 、 の順にクリックします。

   フォームをロック解除するまで、フィールドラベル、フィールドオブジェクトまたはフィールドを移動またはサイズ変更することはできません。

### フォームをロック解除するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. [ フォーム ] > [ フォームのロック解除 ] を選択するか、 の順にクリックします。

## フィールドをフォームに追加する

### フィールドをフォームに追加するには：

1. ライブラリまたはコレクションを選択します。
2. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
3. フィールドを、フィールドパネルからフォーム上の希望する場所へドラッグします。

   フィールドを移動するには、60 ページの「フォームのフィールドとオブジェクトを移動する」を参照してください。フィールドをサイズ変更するには、60 ページの「フィールドとオブジェクトのサイズを変更する」を参照してください。フィールドを作成するには、[ 挿入 ] > [ 新規フィールド ...] を選択します。84 ページの「フィールドを作成する」を参照してください。

## フィールド間を移動する

### フォームのフィールド間を移動するには：

1. ライブラリまたはコレクションを選択します。
2. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
3. フィールド内をクリックし、Tab を押して各列のフィールド間を移動します。列区切り線を追加している場合は、各列内で移動します。Shift + Tab を押すと、逆方向に移動します。

メモ　Tab キーを使用してすべてのコントロールを移動できるようにするには、Mac OS X の [ キーボード ] 環境設定（[ キーボードショートカット ] タブ）で [ すべてのコントロール ] を必ず選択してください。

## フォームのフィールドとオブジェクトを移動する

### 1 つのフィールドまたはオブジェクトを移動するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. フィールドまたはオブジェクトを選択します。
3. フィールドラベルまたはフィールドまたはオブジェクトの端の近くにマウスを移動します。カーソルが手の形に変わったら、クリックしてフィールドまたはオブジェクトを選択し、新しい場所までドラッグします。

   Bento では、フォーム上で、フィールドをオブジェクトの上、下、横、および間にドラッグすることができます。

### 複数のフィールドまたはオブジェクトを移動するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. コマンドキーまたは Shift キーを押したままクリックすると、複数のフィールドまたはオブジェクトを選択できます。

ヒント　フィールドまたはオブジェクトを迅速に選択するには、フォームの空白の部分をクリックし、マウスボタンを押しながらドラッグして複数項目を選択します。

## フィールドとオブジェクトのサイズを変更する

すべてのフィールドおよびオブジェクトのサイズを変更できます。

### フィールドまたはオブジェクトのサイズを変更するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. フィールドまたはオブジェクトを選択します。
3. カーソルをハンドルのいずれかまで移動します。カーソルが両方向の矢印に変わったら、ドラッグしてサイズを変更します。

## フィールドをフォームから取り除く

### フィールドをフォームから取り除くには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. フィールドを選択して Delete キーを押すか、フィールドをドラッグしてフォームから離します。

   フォームにフィールドが表示されなくなっても、フィールドのデータは、まだ Bento に残っています。

## フォームのレイアウトをカスタマイズする

フォームの外観を、すばやく変更することができます。

### テーマを変更する

フォームのテーマ ( 色のコーディネート、レイアウト、テキスト属性 ) をいつでも変更することができます。たとえば、レコードをプリントするために、明るい色のテーマを使用することができます。

### フォームのテーマを変更するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. [ フォーム ] > [ テーマセレクタ ...] を選択します。
3. [ テーマセレクタ ] でテーマを選択し、[OK] をクリックします。

   テーマの変更に伴い、波紋効果が表示されます。波紋効果を使用しない場合は、[Bento] > [ 環境設定 ...] を選択し、ウインドウの上部で [ 一般 ] をクリックしてから、[ アニメーションを表示 ] を選択解除します。

   フォームに適用する前にテーマをプレビューする場合は、[ 試用する ] をクリックします。

### 列幅を変更する

列の幅を変更することができます。列幅を拡大して、幅の広いフィールドに適応するようにしたり、列間の空白の領域を拡大することができます。

### 列の幅を変更するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

2 列区切り線を選択します。

列区切り線が表示されていない場合は、区切り線がある領域にカーソルを移動してクリックします。

3 列区切り線の上にカーソルを置き、左右にドラッグします。

## フィールドラベルの位置とサイズを変更する

フォーム上で、フィールドのラベルの位置を変更することができます。

### フィールドに隣接したラベルの位置を変更するには：

1 ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

2 [ フォーム ] > [ フィールドラベル ] を選択します。

3 [ 上 ] または [ 横 ] を選択します。

### ラベルのテキストのサイズを変更するには：

1 [ フォーム ] > [ フィールドラベル ] を選択します。

2 [ 小 ]、[ 中 ]、または [ 大 ] を選択します。

## テキストのサイズを変更する

フィールドに表示されているテキストのサイズを変更することができます。

### フィールドのテキストのサイズを変更するには：

1 ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

2 フィールドラベルの近くまたはフィールドの端をクリックしてフィールドを選択します。

メモ フィールドを選択せずにフィールドの内側をクリックすると、テキストサイズオプションがグレーに表示されます。

コマンドキーまたは Shift キーを押したままクリックすると、複数のフィールドを選択できます。

3 [ フォーム ] > [ テキストサイズ ] を選択します。

4 リストからサイズを選択します：[ 最小 ]、[ 小 ]、[ 中 ]、[ 大 ]、[ 最大 ]。

## フィールドのシェーディングを変更する

フィールドの後に表示されているシェーディングのレベルを変更することができます。

### フィールドのシェーディングを変更するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. フィールドラベルの近くまたはフィールドの端をクリックしてフィールドを選択します。

   メモ　フィールドを選択せずにフィールドの内側をクリックすると、シェーディングオプションがグレーに表示されます。

   コマンドキーまたは Shift キーを押したままクリックすると、複数のフィールドを選択できます。
3. [ フォーム ] > [ シェーディング ] を選択します。
4. シェーディングのレベルを選択します：[ なし ]、[ 明 ]、または [ 暗 ]。

## フィールドの右端を整列する

列内で選択したフィールドの右端を整列することができます。

### フィールドの右端を整列するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. 列内で、右端を整列するフィールドを選択します。

   コマンドキーまたは Shift キーを押したままクリックすると、複数のフィールドを選択できます。

   ヒント　多数のフィールドの右端を迅速に整列するには、フォームの空白の部分をクリックし、マウスボタンを押しながらドラッグして複数の項目を選択します。
3. [ フォーム ] > [ 右揃え ] を選択します。

## テキストボックスを追加する

フォーム上で見出しなどのテキストが必要な場合は、テキストボックスを追加することができます。

### テキストボックスを追加するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

2 [ 挿入 ] > [ テキストボックス ] を選択します。

フォームの下部に、名称未設定ボックスが表示されます。

3 テキストボックスを希望の場所へドラッグし、テキストボックスをダブルクリックして入力を開始します。

## イメージボックスを追加する

フォームのすべてのレコードにロゴやレターヘッドのようなイメージを表示するには、イメージボックスを追加します。

ヒント すべてのレコードに異なるイメージを表示するには、メディアフィールドを使用します。メディアフィールドの詳細については、104 ページの「メディアフィールドを使用して作業する」を参照してください。

### イメージボックスを追加するには：

1 ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

2 [ 挿入 ] > [ イメージボックス ] を選択します。

イメージボックスがフォームに表示されます。

3 イメージボックスを希望の場所にドラッグします。

4 Finder から画像ファイルをイメージボックスにドラッグします。

5 画像の位置を変更したり、表示サイズを変更するには、イメージボックスをクリックします。

詳細については、105 ページの「画像の位置調整をする」および 106 ページの「画像の表示サイズを変更する」を参照してください。

ヒント イメージボックスを削除するには、いずれかの端の近くをクリックして周囲に枠線を表示します。次に Delete キーを押します。

## 水平区切り線を追加する

水平区切り線は、フォームに追加することのできるオブジェクトです。区切り線で項目を視覚的に上下に区切ることで、フォームを整理することができます。水平区切り線の外観は、フォームに適用されたテーマによって定義されます。水平区切り線の幅は変更できますが高さは変更できません。

### 水平区切り線を追加するには：

1 ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

2 [ 挿入 ] > [ 水平区切り線 ] を選択します。

3 水平区切り線をフォーム上の希望の場所へドラッグします。

## 列区切り線を追加する

列区切り線を使用してフォームの水平領域を分割できます。すべての列区切り線は同じ長さです。

フォームに対して水平に追加した任意の項目 ( フィールドまたはオブジェクト ) の右に列区切り線が自動的に追加されます。たとえば、フォームにフィールドをドラッグすると、そのフィールドの右に列区切り線が挿入されます。列区切り線の右にテキストボックスを追加すると、そのテキストボックスの右に別の列区切り線が挿入されます。既存の項目の上または下に項目を追加した場合、またはフォームから一部の項目 ( すべてではなく ) を削除した場合、列区切り線は追加されません。

フォームに手動で列区切り線を追加することもできます。

### 列区切り線を追加するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. [ 挿入 ] > [ 列区切り線 ] を選択します。
3. 列区切り線をフォーム上の希望の場所へドラッグします。

   ヒント　列区切り線を削除するには、Control を押しながら区切り線をクリックし、[ フォームから取り除く ] を選択します。

## スペーサを追加する

スペーサを使用し、フォーム上の項目間に空白の領域を作成することができます。たとえば、フィールドのグループを区切るために、スペーサを追加します。フォームを編集する際に、スペーサの幅、高さ、およびシェーディングを変更できます。

### スペーサを追加するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. [ 挿入 ] > [ スペーサ ] を選択します。
3. スペーサをフォーム上の希望の場所へドラッグします。

   右端または下端をドラッグし、幅または高さを変更します。
4. ( オプション ) [ フォーム ] > [ シェーディング ] を選択します。
5. ( オプション ) シェーディングのレベルを選択します。

# 表形式を使用する

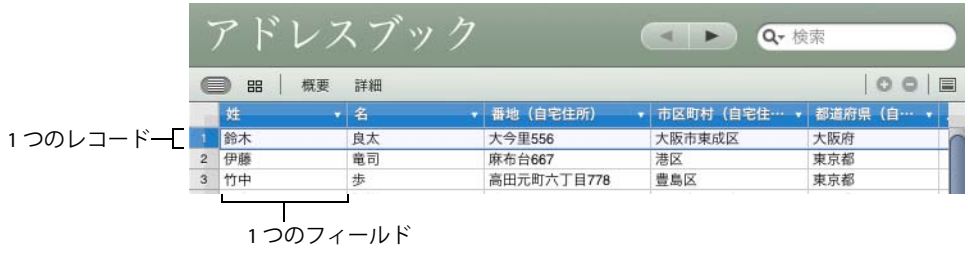
# 7

Bento では、表形式を使用して、行がレコードを表し、列がフィールドを表すスプレッドシートのようなフォーマットでテキストとメディアを表示します。

この章では、表形式でのレコードの作成および変更、レコードのソート、および列内でデータを再配置、要約、および表示する方法について説明します。

## 表形式について

表形式では、列にフィールドを、行にレコードを表示することができます ( スプレッドシートに似た形式 )。




表形式に移動するには、[ 表示 ] > [ 表形式 ] を選択します。

表形式は、データを使用した作業に柔軟性をもたらします。たとえば、次のようなことができます：

- 一度に 1 つ以上のレコードを表示する
- どのフィールドを列として表示するかを選択する
- 列ヘッダポップアップメニューのソートコマンドを使用し、レコードを昇順または降順でソートする
- 1 つ以上のレコードを複製する
- 複数のレコードを削除する

- スプレッドシートと同じように、1 つ以上のセルの値を入力、選択、コピー、またはペーストする
- データを要約する
- 複数のレコードを選択してドラッグし、1 つのライブラリ内に新規コレクションを作成する
- メディアフィールドを作成、表示、編集する

選択したレコードを表形式とフォーム形式で同時に表示できます。レコードを選択し、[ 表示 ] > [ 分割形式 ] を選択します。

表形式では、関連データフィールドや、アドレス、メールアドレス、ファイルリスト、メッセージリスト、および簡易リストなどリストタイプのフィールドは表示されません。101 ページの「関連データフィールドを使用して作業する」および 96 ページの「リストフィールドで作業する」を参照してください。

### 表形式のテキストサイズを設定する

表形式で表示するレコードのテキストのサイズを変更できます。

#### 表形式で使用するテキストのサイズを変更するには：

1. Bento > [ 環境設定 ...] を選択します。
2. [ 表形式のテキスト ] で [ 小 ] または [ 大 ] を選択します。

## 表形式でレコードを選択する

#### 表形式で 1 つのレコードを選択するには：

行番号をクリックします。

#### 表形式で複数のレコードを選択するには：

行番号をクリックし、Shift キーを押しながら選択に含める最後の行をクリックします。または、コマンドキーを押しながら、選択に含める個別の行をクリックします。

## 表形式でレコードを作成する

表形式またはフォーム形式のレコードを作成できます。

#### ライブラリまたはコレクションのレコードを作成するには：

1. レコードを追加するライブラリまたはコレクションを選択します。

2 表形式で、[ レコード ] > [ 新規レコード ] を選択します。または、最後の空の行をクリックし、入力を開始します。

ウインドウの下部のレコードカウントインジケータが増加します。

3 列にデータを入力します。

最後の列にデータを入力すると、Bento により「フィールド 1」というデフォルト名を持つ新規フィールドが作成されます。

4 Tab キーを押し、同じレコード内の次のフィールドに移動します。Shift + Tab キーを押し、同じレコード内の前のフィールドに移動します。

### 既存のレコードを同じライブラリ内の別のコレクションに追加するには：

レコードを選択し、[ 編集 ] > [ 追加 ] を選択してリストからコレクションを選択します。選択したレコードがリストから選んだコレクションに追加されます。

## 表形式でレコードを編集する

### レコードを編集するには：

1 編集するレコードが含まれているライブラリまたはコレクションを選択します。

2 フィールド ( 表のセル ) をダブルクリックします。Tab キーを押し、同じレコード内の次のフィールドに移動します。Shift + Tab キーを押し、同じレコード内の前のフィールドに移動します。

コマンドキーと Return キーを同時に押し、テキストフィールドに改行を挿入します。

ヒント　表形式で選択フィールドを編集するには、フィールドの右端をクリックして、ポップアップメニューを表示します。

## 表形式でデータをコピーおよびペーストする

同じまたはその他のライブラリの Bento レコード間、あるいは、Bento と Numbers や Excel などのスプレッドシートアプリケーション間でデータをコピーおよびペーストできます。

ヒント 同じ列の複数のセルに同じデータを複製するには、75 ページの「フィールドを自動的に入力する」を参照してください。

### データをコピーするには：

1 Bento で、行番号をクリックし、1 つ以上のデータ行を選択します。隣接する行を選択するには、行を 1 つ選択し、Shift キーを押しながら隣接する行を選択します。隣接しない行を選択するには、コマンドキーを押しながら行を選択します。

2 [ 編集 ] > [ コピー ] を選択します。

Bento では、選択したデータをクリップボードにコピーします。

### データをペーストするには：

1 セルをクリックします。

2 [ 編集 ] > [ ペースト ] を選択します。

Bento では、必要に応じて追加レコードおよび列を作成します。

メモ 既存のフィールドにペーストする場合、Bento では可能な限り多数の値をペーストします。ペーストするデータがフィールドタイプと一致しない場合、Bento によりそのデータを拒否するか、フィールドタイプをテキストに変更する選択肢が与えられます。

### 新規列にデータをペーストするには：

1 データの最後の列の後の空の列のセルをクリックします。

2 [ 編集 ] > [ ペースト ] を選択します。

Bento では、必要に応じて新規テキストフィールドと追加レコードを作成します。

## 表形式でレコードを複製する

### 同じまたは同様のデータを持つレコードを既存のレコードとしてすばやく追加するには：

1 ライブラリまたはコレクションを選択します。

2 1 つ以上のレコードを選択し、[ レコード ] > [ レコードの複製 ] を選択します。

コレクションのレコードを複製する場合、レコードは、親ライブラリに作成されてコレクション内に表示されます。

## 表形式でレコードを削除する

### ライブラリから選択したレコードを完全に削除するには：

1 ライブラリを選択します。

2 レコードを選択し、[ レコード ] > [ 選択したレコードを削除 ...] を選択するか、またはコマンドキーを押しながら Delete キーを押します。

ダイアログで [ 削除 ] をクリックします。

### コレクションから選択したレコードを完全に削除するには：

1. コレクションを選択します。
2. レコードを選択し、[ レコード ] > [ 選択したレコードを取り除く ...] を選択するか、またはコマンドキーを押しながら Delete キーを押します。

   ダイアログで [ 削除 ] をクリックすると、レコードがライブラリおよびコレクションの両方から完全に取り除かれます。[ コレクションから取り除く ] をクリックすると、レコードはコレクションから取り除かれるだけで、ライブラリからは取り除かれません。

## レコードをソートする

### レコードをソートするには：

1. 列ヘッダの右端の をクリックします。
2. [ 昇順ソート ]、または [ 降順ソート ] を選択します。

   2 つ以上のフィールドをソートする場合は、最初に最も重要でないフィールドでソートしてその後により重要なフィールドでソートします。たとえば、姓または名でレコードをソートする場合は、最初に [ 名 ] フィールドでソートし、次に [ 姓 ] フィールドでソートします。

## 表形式のフィールドおよび列を使用して作業する

### 表形式のフィールドを作成する

#### 表形式のフィールドを作成するには：

1. 空白のライブラリについては、最初のフィールドがデフォルト名 [ 新規フィールド ] を使用して自動的に作成されます。
2. 列ヘッダをダブルクリックし、フィールドの新規 名を入力して Return キーを押します。
3. フィールドにデータを入力します。

   Bento では、デフォルトでテキストフィールドを作成します。フィールドを別のタイプに変更できます。73 ページの「フィールドタイプを変更する」を参照してください。
4. Tab キーを押して別のフィールドを作成し、ここに同じレコードを連続して入力できます。
5. 手順 2 から 4 を繰り返し、フィールドを必要な数だけ作成します。

## 表形式のフィールドを追加する

### 列の前後にフィールドを追加するには：

1 列ヘッダの右端の をクリックします。

2 [ 前にフィールドを追加 ] または [ 後にフィールドを追加 ] を選択します。

現在の列の前または後ろに 「フィールド 1」というデフォルト名の新規列が挿入されます。

3 フィールドの新規名を入力します。

## 表形式のメディアフィールドを使用して作業する

表形式では、他のフィールドタイプと同じ方法で、メディアフィールドを作成、表示、および編集できます。

## 表形式のフィールドのオプションを変更する

### フィールドオプションを変更するには：

1 列ヘッダの右端の をクリックします。

2 [「フィールド名」を編集 ...] を選択します。

3 フィールド名またはオプションの設定を変更します。

メモ フォーム形式のフィールドのオプションを変更するには、Control を押しながらフィールドをクリックして [「フィールド名」を編集 ...] を選択します。

## 入力時にテキストを自動的に入力する

複数のテキストフィールドに同じテキストを入力する必要がある場合、フィールドオプションを変更して、入力時にテキストを自動的に入力することができます。

### 入力時にテキストを自動入力するには：

1 フィールドの列ヘッダの右端の をクリックします。

2 [「フィールド名」を編集 ...] を選択します。

3 [ 入力時に、テキストが自動入力されます ] を選択します。

## フィールドを複製する

### フィールドを複製するには：

1 列ヘッダの右端の をクリックします。

2 [ フィールドの複製 ] を選択します。

## フィールドタイプを変更する

一部のフィールドのタイプを別のタイプに変更できます。自動カウンタ、場所、およびアドレスフィールド、および共有されているデータベースでアクセスするフィールドは別のタイプに変更することはできません。詳細については、95 ページの「既存のフィールドのタイプを変更する」を参照してください。

### フィールドタイプを変更するには：

1 列ヘッダの右端の をクリックします。

2 [ 変更先 ] を選択し、リストからフィールドタイプを選択します。

## 列を表示または隠す

### 列を隠すには：

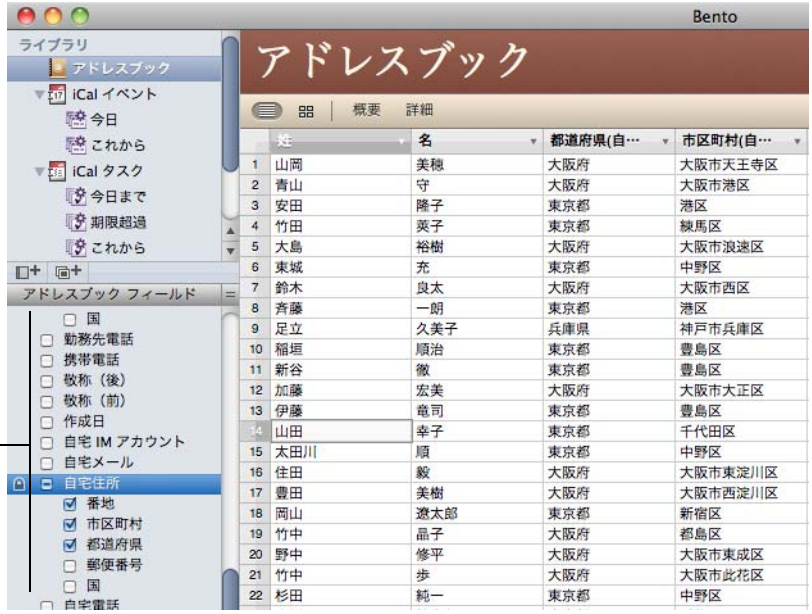
1 列ヘッダの右端の をクリックします。

2 [ フィールドを隠す ] を選択します。

### フィールドパネルを使用して列を表示または隠すには：

フィールドパネルでフィールドのチェックボックスを選択し、表形式でフィールドを表示します。チェックボックスを選択解除すると、表形式のフィールドが非表示になります。複数のフィールドを一度に選択するには、1 つのフィールドを選択し、Shift キーを押したまま別のフィールドをクリックすると、その間にあるフィールドがすべて選択されます。すばやく選択解除するには、スペースバーを押します。

表形式のフィールドを非表示にしても、フィールドおよびそのデータがライブラリやコレクションから削除されるわけではありません。




チェックボックスを選択してフィールドを表示します。

ヒント　より多くのデータを表示するには、ライブラリおよびフィールドパネルを隠します。[ 表示 ] > [ ライブラリとフィールドパネルを隠す ] を選択します。

## 表形式のフィールドを削除する

### 表形式のフィールドを削除するには：

1. 列ヘッダの右端の をクリックします。
2. [ フィールドを削除 ] を選択します。
3. ダイアログで [ 削除 ] をクリックします。

   フィールドおよびそのデータがライブラリから完全に取り除かれます。

## 列を並べ替える

### 列を並べ替えるには：

列ヘッダを左右にドラッグし、新しい場所に配置します。

ヘッダをドラッグし、列を並べ替えます。

## 列のサイズを変更する

### 列のサイズを変更するには：

列ヘッダの端をドラッグして幅を調節します。

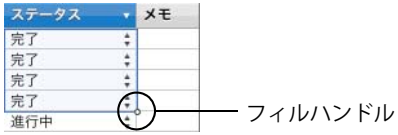
## フィールドを自動的に入力する

Bento では、1 つ以上の行の内容を使用して、選択したフィールドよりも下にあるレコードを自動的に追加または置き換えます。

### フィールドに自動入力するには：

1 1 つ以上のレコードで 1 つ以上のフィールドを選択します。

2 フィルハンドルをドラッグし、フィールドの値をドラッグ指定先まで下方向にコピーします。




## 列データを集計する

集計行を使用すると、列のデータに関する基本的な演算や結果の表示が簡単にできます。集計行は、表形式の下部と、簡易リストフィールドおよび関連データフィールドの下部に配置されています。

集計行を表示または隠すには、[ 表示 ] > [ 集計行を表示 ] または [ 集計行を隠す ] を選択します。または をクリックします。

フィールドタイプに応じて、次の集計関数が使用できます。

| 名前 | 目的 |
|---|---|
| 合計 | 選択したフィールドの値の合計を計算する |
| カウント | 選択したフィールドでエントリを持つ項目数をレポートする |
| 平均値 | 選択したフィールドの値の平均値をレポートする |
| 最小値 | 選択したフィールドの値の最小値をレポートする |
| 最大値 | 選択したフィールドの値の最大値をレポートする |

任意のタイプのフィールドでカウント関数を使用できます。次のタイプのフィールドで、合計、平均値、最小値、および最大値関数を使用できます : 数字、通貨、継続時間、レート、自動カウンタ、および計算（結果が数字、通貨、または継続時間の場合）。また、日付および時刻フィールドには、最小値および最大値関数を使用できます。

### 列の集計を計算するには：

選択した列の集計行をクリックし、ポップアップメニューから関数を選択します。関数名と結果が集計行に表示されます。

検索または詳細検索を実行する場合は、検出されたレコードに基づいて集計が再計算されます。

# グリッド形式を使用する 8

## Bento では、使いやすいグリッドレイアウトで、メディアフィールド（写真、音楽、およびムービー）とフォームを使用できます。

この章では、グリッド形式でのライブラリのメディアフィールドとフォームサムネールの使用、グリッド形式とフォーム形式でのレコードの同時表示、グリッド項目のフィルタリンク、グリッド項目のラベルの設定および変更、グリッド項目の表示サイズの変更、およびグリッド形式でライブラリフォルダを使用する方法について説明します。

## グリッド形式について

グリッド形式では、ライブラリまたはコレクションの各レコードのメディアフィールドが、行のサムネールとして表示されます。各サムネールがグリッド項目です。ライブラリまたはコレクションにメディアフィールドが含まれていない場合、Bento ではフォームのサムネールが表示されます。

グリッド項目の上でカーソルを前後に移動させると、グリッド項目内のすべてのメディアフィールドが順番にすばやく表示されます。

グリッド形式に移動するには、[ 表示 ] > [ グリッド形式 ] を選択するか、 をクリックします。

## グリッドとフォームを同時に表示する

選択したレコードをフォーム形式とグリッド形式で同時に表示できます。

グリッド形式を使用している場合は、レコードを選択し、[ 表示 ] > [ 分割形式 ] を選択するか、 をクリックします。

フォーム形式を使用している場合は、レコードを選択し、[ 表示 ] > [ 分割形式 ] を選択するか、 をクリックします。

## グリッド項目を表示する

### グリッド項目を表示するには：

写真、音楽、ムービー、およびドキュメントを表示するには、 をクリックします。

フォームサムネールを表示するには、 をクリックします。

## グリッド形式のオプションを設定する

### グリッド項目のラベルを設定するには：

1 をクリックします。

フィールドは、2 つまで指定できます。

2 [ タイトル ] ポップアップメニューをクリックして、フィールドを選択します。

メモ ラベルを表示しない場合は、両方のフィールドのダッシュ記号を選択します。

### グリッド項目にデフォルトのメディアフィールドを設定するには：

1 をクリックします。

2 [ グリッド設定 ] ウインドウの画像をクリックして、メディアフィールドを選択します。

## グリッド項目の表示サイズを変更する

### グリッド項目の表示サイズを変更するには：

拡大 / 縮小スライダをドラッグします。

## グリッド形式でライブラリフォルダを使用する

ライブラリフォルダを選択すると、フォルダに含まれるすべてのライブラリがグリッド形式で、各ライブラリのレコード数およびフォーム数に関する情報とともに表示されます。

ライブラリの上でカーソルを前後に移動させると、ライブラリに含まれるすべてのフォームが順番にすばやく表示されます。

ライブラリフォルダ

### 特定のフォームに移動するには：

1. 希望するフォームが表示されるまで、カーソルをグリッド項目の上で移動させます。
2. Control を押しながらクリックして、ポップアップメニューから [ フォームに移動 ] を選択します。

### グリッド項目にデフォルトのフォームが表示されるように設定するには：

1. 希望するフォームが表示されるまで、カーソルをグリッド項目の上で移動させます。
2. Control を押しながらクリックして、ポップアップメニューから [ デフォルトのグリッドフォームの設定 ] を選択します。

# フィールドを使用する 9

## Bento は、日常的に使用する情報などを格納するためのさまざまなフィールドタイプを提供します。

Bento では、名前、アドレス、日付、時間、価格、画像、ムービー、曲、場所、およびファイルのリストなどをトラッキングするためのフィールドを、さまざまなフィールドタイプから選択することが可能です。

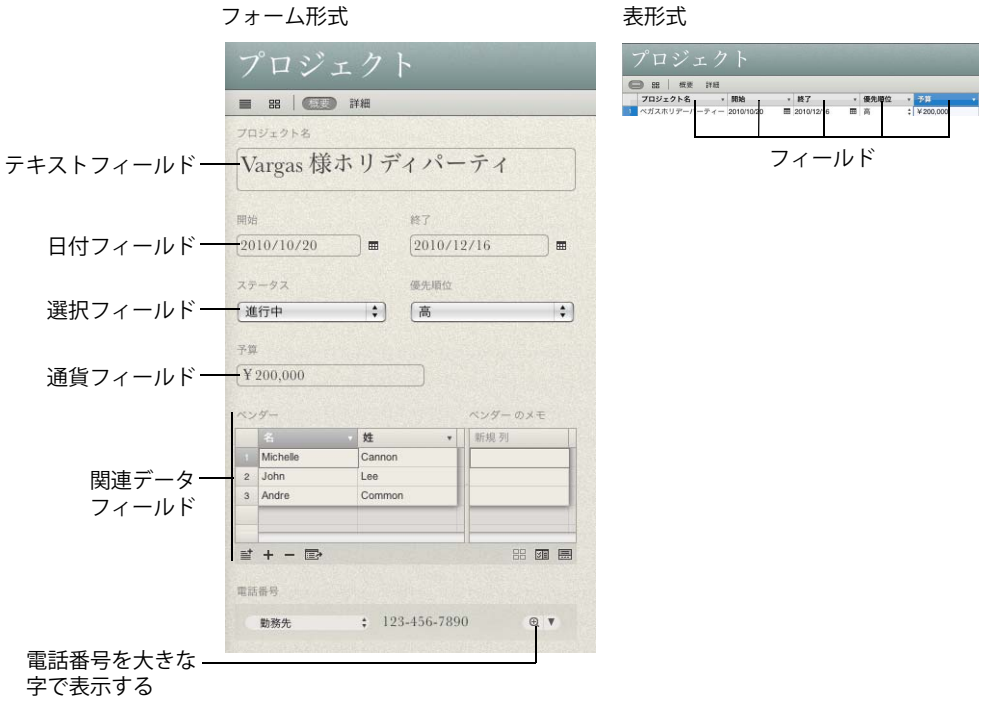
この章では、フィールドタイプの目的、フィールドの作成と変更方法、フィールドパネルの使用方法、および Bento が提供するさまざまなフィールドタイプの操作について説明します。

## フィールドについて

各ライブラリには、フィールドのセットが含まれています。各フィールドには、特定の種類のデータが格納されます。次のページのレコードには、複数のフィールドがあります。たとえば、プロジェクト名フィールドには、テキストが含まれます。

フィールドを作成すると、同じライブラリまたはコレクション内の複数のフォームおよびテーブルで使用できます。データをライブラリまたはコレクション間でリンクする場合は、関連データフィールドを使用できます。

メール、アドレス、電話番号、IM アカウント、URL、および場所フィールドから、メールメッセージの送信、住所へのルートの取得、大きな文字での電話番号の表示、またはレコードが作成または変更された時間の特定の場所の取得などのタスクを実行できます。




## フィールドタイプ

Bento で作成できるフィールドのタイプを次に説明します：

| フィールドタイプ | 目的 |
|---|---|
| テキスト | 入力されたすべての値を格納します。* |
| 数字 | 数値データをオプションの形式で格納します。** |
| 選択 | リストから項目を選択するための、ポップアップメニューを作成します。 |
| チェックボックス | オン / オフタイプの選択肢を提供します。 |
| メディア | 画像、ムービー、サウンド、および PDF ファイルを格納および使用します。 |
| 簡易リスト | 列の形式でさまざまなデータタイプのデータを格納します。 |
| ファイルリスト | コンピュータ上のファイルまたはフォルダへのエイリアスのサムネールを格納および表示します。 |
| メッセージリスト | Mac OS X Mail アプリケーションから電子メール、メモ、および RSS 記事を表示します。 |
| 関連データ | 現在のレコードに関連する、他のライブラリまたはコレクションの 1 つ以上のレコードを格納します。 |
| 時刻 | 時刻 ( 時間、分、および秒、AM または PM) を選択および格納します。 |
| 日付 | 日付と時刻の値を選択および格納します。デフォルトでは日付が表示されますが、時刻の値を表示することもできます。 |
| 継続時間 | 週、日、時間、分、および秒で時間を格納します。 |

| フィールドタイプ | 目的 |
| --- | --- |
| 計算 | 指定した計算の結果を表示します。サポートされる演算子は、加算、減算、乗算、除算、および連結 (2 つ以上の語または文を結合します ) です。 |
| 通貨 | 金額を格納し、選択した通貨形式で表示します。 |
| 自動カウンタ | 各新規レコードに、より大きな番号を割り当てます。 |
| レート | フィールド内で印をクリックすることにより、項目のレート値を設定します。 |
| 暗号化 | 要注意または機密データを保護し、表示から隠します ( データは中黒文字として表示されます )。暗号化データは、Bento データベースに格納されます。 |
| 場所 | 場所情報 ( 緯度と経度 ) を格納して、場所の地図を Web ブラウザに表示します。場所は 10 進数度、または度分秒で表示されます。<br>緯度の値は -90 ～ 90 度です。正の値は北緯、負の値は南緯を示します。<br>経度の値は -180 ～ 180 度 ( または 0 ～ 360 度 ) です。正の値は東経、負の値は西経を示します。 |
| アドレス | 単一のアドレスのすべてのコンポーネントを格納します。 |
| 電話番号 | 市外局番を含む、電話番号を格納します。 |
| メールアドレス | メールアドレスを格納します。 |
| URL | Web サイト、FTP サイト、および AFP サイトのアドレスを格納します。*** |
| IM アカウント | IM アカウントとサービス名を格納します。 |
| | メモ：<br>* テキストフィールドの最大容量は、約 2 GB です。<br>** サポートされる最大の数字は $2^{63}$ です。<br>*** URL フィールドは、日本語文字を含む URL 値をサポートしていません。 |

メモ　日付と時刻の形式は、現在のシステム環境設定により異なります。形式の変更については、Mac ヘルプを参照してください。

データの読み込みが可能なフィールドタイプのリストについては、119 ページの「読み込みでサポートされるフィールドタイプ」を参照してください。

## リストフィールド

アドレス、電話番号、メールアドレス、URL、および IM アカウントフィールドを作成する際には、関連する Bento リストフィールドによって作成され、1 件のレコードに複数のアドレス、電話番号などを表示することができます。これらの単一のフィールドタイプにデータを入力すると、Bento により関連するリストフィールドに同じデータが表示されます。

たとえば、「自宅電話」と名前をつけた電話番号フィールドに自宅電話を表示するフォームを作成したとします。会社の電話番号と携帯電話番号を 2 つの別の電話番号フィールドに追加します。Bento によりリストフィールドが作成され、3 つすべての電話番号がそのリストフィールドに表示されますが、会社の電話番号と携帯電話番号は自分で作成した「自宅電話」フィールドには追加されません。

フォーム 1

単一の電話番号フィールド

フォーム 1 では、単一の電話番号フィールドにデータを入力します。

フォーム 2

Bento によって作成された電話番号リストフィールド

フォーム 2 では、単一の電話番号フィールドに入力したデータが、Bento によって電話番号リストフィールドに表示されます。

標準フィールド ( たとえば上記の「自宅電話」など ) に格納された値は読み込み、および書き出しが可能ですが、リストフィールドに格納された値を読み込み、および書き出しすることはできません。フォーム形式のリストフィールドに格納されている値を表示できますが、表形式では表示されません。

## フィールドを作成する

次の手順に従い、フィールドのすべてのタイプを作成します。ただし、計算、ファイルリスト、メッセージリスト、関連データフィールド、および場所フィールドは作成できません。これらのフィールドタイプに関する追加情報については、85 ページの「計算フィールドを作成する」、86 ページの「ファイルリストフィールドを作成する」、88 ページの「メッセージリストフィールドを作成する」、89 ページの「関連データフィールドを作成する」、および 88 ページの「場所フィールドを作成する」を参照してください。

フォームへのフィールドの追加の詳細は、59 ページの「フィールドをフォームに追加する」を参照してください。

### フィールドを作成するには：

1 [ 挿入 ] > [ 新規フィールド ...] を選択するか、Control + N を押します。

2 フィールドタイプを選択します。

3 フィールドに名前を付けます。

名前は、ライブラリ内で他と異なっている必要があります。

4 必要に応じ、フィールドのオプションを設定します。

5 [ 作成して続行 ] をクリックするか、またはコマンドキーおよび Return キーを同時に押します。

6 手順 2 から 5 を繰り返し、追加フィールドを作成します。

7 [ 閉じる ] をクリックします。

フィールドが、フィールドパネルと現在のフォームに追加されます。

8 フィールドパネルを使用してフィールドを追加または表示します。

| 目的 | フィールドパネルで実行する操作 |
|---|---|
| フィールドをフォーム形式または分割形式のフォームに追加する | フィールドをフォームにドラッグする |
| フィールドを表形式または分割形式の列として表示する | フィールドのチェックボックスを選択する |

メモ　表形式では、関連データフィールドや、アドレス、メールアドレス、ファイルリスト、メッセージリスト、および簡易リストなどのタイプのリストフィールドは表示されません。

## 計算フィールドを作成する

### 計算フィールドを作成するには：

1 [ 挿入 ] > [ 新規フィールド ...] を選択するか、Control + N を押します。

2 [ 計算 ] を選択します。

3 [ 続行 ...] をクリックします。

4 フィールドに名前を付けます。

5 計算式を作成します。

| 追加する内容 | 行なう手順 |
|---|---|
| フィールドに参照を追加 | [ 使用可能なフィールド ] リストで、フィールド名をダブルクリックします。 |
| 数学演算子またはテキスト演算子 | 演算子ボタンをクリックするか、または計算式に演算子を入力します。 |
| 現在の日付 | [Today] をクリックし、現在の日付を挿入します。 |
| 現在の時刻 | [Now] をクリックし、現在の時刻を挿入します。 |
| フォーマット済みの値 | [ 値 ...] をクリックし、リストから値を選択します。フォーマット済みの値を、希望する値に置き換えます。 |

6 適切なデータタイプを選択し、その他のオプションを設定します。

7 [ 作成 ] をクリックします。

新規フィールドが、フィールドパネルと現在のフォームに追加されます。

ヒント 計算の作成に不慣れな場合は、[ 例を表示 ] をクリックし、計算例を参照して試してください。

### 簡易リストフィールドで計算を作成するには：

1 列ヘッダのポップアップメニューをクリックします。

2 [ 変更先 ] > [ 計算 ] を選択します。

3 [「列名」を編集 ...] を選択して、計算ダイアログを開きます。

4 上の手順 5 および 6 の説明のとおり、計算式を作成します。

## ファイルリストフィールドを作成する

ファイルリストフィールドを使用して、コンピュータ内のファイル、またはフォルダのエイリアスのリストを格納します。各エイリアスには、ハードドライブ内の特定の場所にある特定のファイル、またはフォルダへのパスが含まれます。

ファイルエイリアスを格納すると、コンピュータの実際のファイルへの接続またはリンクが作成されます。ファイルを移動、名称変更または削除すると、そのファイルへの接続が切断されます。( 接続を再度確立するには、ファイルエイリアスをフィールドに再度追加する必要があります。) エイリアスファイルは、データのあるテンプレートを書き出した場合には含まれますが、データをバックアップまたは復元したときには含まれません。

ファイルリストフィールドに格納されているファイル、またはアプリケーションをすばやく開くことができます。たとえば、内定者の履歴書 PDF ファイルをエイリアスに格納することができます。PDF アイコンをダブルクリックすると、システムの PDF ファイル表示用デフォルトアプリケーションでドキュメントが開きます。

### ファイルリストフィールドを作成し、ファイルを追加するには：

1. [ 挿入 ] > [ 新規フィールド ...] を選択するか、Control + N を押します。
2. [ ファイルリスト ] を選択します。
3. フィールドに名前を付けます。
4. [ 作成 ] をクリックします。

   新規フィールドが、フィールドパネルと現在のフォームに追加されます。

   ヒント　フォーム形式にはファイルリストフィールドが表示されますが、表形式には表示されません。[ 表示 ] > [ 分割形式 ] を選択すると、表形式での作業中にフォーム形式でファイルリストフィールドも表示できます。
5. ファイルリストフィールドの表の左下隅にある をクリックするか、または [ 挿入 ] > [ ファイル ...] を選択します。
6. [ 開く ] ダイアログで、ファイルリストフィールドに加えたいファイルを選び、[ 選択 ] をクリックします。

   また、Finder からファイルリストフィールドに、ファイルをドラッグすることもできます。
7. フィールドでファイルを開くには、 をクリックして、[ 開く ] を選択するか、ファイルサムネールまたはフィールドの行をダブルクリックします。

- データが含まれたテンプレートを書き出すときにフォルダは含まれません。
- クイックルックでファイルリストフィールドに格納されたファイルをプレビューできます。98 ページの「クイックルックでファイルをプレビューする」を参照してください。97 ページの「ファイルリストフィールドおよびメッセージリストフィールドに格納されたファイルで作業する」も参照してください。
- データを含むテンプレートとともにレコードを書き出すと、エイリアスファイルも書き出されます。詳細については、122 ページの「ライブラリ、コレクション、またはスマートコレクションから書き出す」を参照してください。

## メッセージリストフィールドを作成する

メッセージリストフィールドを使用して、特定のレコードに関連する Mac OS X Mail メッセージ、メモ、および RSS 記事にエイリアスを格納します。たとえば、プロジェクトまたはイベントにリンクされている通信のログを格納できます。

メモ　メッセージリストフィールドにはメッセージへのエイリアスが格納されているため、Mac OS X Mail からメッセージを削除すると、メッセージリストフィールドからエイリアスも削除されます。

### メッセージリストフィールドを作成するには：

1. [ 挿入 ] > [ 新規フィールド ...] を選択するか、Control + N を押します。
2. [ メッセージリスト ] を選択します。
3. フィールドに名前を付けます。
4. [ 作成 ] をクリックします。

   新規フィールドが、フィールドパネルと現在のフォームに追加されます。

   メモ　フォーム形式にはメッセージリストフィールドが表示されますが、表形式には表示されません。
5. Mac OS X Mail 項目 ( メッセージ、メモ、および RSS 記事 ) をフィールドに追加します。

   97 ページの「Mac OS X Mail 項目をメッセージリストフィールドに追加する」を参照してください。

## 場所フィールドを作成する

休暇ジャーナルや顧客訪問ログなどのライブラリでは、場所フィールドを使用して、場所 ( 緯度と経度 ) をトラックし、Web ブラウザに場所の地図を表示できます。ワイヤレスネットワークにアクティブな接続があり、Mac OS X 10.6 がインストールされている場合は、場所フィールドを設定して、情報を自動的に取得できます。

### 場所フィールドを作成するには：

1. [ 挿入 ] > [ 新規フィールド ...] を選択するか、Control + N を押します。
2. [ 場所 ] を選択します。
3. フィールドに名前を付けます。
4. 10 進数度、または度分秒の形式を選択します。

   10 進数度形式の例：
   37.406300°N、121.983400° W

   度分秒形式の例：
   37°24′ 23″ N、121°59′0″ W

緯度と経度の値の詳細については、82 ページの「フィールドタイプ」を参照してください。

5 [ 自動的に場所を入力 ] を選択すると、レコードが変更または作成された時点の場所を取得します（ワイヤレスネットワークへのアクティブな接続があり、Mac OS X 10.6 がインストールされている必要があります）。

[ レコードの変更時 ] または [ レコードの作成時 ] を選択します。

6 [ 作成 ] をクリックします。

新規フィールドが、フィールドパネルと現在のフォームに追加されます。

メモ Bento によって現在の場所が入力されるのは、システム環境設定で位置情報サービスが有効になっている場合だけです。OS X Lion 10.7 の場合、システム環境設定の [ セキュリティとプライバシー ] の [ プライバシー ] タブで [Bento] チェックボックスを選択する必要があります。

## 関連データフィールドを作成する

関連データフィールドを使用し、表示されているレコードに関連するライブラリまたはコレクションからの 1 つ以上のレコードを表示します。

たとえば、プロジェクトライブラリを使用して、トライアスロンの計画を管理し、ベンダーのリストをフォームに表示したい場合は、関連データフィールドを作成して、機材と食料の準備のために雇用したベンダーを表示できます。これらのレコードはベンダーコレクションから取得されます。関連データフィールドに新規レコードを追加すると、レコードはそこに表示されますが、ベンダーコレクションに格納されます。

以下の説明のようにメニューコマンドを使用するか、ライブラリまたはコレクションをフォームにドラッグして、関連データフィールドを作成できます（92 ページの「レコードをドラッグして関連データフィールドを作成する」を参照）。

フォーム形式には関連データフィールドが表示されますが、表形式には表示されません。

### 関連データフィールドを作成するには：

1 関連レコードのリストを追加したいライブラリまたはコレクションを選択します。

2 [ 挿入 ] > [ 新規フィールド ...] を選択するか、Control + N を押します。

3 [ 関連データ ] を選択します。

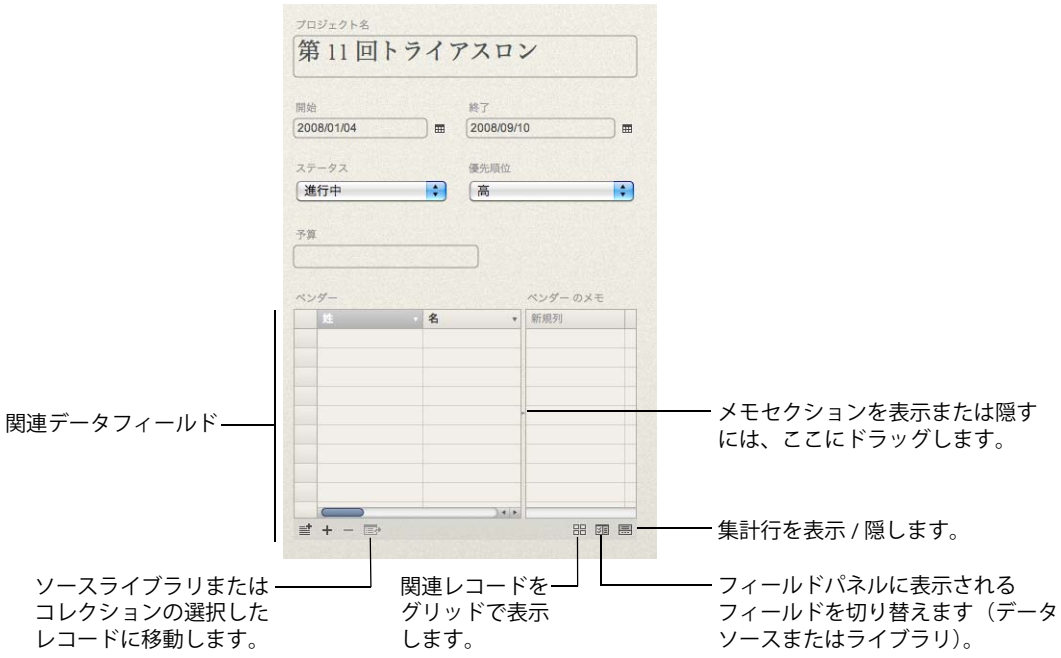
4 フィールドに名前を付けます。

5 リストからデータソースを選択します。

データソースは、ライブラリ、コレクション、またはスマートコレクションです。ライブラリを選択する場合は、ライブラリのすべてのレコードを関連データフィールドに追加できます。コレクションを選択する場合は、そのコレクションからのレコードのみ、関連データフィールドに追加できます。

6 [ 作成 ] をクリックします。

新規フィールドが、フィールドリストと現在のフォームに追加されます。




7 をクリックして関連データフィールドをグリッド形式に切り替えます。

8 をクリックして、手順 5 で指定したデータソースから、レコードを表示します。

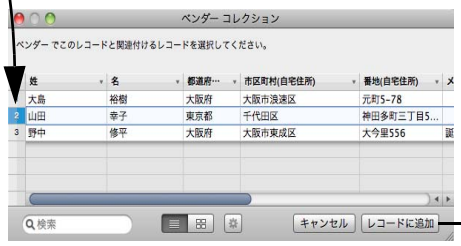
関連データフィールドに追加するレコードを選択し、[ 変更内容を保存 ] をクリックします。

- をクリックしてレコードを追加します。データソースがスマートコレクションの場合は、スマートコレクションにレコードを追加できないため、 は無効になります。
- をクリックして、関連データフィールドからレコードを取り除きます。レコードは関連データフィールドの元になるデータソース ( ライブラリまたはコレクション ) に残っています。
- 関連データフィールドの元になるライブラリまたはコレクションを削除すると、関連データフィールドも削除されます。
- 関連データフィールドに表示されるレコードがデータソースで削除されると、レコードはそのレコードが表示されるその他の関連データフィールドからも削除されます。
- 関連データフィールドのデータを変更するには、 をクリックします。ウインドウが開き、関連ライブラリまたはコレクションからのレコードが表示されます。すでに現在のレコードに関連付けられているレコードがある場合は、選択および強調表示されます。関連レコードを追加するには、ウインドウで追加するレコードを選択し、[ 変更内容を保存 ] をクリックします。レコードを取り除くには、ウインドウで取り除くレコードを選択し、[ 変更内容を保存 ] をクリックします。レコードは関連データフィールドからのみ取り除かれ、データソースには残ります。

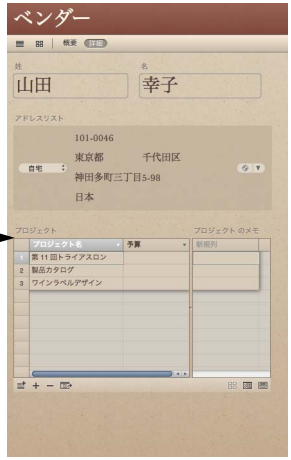
## レコードをドラッグして関連データフィールドを作成する

関連データフィールドを作成するには、別のライブラリまたはコレクションに関連付けて表示する 1 つまたは複数のレコードから開始する方法もあります。下の図は、関連付けられたプロジェクトレコードをベンダーコレクションに表示する方法を示します。

まず、1 つ以上のベンダーに関連付けるプロジェクトライブラリから、レコードを選択してドラッグします。




次に、プロジェクトレコードに関連付けるベンダーレコードを選択します。




新しい関連データフィールドが、レコードと共にベンダーコレクションのフォームに表示されます。

### レコードをドラッグして関連データフィールドを作成するには：

1. 別のライブラリまたはコレクションに関連付けるレコードのあるライブラリまたはコレクションを開きます。( たとえば、プロジェクトライブラリを開きます。)
2. 表形式に切り替えます。
3. 別のライブラリまたはコレクションに関連付けるレコードを選択します。(たとえば、プロジェクトレコードをベンダーコレクションに関連付けるには、これらのレコードをプロジェクトライブラリで選択します。)

4 ライブラリパネルで、選択したレコードを関連付けたいライブラリまたはコレクションにドラッグします。( たとえば、ライブラリパネルで、選択したプロジェクトレコードをベンダーコレクションにドラッグします。)

5 2 つのライブラリ間にすでに関連が存在する場合は、手順 6 に進みます。2 つのライブラリ間に関連がない場合は、関連データフィールドを作成するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[ レコードを選択 ] をクリックします。

6 手順 4 でレコードをドラッグしたライブラリまたはコレクションのウインドウで、関連付けるレコードを選択します。(たとえば、選択したプロジェクトに関連付けるベンダーを選択します。)

7 [ レコードに追加 ] をクリックします。

新規関連データフィールドが、手順 4 でレコードをドラッグしたライブラリまたはコレクションに作成されます。(たとえば、プロジェクトという名前の関連データフィールドがベンダーコレクションに作成されます。)

8 手順 4 でレコードをドラッグしたライブラリまたはコレクション (たとえば、ベンダーコレクション) で、フィールドリストから新規関連データフィールドをフォームにドラッグします。

## 関連レコードに移動する

### 関連レコード間を移動するには :

1 レコードをクリックします。

2 をクリックしてライブラリまたはコレクションのレコードに移動し、レコードの詳細を表示します。

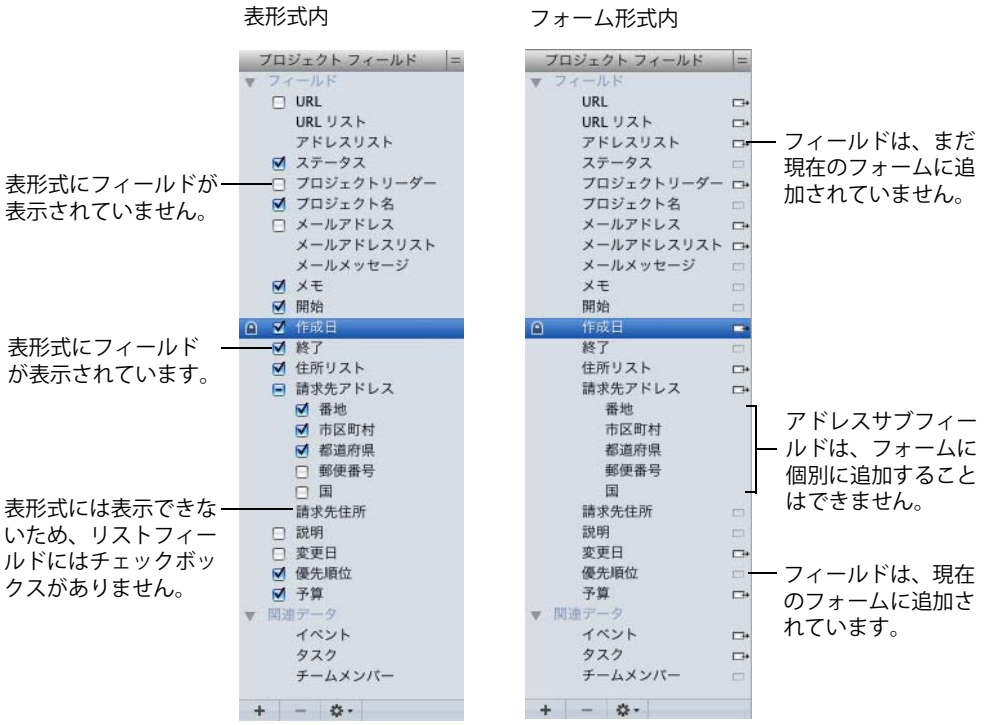
移動先のレコードを編集できます。

3 異なる関連データフィールドのレコード間で移動するときに、ナビゲーションバーの をクリックすると、前に表示した関連レコードに迅速に戻ることができます。

ただし、ライブラリパネルで項目を選択すると、Bento では、表示した関連レコードのトラックを保持するのを停止し、 が消えます。

# フィールドパネルを使用する

フィールドパネルには、選択したライブラリまたはコレクションで使用することのできるフィールドのリストがアルファベット順で表示されます。フィールドパネルを使用し、現在のフォームに追加するフィールド ( フォーム形式の場合 )、または列として表示するフィールド ( 表形式の場合 ) を選択します。分割形式では、現在のフォームに追加できる、または表形式に表示できるフィールドがフィールドパネルに示されます。




フィールドパネルでは、次の操作を実行できます：

- をクリックしてフィールドを作成します。
- を使用してフィールドをフォームにドラッグします。
- フィールドのチェックボックスを選択し、表形式にフィールドを表示します。
- フィールド名をダブルクリックし、名前と設定を編集します。フィールドがロックされている場合、そのフィールドはアドレスブック、iCal、または iPhoto で共有されているか、または Bento によってロックされているため、フィールドの名前または設定を変更することはできません。

- をクリックし、[ 複製 ] を選択してフィールドを複製します。
- をクリックし、フィールドとそのデータを削除します。フィールドを削除すると、ライブラリ、およびコレクションと、そのフィールドを使用する関連データフィールドから削除されます。

  メモ 表形式のフィールドパネルでは、関連データフィールド、またはリストフィールドタイプ ( アドレス、メールアドレス、電話番号、IM アカウント、URL、ファイルリスト、メッセージリスト、および簡易リスト ) は表形式では表示されないため、それらの横にチェックボックスはありません。

## 既存のフィールドのタイプを変更する

一部のフィールドのタイプを別のタイプに変更できます。自動カウンタ、場所、およびアドレスの各フィールド、および共有されているデータベースでアクセスするフィールドを別のタイプに変更することはできません。

下の表の情報は、簡易リストフィールドの列、および関連データフィールドのメモセクションの列のデータタイプを変更する場合にも適用されます。

| 変換元： | 変換先：テキスト | 数字 | 選択 | チェックボックス | 時刻 | 日付 | 継続時間 | 通貨 | レート | 電話 | 他のリストフィールド | 計算、暗号化、メディア |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| テキスト | | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • | • |
| 数字 | • | | • | • | | | | • | • | • | | |
| 選択 | • | • | | • | • | • | • | • | • | • | • | |
| チェックボックス | • | • | • | | | | | | | | | |
| メディア | • | | | | | | | | | | | |
| 時刻 | • | | • | | | | | | | | | |
| 日付 | • | | • | | | | | | | | | |
| 継続時間 | • | | • | | | | | | | | | |
| 計算 | • | | | | | | | | | | | |
| 通貨 | • | • | • | | | | | | | | | |
| レート | • | • | • | | | | | | | | | |
| 暗号化 | • | | | | | | | | | | | |
| 電話番号 | • | | | | | | | | | | | |
| メールアドレス | • | | | | | | | | | | | |
| URL | • | | | | | | | | | | | |
| IM アカウント | • | | | | | | | | | | | |

### 既存のフィールドのタイプを別のタイプに変更するには：

1. 表形式の列名を選択します。
2. 列ヘッダの右端の をクリックします。
3. [ 変更先 ] を選択し、リストからフィールドタイプを選択します。

## リストフィールドで作業する

リストフィールドの一部のタイプ ( アドレス、電話番号、メールアドレス、URL、および IM アカウント ) には、ポップアップメニューが用意されています。これを使用して、選択した電話番号を大きな字で表示する、選択した住所へまたは選択した住所からのルートを取得する、選択した住所の地図を表示するなどのアクションを迅速に実行できます。

### メールを送信する

フォーム形式と表形式で、家族や友人、同僚にメールをすばやく送信することができます。

#### フォーム形式でメールを送信するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. メールアドレスフィールドの横の をクリックします。

   アイコンが表示されている場合は、メールアドレスが無効です。
3. デフォルトのメールアプリケーションにより、メールアドレスフィールドの名前宛ての空のメールメッセージが開いて表示されます。
4. メッセージを作成し、送信します。

#### 表形式でメールを送信するには：

1. 1 つ以上のメールアドレスフィールドを選択します。

   複数のメールアドレスフィールドをすばやく選択するには、フィールドをブロックで選択できます。
2. [ 編集 ] > [ 選択したアドレスにメールを送る ] を選択するか、Shift + コマンド + M を押します。
3. デフォルトのメールアプリケーションにより、選択したメールアドレスフィールドの名前宛ての空のメールメッセージが開いて表示されます。
4. メッセージを作成し、送信します。

## Mac OS X Mail 項目をメッセージリストフィールドに追加する

メッセージリストフィールドでは、特定のレコードに関連する Mac OS X Mail メッセージ、メモ、および RSS 記事にエイリアスを格納できます。メッセージリストフィールドの作成に関する手順については、88 ページの「メッセージリストフィールドを作成する」を参照してください。

メモ　Bento にエイリアスを格納しても、Mail のメッセージにリンクされるだけで、Bento にメールメッセージは格納されません。Mail からメッセージを取り除くと、メッセージは Bento からも取り除かれます。

### Mac OS X Mail メッセージ、メモ、または RSS 記事をメッセージリストフィールドに追加するには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. メッセージリストフィールドの表の左下隅にある アイコンをクリックし、Mac OS X Mail アプリケーションを開きます。
3. Mac OS X Mail で、メッセージ、メモ、および RSS 記事を含むフォルダを選択します。
4. メッセージリストフィールドへ項目を 1 つまたは複数ドラッグします。

   ヒント　 をクリックして、フィールドパネルのメッセージリストフィールド用のフィールドを表示します。

   Mac OS X Mail の項目を開くには、97 ページの「ファイルリストフィールドおよびメッセージリストフィールドに格納されたファイルで作業する」を参照してください。

## ファイルリストフィールドおよびメッセージリストフィールドに格納されたファイルで作業する

レコードを参照する際に、ファイルリストフィールドに格納されているファイルまたはアプリケーションと、メッセージリストフィールドに格納されている Mac OS X Mail の メッセージ、メモ、および RSS 記事を迅速に開くことができます。

### ファイルリストフィールドまたはメッセージリストフィールドに格納されているファイルを開くには：

1. ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。
2. ファイルリストフィールドまたはメッセージリストフィールドの項目を 1 つまたは複数選択します。隣接しない項目を選択するには、コマンドキーを押しながらクリックします。

3 をクリックして [ 開く ] ( ファイルリストの場合 ) を選択するか、 をクリックするか ( メッセージリストの場合 )、または開きたい項目をダブルクリックします。

4 各項目に関連付けられているアプリケーションが起動し、項目の内容が表示されます。

たとえば、PDF ファイルと QuickTime ムービーファイルをダブルクリックすると、Mac OS X Preview と QuickTime Player アプリケーションが起動し、PDF ファイルと QuickTime ムービーファイルが表示されます。メールメッセージ、メモ、または RSS 記事をダブルクリックすると、Mac OS X Mail アプリケーションが起動し、Mac OS X Mail 項目が表示されます。

### ファイルリストフィールドに格納されたファイルを表示するには：

1 項目を表に表示するには、 をクリックします。

2 グリッド形式に切り替えるには、 をクリックします。

グリッド形式で項目の表示サイズを変更するには、 をクリックします。

### ファイルリストフィールドからファイルをメールで送信するには：

1 ファイルリストフィールドからメールで送信するファイル名を 1 つ以上選択します。

2 ファイルリストフィールドの左下で、 をクリックしてから [ メールで送信 ] を選択します。

Mac OS X Mail アプリケーションが開きます。

3 受信者の名前を入力し、件名とメッセージを変更してから、[ 送信 ] をクリックします。

## クイックルックでファイルをプレビューする

クイックルックを使用すると、ファイルリストフィールドやメッセージリストフィールドの項目の内容を、項目を開くことなく迅速に表示できます。

### ファイルをプレビューするには：

1 ナビゲーションバーのフォームを選択するか、[ 表示 ] > [ フォーム形式 ] > フォームの名前を選択します。

2 ファイルリストフィールドまたはメッセージリストフィールドの項目を 1 つまたは複数選択します。

3 をクリックしてクイックルックのファイル名を選択するか、スペースバーを押します。

表示される内容は、ファイルのタイプによって異なります。画像の場合は、小さいバージョンが表示されます。テキストドキュメントの場合は、テキストを読んだり、スクロールしてさらに多くを表示できます。複数の項目を選択すると、クイックルックウインドウの下部の矢印キーまたはボタンを使用して、ウィンドウ間で移動できます。

## 簡易リストフィールドで作業する

簡易リストフィールドの列と行は、表形式と同じように操作できます。このセクションでは、簡易リストフィールドの操作方法の一部を説明します。列の操作の詳細については、71 ページの「表形式のフィールドおよび列を使用して作業する」を参照してください。

簡易リストに情報を追加するには、最初に簡易リストタイプのフィールドを作成する必要があります。84 ページの「フィールドを作成する」を参照してください。

フィールドパネルから簡易リストフィールドをフォームにドラッグし、入力を開始してレコードに関連するデータを追加できます。Bento によりデフォルトでテキストフィールドが作成されますが、列のフィールドタイプは変更できます。

メディアフィールドと同じように、簡易リストフィールドでメディアデータを操作できます。詳細については、104 ページの「メディアフィールドを使用して作業する」を参照してください。また、簡易リストフィールドでも計算を作成、表示および編集できます。詳細については、85 ページの「計算フィールドを作成する」を参照してください。

### 簡易リストフィールドにデータを追加するには：

1 データを追加する列のフィールドをクリックして、フィールドに入力します。

2 Tab キーを押して別の列を作成し、ここに同じレコードを連続して入力できます。

メモ　表形式またはスプレッドシートファイルからデータをコピーして、簡易リストフィールドにペーストすることもできます。

### 簡易リストフィールドに列を追加するには：

列ヘッダ右端の をクリックして、[ 前に列を追加 ] または [ 後に列を追加 ] を選択します。列の新規名を入力し、Return キーまたは Tab キーを押します。

### 簡易リストフィールドで列の名前を変更するには：

次のいずれかを行います：

- 列名をダブルクリックし、新規名を入力し、Return キーまたは Tab キーを押します。
- 列ヘッダ右端の をクリックしてから、[ 列名を編集 ] を選択し、ダイアログで列名を変更します。ここでは、フィールドに入力するときに、テキストのオートコンプリートを使用するかどうかも変更できます。

### 列のデータタイプを変更するには：

1. 列ヘッダの右端の をクリックします。
2. [ 変更先 ] を選択し、リストからデータタイプを選択します。

メモ　すべてのデータタイプを変更できるわけではありません。詳細については、95 ページの「既存のフィールドのタイプを変更する」を参照してください。

### 簡易リストフィールドで列を削除するには：

列ヘッダ右端近くの をクリックして、[ 列を削除 ] を選択します。

### 簡易リストフィールドで列を表示または隠すには：

1. 簡易リストフィールドの右下隅で、 をクリックします。
2. 列を表示するには、フィールドパネルで列名の横のチェックボックスを選択します。

列を隠すには、次のいずれかを行います：

- 列ヘッダの右端近くの をクリックして、[ 列を隠す ] を選択します。
- 簡易リストフィールドの右下隅の をクリックします。フィールドパネルで、列名の横のチェックボックスの選択を解除します。

### 簡易リストフィールドに集計行を表示または隠すには：

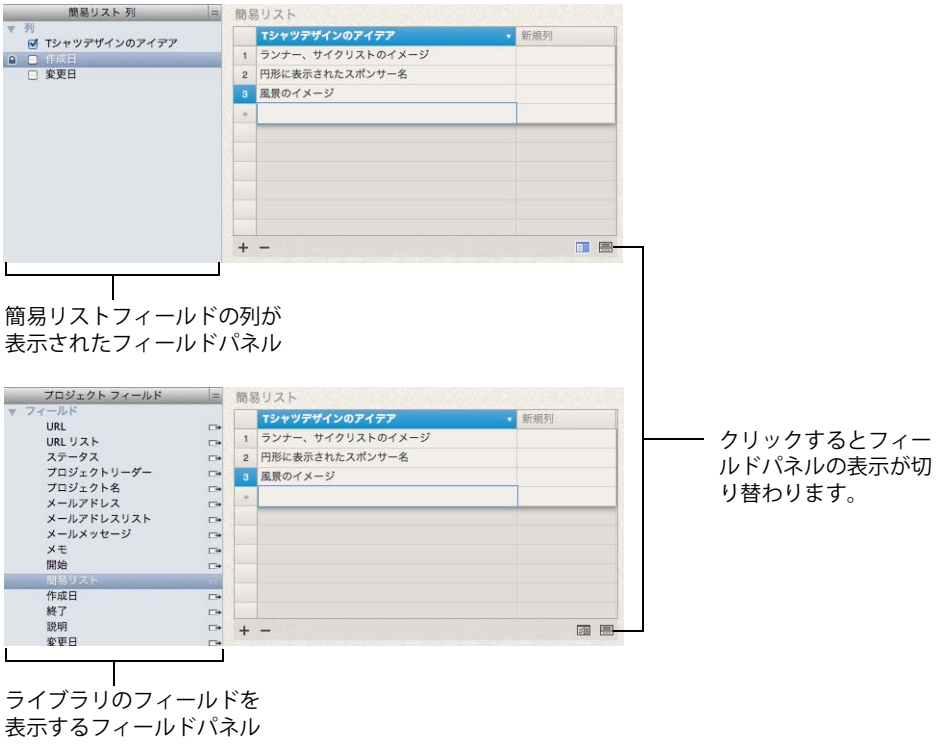
次のいずれかを行います：

- [ 表示 ] > [ 集計行を表示 ] または [ 集計行を隠す ] を選択します。
- 簡易リストフィールドの右下隅の をクリックします。

集計行の詳細については、75 ページの「列データを集計する」を参照してください。

### フィールドパネルの表示を切り替えるには：

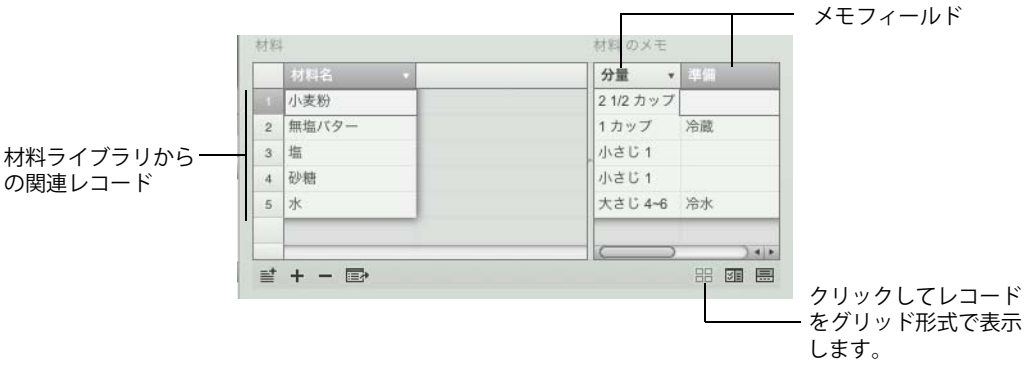
簡易リストフィールドでの列の表示とフィールドパネルのライブラリでのフィールドの表示を切り替えるには、簡易リストフィールドの右下隅の をクリックします。




## 関連データフィールドを使用して作業する

関連データフィールドには、データソースに関連していてデータソースにリンクされていないレコードに関する情報を格納できます。この情報はメモと呼ばれる関連データフィールドの別のセクションに格納されます。

たとえば、材料ライブラリにリンクされた関連データフィールドのあるレシピライブラリには、材料関連データフィールドのメモセクションのレシピに、各材料の必要量などの情報を格納できます。メモセクションの別のフィールドに、材料の準備方法や購入した店の名前などの詳細を追加することもできます。メモフィールドの情報は、材料ライブラリには格納されません。




メモセクションで、計算を作成、表示および編集できます。詳細については、85 ページの「計算フィールドを作成する」を参照してください。

### メモセクションを表示するには：

カーソルを関連データフィールドの右端に置きます。カーソルの形が に変わったら、左にドラッグします。最初のメモ列 ([ 新規列 ]) が作成された状態で、メモセクションが表示されます。列の新規名を入力し、Return キーまたは Tab キーを押します。

### メモセクションに列を追加するには：

列ヘッダ右端の をクリックして、[ 前に列を追加 ] または [ 後に列を追加 ] を選択します。列の新規名を入力し、Return キーまたは Tab キーを押します。

### メモセクションで列の名前を変更するには：

次のいずれかを行います：

- 列名をダブルクリックし、新規名を入力し、Return キーまたは Tab キーを押します。
- 列ヘッダ右端の をクリックしてから、[ 列名を編集 ] を選択し、ダイアログで列名を変更します。ここでは、フィールドに入力するときに、テキストのオートコンプリートを使用するかどうかも変更できます。

### 列のデータタイプを変更するには：

1 列ヘッダの右端の をクリックします。

2 [ 変更先 ] を選択し、リストからデータタイプを選択します。

メモ　すべてのデータタイプを変更できるわけではありません。詳細については、95 ページの「既存のフィールドのタイプを変更する」を参照してください。

### 集計行を表示または隠すには：

次のいずれかを行います：

- [ 表示 ] > [ 集計行を表示 ] または [ 集計行を隠す ] を選択します。
- をクリックします。

集計行の詳細については、75 ページの「列データを集計する」を参照してください。

### メモセクションで列を削除するには：

列ヘッダ右端の をクリックして、[ 列を削除 ] を選択します。

### 関連データフィールドのレコードをソートするには：

列ヘッダでポップアップメニューをクリックし、[ 昇順ソート ] または [ 降順ソート ] を選択します。

### グリッド形式に関連データレコードを表示するには：

をクリックするとレコードがグリッドで表示されます。

### グリッド項目のラベルを設定するには：

1 グリッド形式で、 をクリックします。

2 [ タイトル ] ポップアップメニューをクリックして、フィールドを 2 つまで選択します。

各フィールドのデータは、グリッド項目のラベルとして表示されます。

ラベルを表示しない場合は、フィールドのダッシュ記号を選択します。

# メディアフィールドを使用して作業する

JPEG、QuickTime、MP3 ファイルなど、多くのタイプのサウンド、画像、およびムービーファイルを、メディアフィールドに追加することができます。

iTunes Store から購入したサウンドファイルを追加する場合、サウンドファイルを購入するために使用したアカウントのアカウント名とパスワードの入力が必要になる場合があります。

メモ　iTunes Store から購入したムービーファイルは追加できません。

ヒント　フォームのすべてのレコードにロゴやレターヘッドのようなイメージを表示するには、イメージボックスを使用します。イメージボックスの詳細については、64 ページの「イメージボックスを追加する」を参照してください。

## 写真を撮影する

コンピュータに iSight カメラがあれば、写真を撮影してフォームで使用できます。

### 写真を撮影するには：

1. 空のメディアフィールドをクリックします。

   メディアフィールドの作成方法については、84 ページの「フィールドを作成する」を参照してください。

2. をクリックします。

3. ウインドウ内で、 をクリックして、画像が表示されるのを待ちます。

4. オプション： をクリックして写真に加える特殊効果を選択します。

5. [ 設定 ] をクリックして画像をメディアフィールドに保存し、ロードします。

ヒント　写真をバックアップするには、書き出しを行ってください。詳細については、106 ページの「画像を書き出す」を参照してください。

## メディアファイルを追加する

サウンド、画像 ( 写真、グラフィックなど )、およびムービーファイルをメディアフィールドに追加できます。画像ファイルには、Web や iPhoto などの他のアプリケーションからの画像が含まれます。

### メディアファイルを追加するには：

1. メディアフィールドをクリックします。

2 メディアファイルを、Finder、iPhoto、または iTunes、からメディアフィールドへドラッグするか、 をクリックしてファイルを選択します。

iTunes ファイルを除き、メディアファイルを追加すると、Bento では、bento.bentodb ファイルにそれをコピーします。iTunes ファイルをメディアフィールドに追加すると、Bento によりエイリアスがファイルに作成されます。

メディアファイルを Bento にコピーしない場合は、メディアフィールドへのメディアファイルのドラッグ開始後、Option キーを押したままにします。

矢印 がサムネールに表示されます。Bento では、ハードドライブ内の特定の場所にある特定のファイルへのパスが含まれているエイリアスを作成します。メディアファイルへのエイリアスを使用する場合で、元のメディアファイルを移動または名称変更した場合、そのファイルへのエイリアスは途切れます。

3 [ 開く ] ダイアログで、追加する画像を選択し、[ 開く ] をクリックします。

## ムービーまたはサウンドファイルを再生する

Bento でムービーまたはサウンドファイルを再生する方法は、QuickTime Player でムービーまたはサウンドファイルを再生する方法と似ています。

### ムービーまたはサウンドファイルを再生するには：

1 メディアフィールドをクリックします。

2 ムービーまたはサウンドファイルを開始するには、再生バーで をクリックします。

スライダを上下にドラッグして音量を調節します。

3 ムービーまたはサウンドファイルの再生をポーズするには、 をクリックします。ムービーまたはサウンドファイルの再生を再開するには、 をクリックします。

## 画像の位置調整をする

画像は、メディアフィールド内の、どの方向にも移動することができます。

### 画像を位置調整するには：

1 メディアフィールドをクリックします。

2 フィールド内の画像をドラッグします。

表示の外へ画像をドラッグした場合は、[ フレームに合わせる ] を選択して画像を表示する状態に戻します。

## 画像の表示サイズを変更する

メディアフィールド内で画像の表示サイズを変更できます。

### 画像の表示サイズを変更するには：

1 メディアフィールドをクリックします。

2 拡大 / 縮小スライダをドラッグし、画像を拡大または縮小します。

3 [ フレームに合わせる ] を選択して画像のサイズをフィールドのサイズと同じにします。

## 画像を書き出す

画像ファイルを、別の名前で、または別の場所に書き出す ( 保存する ) ことができます。元のファイル形式で保存されます。

### 画像を書き出すには：

1 メディアフィールドをクリックします。

2 をクリックします。

3 [ 別名で保存 ] ダイアログで、画像ファイルを保存したいフォルダを選択します。

4 名前を入力し、[ 保存 ] をクリックします。

## メディアファイルを削除する

レコードからメディアファイルを削除すると、そのファイルはライブラリと、そのライブラリ内のすべてのコレクションから完全に削除されます。

### メディアフィールドの内容を削除するには：

1 メディアフィールドをクリックします。

2 Delete キーを押すか、[ 編集 ] > [ 消去 ] を選択します。

# 暗号化フィールドを使用する

Bento では、フィールドのデータを暗号化するには、まず、タイプが暗号化のフィールドを作成する必要があります。84 ページの「フィールドを作成する」を参照してください。

要注意データを暗号化フィールドに格納できます。暗号化フィールドにデータを入力すると、Bento データベースにセキュリティ保護されて格納され、Bento 内でのみ読み取りできます。ロックされたフィールドの暗号化データは中黒文字として表示されます。

暗号化フィールドにデータを入力しようとしても、データベースパスワードを設定するまでは続行できません。データベースパスワードの設定の詳細については、107 ページの「Bento データベースにパスワードを設定する」を参照してください。

暗号化フィールドは、ロック解除されていれば検索できます。検索の詳細については、26 ページの「検索フィールドと詳細検索」を参照してください。

## Bento データベースにパスワードを設定する

パスワードを設定してデータベースを保護できます。データベースパスワードは、すべての暗号化フィールドも保護します。共有されているデータベースにアクセスするためのパスワードを設定するには、37 ページの「共有されているデータベースにパスワードを設定する」を参照してください。

### データベースパスワードを設定するには：

1. [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。
2. ウインドウの上部の [ セキュリティ ] をクリックします。
3. [ データベースパスワードを使用 ] を選択します。
4. [ データベースパスワード ] でパスワードを入力します。最大文字数は 20 文字です。
5. [ 確認 ] でパスワードをもう一度入力します。
6. ( オプション ) [ パスワードヒント ] にパスワードを思い出すのに役立つ単語またはフレーズを入力します。
7. パスワードは安全な場所に保存してください。

   重要　パスワードを忘れると復元できません。

8. [ パスワード設定 ] をクリックします。
9. ロックをクリックして以降の変更を防止します。

### データベースパスワードを消去するには：

1. [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。
2. ウインドウの上部の [ セキュリティ ] をクリックします。
3. ロックをクリックして変更します。
4. データベースパスワードを入力してから、[ 送信 ] をクリックします。
5. [ データベースパスワードを使用 ] の選択を解除します。

   暗号化フィールドを使用している場合は、[ データベースパスワードを使用 ] の選択を解除することができません。

## Bento をロックする

Bento をロックして、Bento ウインドウを隠し、データを保護できます。

### Bento をロックするには：

1. [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。
2. ウインドウの上部の [ セキュリティ ] をクリックします。
3. ロックをクリックして変更します。
4. [Bento の起動時にデータベースパスワードを要求する ] を選択します。
5. [Bento] > [Bento をロック ] を選択します。

   Bento ウインドウが表示されなくなります。

### Bento ウインドウを再び表示するには：

1. データベースパスワードを入力します。
2. [ 送信 ] をクリックします。

## 暗号化フィールドのデータをロックおよびロック解除する

暗号化フィールドをロックすると、データを表示する前にまずフィールドのロックを解除する必要があるため、データを安全に保存するのに役立ちます。暗号化フィールドをロックすると、ロック解除するまで内容を変更できなくなります。

### すべての暗号化フィールドのデータをロックするには：

フォーム形式で暗号化フィールドを選択し、フィールドの横の ▼ をクリックします。次に、[ 暗号化フィールドをロック ] を選択します。表形式では暗号化フィールドを選択し、列ヘッダでポップアップメニューをクリックしてから、[ 暗号化フィールドをロック ] を選択します。

🔒 がフォーム形式のすべての暗号化フィールドの横に表示され、すべての暗号化フィールドの内容が行頭記号に置き換えられます。

メモ　暗号化フィールドからデータをコピーすることはできません。またロックされている場合、暗号化フィールドにペーストすることはできません。

### すべての暗号化フィールドのデータをロック解除するには：

1. フォーム形式で暗号化フィールドを選択し、フィールドの横の ▼ をクリックします。次に、[ 暗号化フィールドのロックを解除 ] を選択します。表形式では、暗号化フィールドを選択し、列ヘッダのポップアップメニューをクリックしてから、[ 暗号化フィールドのロックを解除 ] を選択します。
2. データベースパスワードを入力してから、[ 送信 ] をクリックします。

   フォーム形式では、すべての暗号化フィールドの隣に 👁 が表示されます。

## 暗号化フィールドのデータを表示または隠す

### 暗号化フィールドのデータを表示するには：

フォーム形式では、暗号化フィールドを選択して、👁 をクリックします。表形式では、列ヘッダのポップアップメニューをクリックしてから、[ 暗号化フィールド内容を表示 ] を選択します。

暗号化したデータが中黒文字に置き換えられます。

### 暗号化フィールドのデータを隠すには：

フォーム形式では、暗号化フィールドを選択して、👁 をクリックします。表形式では、列ヘッダのポップアップメニューをクリックしてから、[ 暗号化フィールド内容を隠す ] を選択します。

暗号化したデータが中黒文字に置き換えられます。

メモ　暗号化フィールドが隠されている場合は、コピーおよびペーストできません。

# 場所フィールドで作業する

休暇のジャーナルや顧客訪問のログなどのライブラリでは、場所フィールドを使用して、場所 ( 緯度と経度 ) をトラックし、Web ブラウザに場所の地図を表示できます。

場所フィールドの作成とオプションの設定の詳細については、88 ページの「場所フィールドを作成する」を参照してください。

## 緯度と経度の値を入力するには：

1. 場所フィールドを選択します。
2. 緯度フィールドに -90 ～ 90 度の値を入力します。

   Option + Shift + 8 を押して、度数の記号 (“ ° ”) を入力します。
3. 経度フィールドに -180 ～ 180 度 ( または 0 ～ 360 度 ) の値を入力します。

   **10 進数度形式**（例：37.406300°N、121.983400°W）。正の 10 進数の値を入力すると、度数の記号と方角（N または E）が自動的に追加されます。負の 10 進数の場合は、度数の記号と方角（S または W）が自動的に追加されます。

   **度分秒形式**（例：37°24′ 23″ N、121°59′0″ W）。度の値（正または負）の後に度の記号 (°)、分の値の後に分の記号 (′)、秒の値の後に秒の記号 (″) を入力します。

   ヒント　Bento に座標の形式を設定させる場合は、度の値のみ ( 度の記号なし ) を入力します。Bento によって他の座標のデフォルトの値が提供されます。分、秒および方角の値は必要に応じて変更できます。

## 選択した場所の地図を表示するには：

フォーム形式で、場所フィールドを選択してから をクリックします。デフォルトの Web ブラウザに地図が表示されます。

## 選択した場所へまたは選択した住所からの道順を取得するには：

フォーム形式で、場所フィールドを選択し、フィールドの横の をクリックしてから [ この場所までのルート ] または [ この場所からのルート ] を選択します。

## 現在の場所を取得するには：

フォーム形式で、場所フィールドを選択し、フィールドの横の をクリックしてから [ 現在の場所に設定 ] を選択します。

メモ　このオプションを使用するには、ワイヤレスネットワークへのアクティブな接続があり、Mac OS X 10.6 がインストールされている必要があります。

# 10 読み込み、書き出し、およびプリント

この章では、他の人が情報を表示したり共有できるように、情報を読み込みおよび書き出しできる各種方法について説明します。他のユーザと共有する情報をプリントすることもできます。

Bento の使用を開始する良い方法は、既存の情報を読み込むことです。Bento では、コンマ区切り (.csv) ファイル、タブ区切り (.tab) ファイル、Numbers、Excel、Excel 2008、およびライブラリテンプレートなどのさまざまなファイル形式で情報の読み込みをサポートしています。たとえば、スプレッドシートから作成、他のデータベースから書き出し、または銀行や証券会社の Web サイトからダウンロードした .csv ファイルを読み込むことができます。

情報を共有する必要がある場合は、Bento 情報を .csv、.tab、Numbers、Excel 2008、またはライブラリテンプレートファイルとして書き出すことができます。ライブラリ ( 共有されているライブラリを含む ) またはコレクションからレコードを書き出すことができます。また、検索または詳細検索からのレコードのグループを書き出すことができます。他の Bento ユーザに渡したいフォームを含むライブラリを作成する場合、ライブラリをライブラリテンプレートファイル ( データあり、またはデータなし ) として書き出すことができます。

Bento では、フォーム形式、表形式、分割形式と、検索および詳細検索から情報をプリントできます。Bento からラベルをプリントすることもできます。

## コンマ区切りファイルおよびタブ区切りファイルについて

コンマ区切りファイル (.csv) またはタブ区切りファイル (.tab または .tsv) は、データの表を表すファイルです。各列 / フィールド値は、.csv ではコンマまたはセミコロンで、.tab または .tsv ではタブ文字で区切られています。各レコードは改行で区切られています。1 つのレコードがデータファイルの各行に表示されます。通常、.csv ファイルの最初のデータ行は、表の列名を表し、既存のライブラリでフィールドに対するデータの一致がわかりやすくなっています。

メモ　一部の地域では、.csv ファイル内でコンマではない別の区切り文字を用いることがあります。デフォルトの区切り文字は、使用する地域の設定で定義されます。

### 他のアプリケーションから .csv および .tab ファイルを書き出す

メモ　.csv または .tab ファイルを書き出す場合は、ファイル名拡張子が「.csv」または「.tsv」であることを確認してください。拡張子は小文字である必要があります。小文字でないと、Bento は .csv または .tab ファイルを正しく認識しません。

Bento に情報を読み込むときに最適な結果を得るには、次のガイドラインに従います：

- 他のアプリケーションからデータを .csv または .tab ファイルとして書き出します。
- 使用する Excel ワークシートに複数の表が含まれている場合は、各表を独自のワークシートに入れ、列名が最初の行にあることを確認してください。
- .csv または .tab ファイルに列名を伴う行が含まれているかどうかに注意してください。Bento では、情報を新規ライブラリに読み込むときに、その行の値をフィールド名として使用できます。Bento では、これらのフィールド名は、フォーム形式ではラベルとして、表形式では列名として表示されます。
- .csv または .tab ファイルのフィールドの順序をメモしてください。ファイルに列名を含む行が含まれていない場合は、メモを参照して、ファイルの読み込み時に手動でフィールドに名前を付けることができます。
- ClarisWorks および AppleWorks では、[ 別名で保存 ] ダイアログで [ASCII Text] オプションを選択すると、タブ区切りファイルが作成されます。Bento に読み込む予定の AppleWorks 6 ファイルを保存するときに、ファイル名に「.tab」拡張子を必ず追加してください。たとえば、「MyData」という名前の AppleWorks ファイルがある場合は、Bento でタブ区切りファイルとして認識されるように、「MyData.tab」として保存します。

## .csv ファイルを修正する

.csv ファイルの読み込みに問題が発生した場合は、テキストエディタ (TextEdit など ) でそれを開き、次の操作を行います。

- 埋め込み型のコンマを持つフィールド値の周りに二重引用符を付ける。

  例：" 提供者 10,000 人 "
- 先行または後続の空白を伴うフィールド値の周りに二重引用符を付ける。
- 埋め込み型の改行を含むフィールド値の周りに二重引用符を付ける。
- 二重引用符を含むフィールド値の周りに二重引用符を付ける。埋め込み型の二重引用符を 1 組の連続型の二重引用符に変更する。

  例：" 彼女は "" 必ず行きます "" とメールで言っていました。"

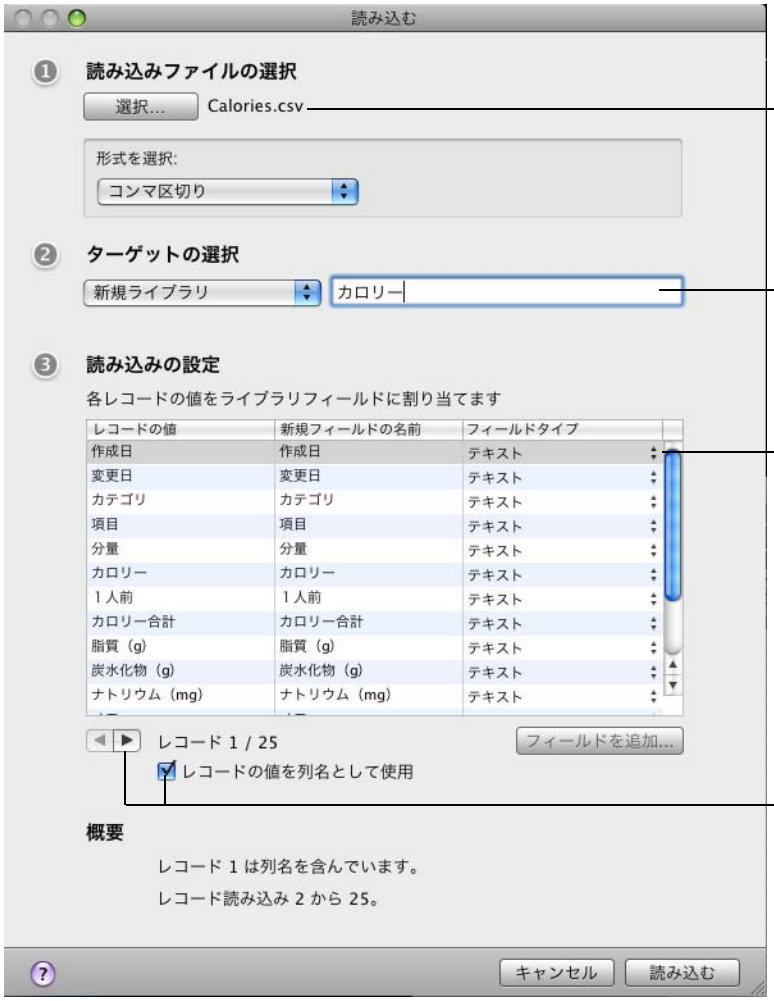
コンマ区切り (.csv) ファイルの例

# 情報を Bento に読み込む

情報を Bento に読み込むときは、ライブラリを作成するか、既存のライブラリまたはコレクションに情報を読み込みます。

## 読み込みによりライブラリを作成する

ファイルを読み込むときにライブラリを作成できます。




ファイルを選択します。選択したファイルのファイル形式により、ここに表示されるオプションが異なります。

新規ライブラリの名前を入力します。

ポップアップメニューをクリックし、フィールドタイプを設定します。フィールドを作成しない場合は、[ 作成しない ] を選択します。

矢印を使用して列名を持つ行に移動し、[ レコードの値を列名として使用 ] を選択します。

### 読み込みによりライブラリを作成するには：

1. [ ファイル ] > [ 読み込む ] > [ ファイル ...] を選択します。
2. [ 選択 ...] をクリックし、読み込むファイルを .csv、.tab、.tsv、.numbers、.xls、.xlsx のいずれかのファイル形式から 1 つ選択します。
   - .csv、.tab、または .tsv ファイルの場合は、[ 形式を選択 ] セクションで、[ コンマ区切り ]、[ セミコロン区切り ]、または [ タブ区切り ] を選択します。
   - Numbers ファイルの場合は、ポップアップメニューを使用してシートを選択し、表を選択します。
   - Excel ファイルの場合は、ポップアップメニューを使用してワークシートを選択します。
3. [ ターゲットの選択 ] で [ 新規ライブラリ ] を選択し、ライブラリの固有の名前を入力します。
4. フィールド名として使用する値を持つ行がファイル内に含まれているかどうかを指定します。
   - ファイルに列名を持つ行が含まれている場合は、矢印ボタンをクリックしてその行に移動し、[ レコードの値を列名として使用 ] を選択します。

     Bento では、新規フィールド名としてこの行の値が使用されます。
   - ファイルに列名を持つ行が含まれていない場合は、[ レコードの値を列名として使用 ] チェックボックスを選択解除します。

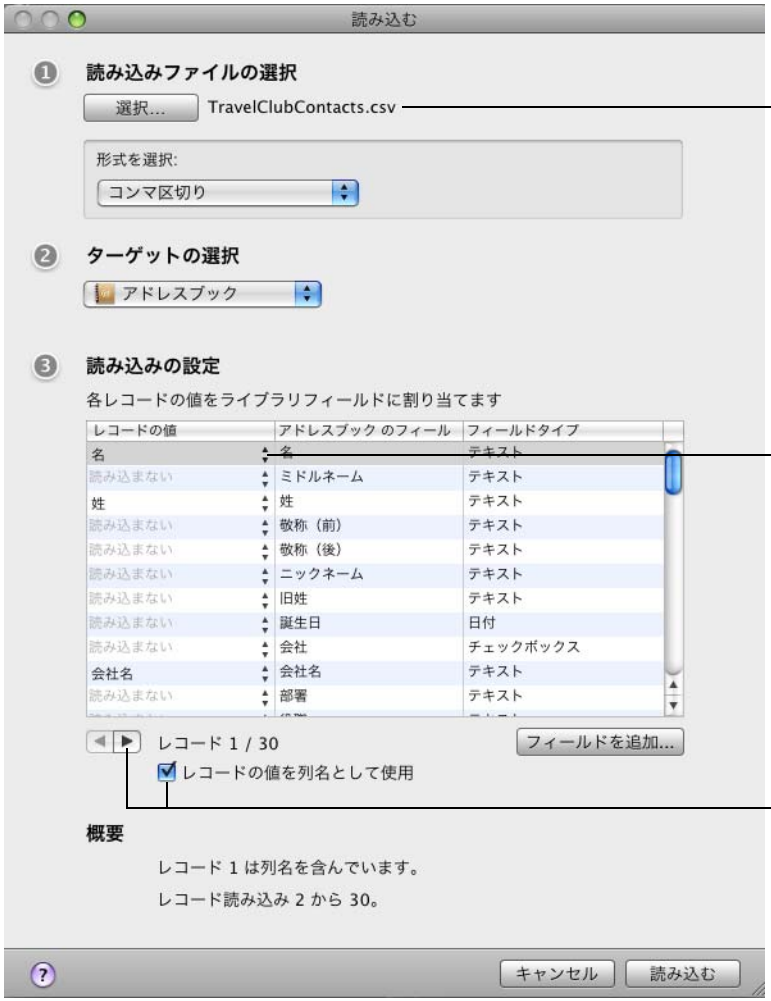
     Bento では、各新規フィールドにデフォルトの名前が割り当てられます。デフォルトのフィールド名を変更するには、フィールド名をダブルクリックし、固有の名前を入力します。
5. Bento では、デフォルトでフィールドタイプが [ テキスト ] に設定されます。フィールドタイプを変更するには、ポップアップメニューをクリックし、新規フィールドタイプを選択します。
   - 読み込みを行わない列がある場合は、ポップアップメニューをクリックし、[ 作成しない ] を選択します。
   - 読み込みでサポートされるフィールドタイプに関する情報については、119 ページの「読み込みでサポートされるフィールドタイプ」を参照してください。
6. [ 読み込む ] をクリックします。

   読み込みが終了したら、Bento にレコードが表示されます。これは表形式、フォーム形式、分割形式、またはグリッド形式で表示できます。

## 既存のライブラリに読み込む

既存のライブラリに情報を読み込む場合は、ファイルをライブラリに読み込みます。Bento によりライブラリに新規レコードが作成されます。

また、ファイルをコレクションに読み込むこともできます。コレクションを読み込みターゲットとして選択すると、Bento によりそのコレクションを含むライブラリに新規レコードが作成され、新規レコードがコレクションに追加されます。




ファイルを選択します。選択したファイルのファイル形式により、ここに表示されるオプションが異なります。

ポップアップメニューをクリックしてフィールド名を選択して、[ 読み込まない ] に設定されているフィールドを手動でマップします。

矢印を使用して列名を持つ行に移動し、[ レコードの値を列名として使用 ] を選択します。

### 情報を既存のライブラリまたはコレクションに読み込むには：

1. [ ファイル ] > [ 読み込む ] > [ ファイル ...] を選択します。
2. [ 選択 ...] をクリックし、読み込むファイルを .csv、.tab、.tsv、.numbers、.xls、.xlsx のいずれかのファイル形式から 1 つ選択します。
   - .csv、.tab、または .tsv ファイルの場合は、[ 形式を選択 ] セクションで、[ コンマ区切り ]、[ セミコロン区切り ]、または [ タブ区切り ] を選択します。
   - Numbers ファイルの場合は、ポップアップメニューを使用してシートを選択し、表を選択します。
   - Excel ファイルの場合は、ポップアップメニューを使用してワークシートを選択します。
3. [ ターゲットの選択 ] で、情報の追加先となるライブラリまたはコレクションを選択します。

   例では、ターゲットライブラリとして「アドレスブック」ライブラリが表示されています。
4. ファイル内に、列名として使用する値を持つ行が含まれているかどうかを指定します。
   - ファイルに列名を持つ行が含まれている場合は、矢印ボタンをクリックしてその行に移動し、[ レコードの値を列名として使用 ] を選択します。

     Bento では、ファイルの列名を読み込み、それらと、選択したライブラリまたはコレクションですでに定義されているフィールド名との適合を試行します。Bento では、名前が完全に一致した場合に、列名とフィールド名がマップされます。一致しない名前については、Bento によりフィールド名が [ 読み込まない ] に設定されるため、ユーザが手動でフィールドを列にマップさせる必要があります。また、Bento が一致させたレコードも手動でマップできます。
   - ファイルに列名を持つ行が含まれていない場合は、[ レコードの値を列名として使用 ] チェックボックスを選択解除します。

     列名がないと、Bento では、レコード値を列名にマップさせる方法がありません。その場合は、Bento により列名が [ 読み込まない ] に設定されるため、ユーザが手動でフィールドを列にマップさせる必要があります。

5 新規フィールド名がファイルの列名に一致する場合は、Bento により列のレコード値が新規フィールドにマップされます。それ以外の場合は、列の値を新規フィールドに手動でマップできます。

[ 読み込まない ] に設定されているレコード値の場合は、ポップアップメニューをクリックし、列名またはレコード値を選択して隣接するフィールド名に手動でマップします。

6 マッピングできるフィールドがない場合は、フィールドを作成できます。フィールドを作成するには、[ フィールドを追加 ...] をクリックします。Bento により [ フィールドを作成 ] ダイアログボックスが表示され、フィールドをライブラリに追加できるようになります。

7 ( オプション ) 矢印ボタンをクリックしてレコード内を移動し、レコード値がどのようにフィールド名にマップされているかを確認してください。

8 [ 読み込む ] をクリックします。

読み込みが終了したら、Bento にレコードが表示されます。これは表形式、フォーム形式、分割形式、またはグリッド形式で表示できます。

## ライブラリテンプレートを読み込む

ライブラリテンプレートファイルには、書き出されたライブラリのすべてのフォーム、コレクション、スマートコレクション、表形式設定、ラベル設定、および関連ライブラリ ( 書き出し時に含まれていた場合 ) が含まれています。ライブラリテンプレートの作成に使用する設定により、レコードが含まれる場合と含まれない場合があります。

### ライブラリテンプレートを読み込むには：

1. [ ファイル ] > [ 読み込む ] > [ テンプレート ...] を選択します。
2. ライブラリテンプレートファイルを選択します。
3. [ 開く ] をクリックします。
4. Bento では、ライブラリテンプレートファイルに含まれているライブラリ、コレクション、およびスマートコレクションをライブラリパネルに追加します。ライブラリテンプレートファイルに複数のライブラリが含まれている場合は、すべてがライブラリパネルに追加されます。

## その他の情報の読み込み方法

Bento では、情報の読み込み方法として、[ ファイル ] > [ 読み込む ] メニュー項目に加え、次のような方法を使用できます：

- [ ファイル ] > [ テンプレートからライブラリを新規作成 ...] を選択して [ 新規ライブラリ ] ダイアログを開きます。[ データの読み込み ...] をクリックします。
- データファイル ( テキスト、Numbers、Excel 形式 ) を Bento のライブラリパネルまでドラッグします。
- データファイル ( テキスト、Numbers、Excel 形式 ) を Bento のライブラリパネルの特定のライブラリまたはコレクションまでドラッグします。
- ライブラリテンプレートファイルまたはデータファイル ( テキスト、Numbers、Excel 形式 ) を Bento アプリケーションアイコンにドラッグします。

## 読み込みでサポートされるフィールドタイプ

次の表に記載されたフィールドタイプにデータを読み込むことができます。

| フィールドタイプ | 読み込み可能なデータ |
|---|---|
| テキスト<br>選択<br>アドレス<br>電話番号<br>IM アカウント<br>暗号化 ( ロック解除されている場合 ) | 任意のテキスト |
| メールアドレス | 任意のテキストを使用できますが、有効なメールアドレスには @ 文字が含まれている必要があります。 |
| URL | 任意のテキストを使用できますが、URL フィールドでは日本語文字を含む URL の値はサポートされていません。 |

| フィールドタイプ | 読み込み可能なデータ |
| --- | --- |
| チェックボックス | 選択は「1」、選択解除は「0」<br>選択は「True」、選択解除は「False」<br>選択は「はい」、選択解除は「いいえ」 |
| 数字<br>通貨 | 数値データ |
| レート | 0 ～ 10 までの数 |
| 時刻 | HH、HH:MM、または HH:MM:SS での数値データ。オプションで「AM」または「PM」を使用できます：<br>• HH は、時間 (「AM」または「PM」を使用しない場合は 0 ～ 24 の間、「AM」または「PM」を使用する場合は 0 ～ 12 の間 )<br>• MM は分 (0 ～ 59)<br>• SS は秒 (0 ～ 59)<br>例：12:59:59 PM |
| 日付 | DD、MM/DD、または YYYY/MM/DD 形式の数値データ：<br>• DD は日付 ( その月に有効な範囲で 1 ～ 31)<br>• MM は月 (1 ～ 12 の間 )<br>• YYYY は年 (1 ～ 9999 の間 )<br>また、日付フィールドは、時刻フィールドの説明のとおり、「時刻」の値を含めることができます。<br>メモ：これらの形式は、現在のシステム日付設定によって異なります。 |
| 継続時間 | 週、日、時間、分、および秒の継続時間を示すテキスト。テキストには、次の略語を使用できます：<br>• w ( 週数 )<br>• d ( 日数 )<br>• h ( 時間数 )<br>• m ( 分数 )<br>• s ( 秒数 )<br>例：次に示すのは有効な継続時間テキストです：<br>• 8 日、5 時間<br>• 8d、5h<br>• 8d5h |
| 場所 | 10 進数度、または度分秒の場所情報 ( 緯度と経度 )。 |

次のフィールドタイプへは読み込むことができません：ファイルリスト、メディア、自動カウンタ、計算、関連データ、メッセージリスト、または暗号化（ロックされている場合）。

アドレス、電話番号、メール、URL、または IM アカウントフィールドに読み込むと、関連するアドレスリスト、電話番号リスト、メールアドレスリスト、URL リスト、または IM アカウントリストフィールドにデータが自動的に追加されます。

フィールドタイプに関する追加情報については、81 ページの「フィールドを使用する」を参照してください。

メモ　[ 読み込む ] ダイアログの「レコードのいくつかの値を読み込めません」というメッセージは、値を読み込むフィールドのタイプに対し、1 つ以上のレコード値が無効であることを意味しています。たとえば、数字フィールドや日付フィールドにアルファベットテキストを読み込むことはできません。フィールドタイプを変更してデータを一致させるか、読み込みを進めることができます。読み込みを開始する場合、無効な値は読み込まれません。別のオプションとして、ファイルの内容を変更するか、データをテキストフィールドに読み込みます。テキストフィールドでは、すべての値を受け入れます。

## 情報を Bento から書き出す

Bento では、ライブラリ、コレクション、スマートコレクション、または検索や詳細検索の結果からコンマ区切り (.csv)、タブ区切り (.tab)、Numbers、または Excel 2008 ファイルへ情報を書き出すことができます。

Bento では、ライブラリをライブラリテンプレートファイルに書き出すことができます。これは、個別のライブラリまたは指定したライブラリの構造を別の Bento ユーザに渡す良い方法です。ライブラリテンプレートファイルには、書き出されたライブラリのすべてのフォーム、コレクション、スマートコレクション、表形式設定、および関連ライブラリ ( 書き出し時に含まれていた場合 ) が含まれています。ライブラリテンプレートからのレコードを含めるか、または除外できます。ライブラリテンプレートファイルを他の Bento ユーザに渡すことができます。

他のユーザが使用できるように、Bento テンプレートエクスチェンジ Web サイトに設計したテンプレートを書き出す ( 送信する ) こともできます。送信できるのはテンプレートだけです。テンプレートに関連付けられたレコードは送信できません。詳細については、123 ページの「Bento テンプレートエクスチェンジにテンプレートを送信する」を参照してください。

## ライブラリ、コレクション、またはスマートコレクションから書き出す

ライブラリまたはコレクションからレコードを書き出す場合、表形式のすべてのフィールドから値を書き出すか、または現在表形式で表示されているフィールドのみを書き出すかを選択できます。

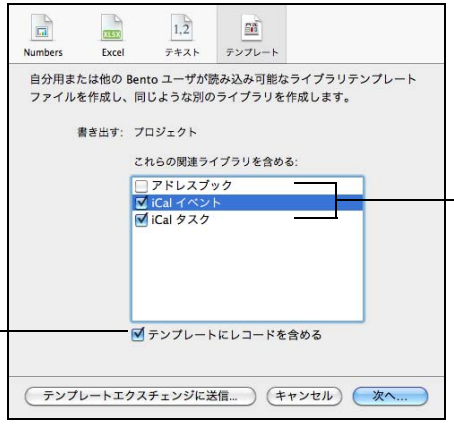
書き出されたファイル ( たとえば、ファイルリストフィールド ) の各データは 200 メガバイト (MB) を超えることはできません。

### ライブラリ、コレクション、またはスマートコレクションから書き出すには：

1. 書き出しを行う情報を含むライブラリ、コレクション、またはスマートコレクションを選択します。
2. [ ファイル ] > [ 書き出す ...] を選択します。
3. [Numbers]、[Excel]、[ テキスト ]、または [ テンプレート ] をクリックします。

   Excel 2008 よりも以前のバージョンの Excel との互換性のあるファイルを書き出すには、テキストファイルとして書き出します。

   - Numbers、Excel、またはテキストの場合は、[ すべてのレコード ] または [ 現在のレコードのみ ] を選択します。
   - テンプレートの場合は、書き出す関連ライブラリを選択します。選択した関連ライブラリのレコードを含めて、テンプレートとともにレコードを書き出すには、[ テンプレートにレコードを含める ] を選択します。(Bento ではデフォルトでレコードを含みます。) このオプションを選択すると、ファイルリストフィールドで参照されるエイリアスファイルも書き出されます。



4 データの書き出し方法を選択します。

- Numbers、Excel、またはテキストの場合は、[ すべての表形式のフィールド ] または [ 表形式表示されているフィールドのみ ] を選択します。
- テキストの場合は、[ コンマ区切り (.csv)]、[ セミコロン区切り (.csv)]、または [ タブ区切り (.tab)] を選択します。

5 [ 次へ ...] をクリックし、ファイル名およびファイルの場所を指定します。

Bento は、ライブラリ、コレクション、またはスマートコレクションから指定されたデータを指定した名前のファイルに書き出します。

## Bento テンプレートエクスチェンジにテンプレートを送信する

独自の Bento テンプレートを Bento 内から直接、または Web ブラウザから、Bento テンプレートエクスチェンジの Web サイトに送信できます。テンプレートにレコードを含めることはできません。

Web サイトにテンプレートを直接送信する方法や他のデザイナーのテンプレートをダウンロードする方法を含む Bento テンプレートエクスチェンジの詳細については、[ ヘルプ ] > [Bento テンプレートエクスチェンジ ] を選択してください。

メモ　Bento テンプレートエクスチェンジにテンプレートを送信する前に、コンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。

### Bento 内からテンプレートを送信するには：

1 テンプレートを送信するライブラリまたはコレクションを開きます。

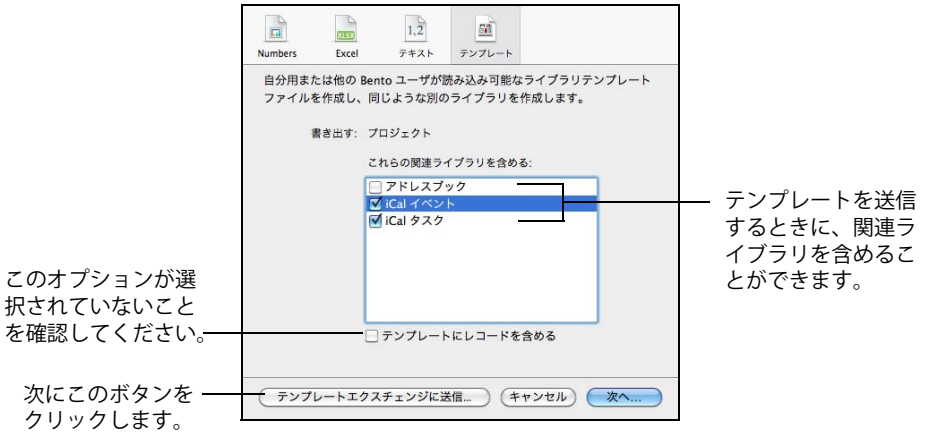
2 [ ファイル ] > [ 書き出す ...] を選択し、表示されるダイアログで [ テンプレート ] をクリックします。

3 含める関連ライブラリの名前を選択します。

4 [ テンプレートにレコードを含める ] の選択が解除されていることを確認してください。テンプレートとともにレコードを送信することはできません。

重要　テンプレートとともにレコードを送信しようとすると、Bento によってテンプレートの送信前にレコードが取り除かれます。

5 [ テンプレートエクスチェンジに送信 ...] をクリックします。




6 [ テンプレートエクスチェンジ ] ダイアログに必要な情報を入力し、画面に表示される指示に従います。続いて表示される各ダイアログで、画面に表示される指示に従います。

Bento によってテンプレートが圧縮され、.zip ファイル名拡張子の付いたライブラリ名のファイルが Mac のデスクトップに配置されます。同じ名前のファイルがすでに存在する場合、Bento によってファイル名に数字が追加されます。Bento テンプレートエクスチェンジへのテンプレートの送信に成功すると、このファイルはデスクトップから取り除かれます。圧縮後のテンプレートファイルは、最大 20 MB です。

7 アップロードするファイルを選択するように求められた場合は、デスクトップフォルダから圧縮されたテンプレート (.zip) ファイルを選択し、引き続き画面に表示される指示に従います。

テンプレートがアップロードされたという確認が表示されるまで、[ 閉じる ] をクリックしないでください。アップロード処理が停止されます。

## 検索または詳細検索から書き出す

レコードのサブセットを書き出す場合は、検索または詳細検索を使用して、ライブラリまたはコレクション内のレコードのセットの範囲を狭めてから書き出します。

### レコードのサブセットから書き出すには：

1 検索または詳細検索を使用して、レコードのサブセットを作成します。

26 ページの「検索フィールドと詳細検索」を参照してください。

- 検索の場合は、検索文字列を入力すると、条件に適合するレコードのセットが表示されます。
- [ 詳細検索 ] の場合は、[ 検索 ] をクリックして条件に適合するレコードのセットを表示します。

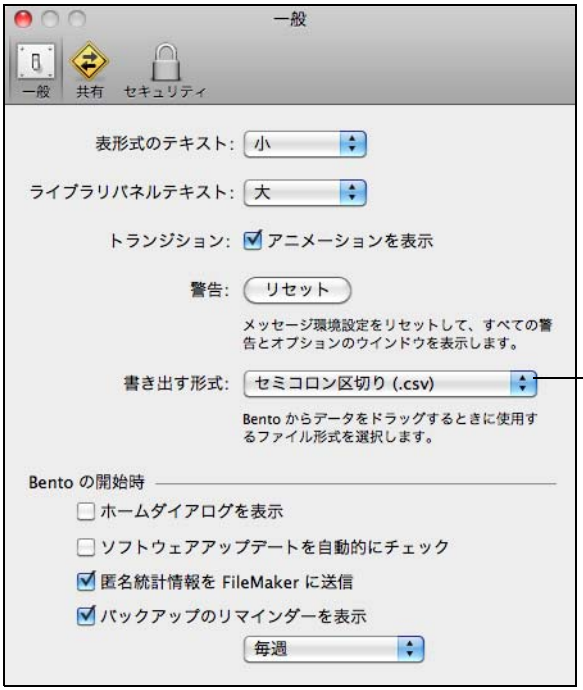
2 122 ページの「ライブラリ、コレクション、またはスマートコレクションから書き出す」の手順 2 から 5 に従います。

Bento では、レコードのサブセットからの表形式のフィールドデータを、指定した名前のファイルに書き出します。

## その他の情報の書き出し方法

Bento では、情報をファイルに書き出す方法として、[ ファイル ] > [ 書き出す ...] メニュー項目に加え、次のような方法を使用できます：

- Bento のライブラリパネルからデスクトップまたは [Finder] ウインドウの任意のフォルダにライブラリまたはコレクションアイコンをドラッグします。Bento では、ライブラリまたはコレクションのすべてのレコードからのフィールドデータを、ライブラリまたはコレクション名に一致する名前と [ 環境設定 ] ダイアログの現在の [ 書き出す形式 ] 設定に一致するファイル形式を持つファイルに書き出します。




Finder にドラッグして書き出すファイルについては、ファイル形式を選択します。

### 特定のフィールドタイプの書き出しに関する考慮事項

Numbers、Excel、またはテキストファイルに書き出す場合、次の内容を書き出すことはできません：

- アドレスリストフィールド、電話番号リストフィールド、メールアドレスリストフィールド、URL リストフィールド、IM アカウントリストフィールド、またはメッセージリストフィールドの内容。ただし、表形式に表示されている個別のアドレス、電話番号、メール、URL、または IM アカウントフィールドのデータは書き出すことができます。
- ロックされている暗号化フィールドの内容。
- 関連データフィールドに表示される情報。
- ファイルリストフィールドに格納されたファイルエイリアス。
- メディアフィールドに追加したムービーおよびサウンドファイル。画像を書き出すには、106 ページの「画像を書き出す」を参照してください。

## 情報をプリントする

ライブラリ、コレクション、または検索および詳細検索の結果からの情報をプリントできます。

### ライブラリおよびコレクションからプリントする

ライブラリまたはコレクションのレコードをプリントすると、選択した形式により出力される外観が変わります。分割形式では、プリントするときの挿入ポイントの場所により、出力される外観が変わります。

ラベルに情報をプリントすることもできます。129 ページの「ラベルをプリントする」を参照してください。

#### ライブラリまたはコレクションからレコードをプリントするには：

1. プリントする情報が含まれているライブラリまたはコレクションを選択します。
2. プリントするフィールドを含むフォーム形式または表形式を選択します。
3. [ ファイル ] > [ プリント ] > [ 表 / フォーム ...] を選択します。
4. 出力される内容についてのオプションを指定します。
   - [ 選択したレコードのみ ] を選択し、現在表示されているレコードのみをプリント ( フォーム形式 ) するか、または選択したすべてのレコードをプリント ( 表形式 ) します。
   - [ 表示した全レコード ] を選択すると、現在表示されているライブラリまたはコレクションのすべてのレコードがプリントされます。

- [ 背景をプリントしない ] を選択すると、フォーム形式の背景や、表形式の行の色などが付かない状態でプリントされます。このオプションは、背景色なしの白黒でプリントされ、インクを節約できます。
- フォーム形式のデータをプリントする場合は、[ ページごとに 1 レコードを印刷 ] を選択し、1 ページあたり 1 つのレコードをプリントします。
- フォーム形式のデータをプリントする場合は、[ フォームのみ ( データなし )] を選択し、空白のフォームをプリントします。
- 追加オプションを選択すると、タイトルバナー、ページ番号、日付、および時刻を含めることができます。
- 表形式データをプリントする場合は、[ 幅に合わせる ] を選択すると、複数ページに渡ってプリントするのではなく、列および行を 1 ページに合うようにサイズ変更します。
- フォーム形式のデータのプリントで、フィールドラベルをプリントする場合は、[ フィールドのラベルを表示 ] を選択します。
- フォーム形式のデータのプリントで、フィールドの境界線を含める場合は、[ フィールドの境界線を表示 ] を選択します。([ プリント ] ダイアログボックスを開いたときのこのオプションの設定は、[ 表示 ] > [ フィールドの境界線を表示 ] の設定によって異なります。
- フォーム形式でカスタムページマージンを作成するには、127 ページの「フォーム形式用にカスタムのページサイズを作成および使用する」を参照してください。

ヒント　特定のフィールド ( たとえば、作成日または変更日など ) がプリントされないようにするには、プリントする前にフォームからドラッグして取り除きます。プリントの終了後にフィールドをドラッグしてフォームに戻すのを忘れないようにしてください。フォームを複製してから、プリントしないフィールドを取り除くこともできます ( 表示用とプリント用のフォームが作成されます )。

## フォーム形式用にカスタムのページサイズを作成および使用する

フォーム形式からプリントする場合に、カスタムのページサイズを作成して使用できます。

### カスタムのページサイズを作成するには：

1. プリントのダイアログボックスで、[ 用紙サイズ ] に [ カスタムサイズを管理 ...] を選択します。
2. [ カスタム用紙サイズ ] ダイアログボックスで、[+] をクリックし、リストで [ 名称未設定 ] をダブルクリックしてから、カスタムページサイズの名前を入力します。
3. [ 用紙サイズ ] で用紙の幅と高さを入力します。

4 インストールされているプリンタの余白を使用するには、[ プリントされない領域 ] からプリンタを選択します。独自の余白を定義するには、[ ユーザ定義 ] を選択し、ボックスに上、右、下および左の余白の値を入力します。

5 [OK] をクリックして、カスタムページサイズを保存します。

- カスタムページサイズをリストから取り除くには、リストで名前を選択してから、[-] をクリックします。
- カスタムページサイズをコピーするには、リストで名前を選択してから、[ 複製 ] をクリックします。それから、複製した用紙サイズを変更することができます。

### カスタムの用紙サイズを使用するには：

1 [ ファイル ] > [ プリント ] > [ 表 / フォーム ...] を選択します。

2 [ 用紙サイズ ] に希望するカスタムサイズを選択します。

## 検索または詳細検索からプリントする

レコードのサブセットをプリントする場合は、検索または詳細検索を使用して、ライブラリまたはコレクション内のレコードのセットの範囲を狭めてからプリントします。

### レコードのサブセットからプリントするには：

1 検索または詳細検索を使用して、レコードのサブセットを作成します。

26 ページの「検索フィールドと詳細検索」を参照してください。

- 検索の場合は、検索文字列を入力すると、条件に適合するレコードのセットが表示されます。
- [ 詳細検索 ] の場合は、[ 検索 ] をクリックして条件に適合するレコードのセットを表示します。

2 [ ファイル ] > [ プリント ] > [ 表 / フォーム ...] を選択します。

3 プリントするサブセットのレコードを指定します。

- [ 選択したレコードのみ ] を選択し、現在表示されているレコードのみをプリント ( フォーム形式 ) するか、または選択したすべてのレコードをプリント ( 表形式 ) します。
- [ 表示した全レコード ] を選択すると、現在のサブセットのすべてのレコードがプリントされます。

## ラベルをプリントする

Bento 内からラベルをプリントできます。

次のオプションが選択できます：

- 独自のライブラリのフィールドからの情報、または共有ライブラリを使用します。
- ラベルごとに最大 6 行の情報をプリントします。テキストはラベル上で左揃え、右揃え、または中央揃えできます。
- ラベルに写真またはロゴを追加します。
- 選択したレコードに対するラベルをプリントします。
- フォント、スタイル、サイズおよび色を選択します。
- プリントを開始するラベルを指定します。
- ラベルをプレビューします。
- 選択したライブラリのラベル設定を保存します。
- テンプレートを書き出すときにラベル設定を書き出します。テンプレートの書き出しの詳細については、122 ページの「ライブラリ、コレクション、またはスマートコレクションから書き出す」を参照してください。

### ラベルをプリントするには：

1. プリントする情報が含まれているライブラリまたはコレクションを選択します。
2. ( オプション ) 検索フィールド、詳細検索または表形式でのレコードの選択によってレコードのサブセットを作成します。
3. [ ファイル ] > [ プリント ] > [ ラベル ...] を選択します。
4. [ セットアップ ] タブをクリックして、ラベルで使用するフィールドを指定します。

   ラベルの内容をカスタマイズするには、任意のフィールドの前後にテキストを入力できます。

   [ アドレスラベル ] チェックボックスをクリックして、アドレスデータが含まれるレコードのラベルにアドレスフィールドを自動的に追加します。濃い灰色のセクションで、レコードに表示されるすべてのアドレスをプリントするか、特定のフィールドからのアドレスのみをプリントするかを選択できます。選択したフィールドから特定のタイプのアドレスをプリントするように選択することもできます。

   ラベルで各レコードの国に含める国を選択します。自分の国をラベルから除外するには、[ 自分と同じ国は除く ] を選択します。

5 フィールドのデータをプリントする行に挿入ポイントを移動し、[ フィールドを挿入 ] をクリックしてポップアップメニューからフィールドを選択します。

ラベルレイアウトにフィールドが 1 つ含まれる行があり、そのフィールドにデータがないレコードがある場合でも、Bento によって空白が詰められるため、ラベルに空白行がプリントされることはありません。

6 画像を追加するには、[ フィールドを挿入 ] の下のポップアップメニューをクリックしてから、メディアフィールドまたは画像ファイルを選択します。

メディアフィールドを選択した場合、プリントされる内容は各レコードのメディアフィールドの内容によって異なります。画像ファイルを選択すると、同じ画像がすべてのラベルにプリントされます。

[ 左揃え ] がデフォルトの行揃えです。各ラベルの右端にメディアフィールドまたは画像ファイルをプリントするには、[ 右揃え ] を選択します。

7 表形式で現在選択されているレコードのラベルをプリントするには、[ 選択したレコードをプリント ] をクリックします。

8 [ レイアウト ] タブをクリックしてラベルタイプを指定します。

[ ページ ] ポップアップメニューからラベルタイプを選択します。

ラベルタイプに対する余白と間隔およびサイズが表示されます。寸法の表示単位を変更するには、[ サイズ ] ポップアップメニューを使用します。

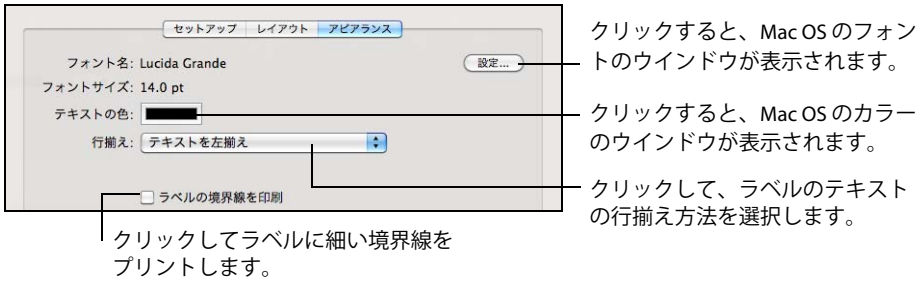
9 [ 印刷を開始 ...] をクリックして、プリントを開始するラベル番号を指定します。[OK] をクリックします。

10 ラベルの外観に影響するオプションを指定するには、[ アピアランス ] タブをクリックします。

フォントのスタイル、サイズ、および他のオプションを変更するには、[ 設定 ...] をクリックします。テキストの色を変更するには、[ テキストの色 ] の横のカラーウェルをクリックします。

[ 行揃え ] ポップアップメニューから行揃えのオプションを選択します。

各ラベルに細い境界線をプリントするには、[ ラベルの境界線を印刷 ] を選択します。




11 ラベルの現在のページを [ クイックルック ] ウインドウでプレビューするには、[ ラベルをプレビュー ] をクリックします。

12 [ プリント ] をクリックします。

メモ　選択されたチェックボックスフィールドのデータは、ラベル上に ✓ とプリントされます。選択されていないチェックボックスフィールドのデータは、☐ とプリントされます。レートフィールドのデータは、フィールドの数値を示す星の数でプリントされます ( たとえば、★★★)。

### 選択したライブラリのラベル設定を保存するには：

1 [ セットアップ ] タブをクリックします。

2 [ ラベルの保存 / 読み込み ] をクリックし、ポップアップメニューから、[ 別名で保存 ...] を選択します。

3 ラベル設定の名前を入力して、[OK] をクリックします。

新しいラベル設定が、[ ラベルの保存 / 読み込み ] ポップアップメニューに表示されます。

4 必要に応じてラベルを設定します。

### 保存されたラベル設定からプリントするには：

1 [ ファイル ] > [ プリント ] > [ ラベル ...] を選択します。

2 [ セットアップ ] タブをクリックします。

3 [ ラベルの保存 / 読み込み ] をクリックし、ポップアップメニューから、ラベル設定を選択します。

4 [ プリント ] をクリックします。

### 選択したライブラリにカスタムレイアウト設定を定義するには：

1 [ ファイル ] > [ プリント ] > [ ラベル ...] を選択します。

2 [ レイアウト ] タブ、[ ページ ] の順にクリックし、ポップアップメニューから [ カスタムを定義 ...] を選択します。

3 カスタムレイアウト設定の名前を入力して、[OK] をクリックします。

4 ページ余白、ページ上のラベル数、およびラベルの間隔を設定します。

カスタムレイアウト設定が [ ページ ] ポップアップメニューに表示されます。

# 11 情報をバックアップおよび復元する

この章では、Bento データのバックアップコピーの作成方法について説明します。不注意な変更を行ってしまった場合に元の情報を復元したり、ハードドライブ障害などの問題が発生してデータを復元する場合には、バックアップコピーを使用します。

Bento バックアップファイルには、バックアップコマンド実行時の Bento のデータが含まれています。バックアップコマンドは、単にバックアップファイルの名前と場所を指定するだけで、とても簡単に使用できます。また、データを復元するバックアップファイルを選択すると、復元も簡単に実行できます。

定期的にデータをバックアップすることは、さまざまなリスクを回避する上で優れた方法となるため、Bento では、データを定期的にバックアップするためのオプションのリマインダーを提供しています。

メモ　バックアップおよび復元機能は、Bento のすべてのデータに適用されます。個別のライブラリやコレクションのデータを保存する場合は、121 ページの「情報を Bento から書き出す」に記載されている書き出し機能を使用してください。

また、Bento データのバックアップおよび復元には、Time Machine と呼ばれる Mac OS X アプリケーションテクノロジーを使用することもできます。

ヒント　バックアプファイルのコピーを保存するには、外部ハードディスクや CD など、別の場所に保存します。

# Bento バックアップファイルについて

Bento バックアップファイルを作成する場合は、Bento にあるデータのコピーを作成します。バックアップファイルには、バックアップコマンド実行時のライブラリおよびコレクションのデータが含まれています。

**重要** Bento バックアップファイルには、Mac OS のアドレスブックおよび iCal アプリケーションのデータは含まれません。Bento データをバックするときに、アドレスブックおよび iCal データもバックアップしてください。ただし、アドレスブックライブラリ、iCal イベントライブラリ、または iCal タスクライブラリのレコードにフィールドを追加する場合は、これらの追加フィールドのデータは Bento バックアップファイルに含まれます。

## アドレスブックおよび iCal データをバックアップする

- Mac OS のアドレスブックアプリケーションのデータのバックアップを作成するには、アドレスブックアプリケーションのアーカイブ機能を使用します。
- Mac OS の iCal アプリケーションのデータのバックアップを作成するには、iCal アプリケーションのバックアップ機能を使用します。

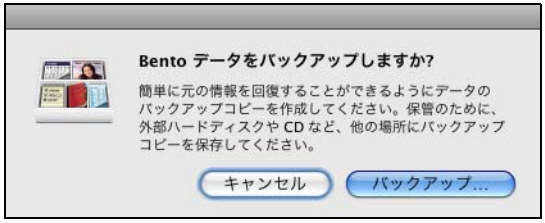
## フィールドタイプはどのようにバックアップされるか

ファイルリストフィールド、メディアフィールド、または関連データフィールドをバックアップする場合は、次の項目を考慮してください。

| 対象 | Bento でバックアップされる内容 |
|---|---|
| ファイルリストフィールド | リストされているファイル名および場所。ただし、ファイルの内容はバックアップされません。 |
| メディアフィールド | フィールドの内容 ( ほとんどのメディアフィールドの場合 )。これは、Bento では、メディアファイルのコピーが格納されるためです。<br>ただし、メディアファイルを bento.bentodb にコピーする代わりにメディアファイルに対するエイリアスを使用する場合、Bento では、メディアフィールドに追加されたファイルのファイル名および場所がバックアップされますが、ファイルの内容はバックアップされません。これらのメディアファイルは、Finder 上でバックアップする必要があります。 |
| 関連データフィールド | 関連データフィールドに表示されるデータ。これらのフィールドにはライブラリとコレクションからのデータが表示されるためです。<br>ただし、Bento では、アドレスブック、iCal イベント、および iCal タスクライブラリのデータはバックアップされません。これらのライブラリを参照する関連データフィールドを使用している場合は、関連データは Mac OS のアドレスブックおよび iCal アプリケーションのデータに基づきます。 |

## バックアップリマインダーを使用する

デフォルトでは、Bento によりバックアップファイルを作成するように週に 1 度リマインダーが提供されます。




### バックアップリマインダーダイアログから Bento バックアップファイルを作成するには：

1. [ バックアップ ...] をクリックします。
2. 表示されるダイアログで、デフォルトの名前または場所を使用するか、またはバックアップファイル用の名前と場所を入力します。

## バックアップリマインダーを変更する

バックアップリマインダーのデフォルトの頻度を変更したり、バックアップリマインダーをオフにできます。

### バックアップリマインダーをオンにする、またはリマインダーの頻度を変更するには：

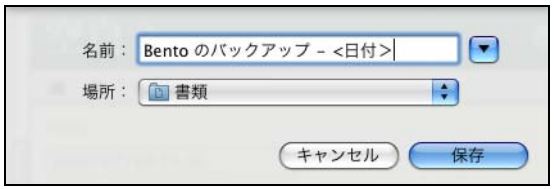
1. [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。
2. [ バックアップのリマインダーを表示 ] を選択し、データのバックアップを促すリマインダーを表示する頻度を設定します。データバックアップを促すリマインダーは、週ごとまたは 1 ヶ月ごとに表示させることができます。

### バックアップリマインダーをオフにするには：

1. [Bento] > [ 環境設定 ...] を選択します。
2. [ バックアップのリマインダーを表示 ] を選択解除します。

## バックアップファイルを作成する

Bento バックアップファイルを作成する場合は、Bento にあるデータのコピーを作成します。データの読み込み、ライブラリの削除、またはフォームを大幅に変更するなどの大規模な変更を行う前に、Bento データをバックアップすることがさまざまなリスクを回避する上で優れた方法です。




### バックアップファイルを作成するには：

1. [ ファイル ] > [Bento データをバックアップ ...] を選択します。
2. デフォルトの名前と場所を使用するか、またはバックアップファイル用の名前と場所を入力します。
3. [ 保存 ] をクリックします。
4. ( オプション ) Bento でアドレスブックや iCal アプリケーションのデータを表示する場合は、次にこれらのアプリケーションでバック アップを行ってください。Bento バックアップファイルには、これらのアプリケーションのデータは含まれません。

## バックアップファイルから復元する

Bento バックアップファイルからデータを復元すると、Bento にあるデータが Bento バックアップファイルの内容に置き換えられます。バックアップファイル作成後に Bento で行った追加の作業は失われます。削除したレコードは復元されます。

### バックアップファイルからデータを復元するには：

1. ( オプション ) Bento でアドレスブックや iCal アプリケーションのデータを表示する場合は、まずこれらのアプリケーションのアーカイブ ( アドレスブック ) またはバックアップ (iCal) ファイルからデータを復元してください。Bento バックアップファイルには、これらのアプリケーションのデータは含まれません。

2 [ ファイル ] > [Bento のバックアップから復元 ...] を選択し、バックアップファイルの場所を確認します。

3 [ 開く ] をクリックします。

4 Bento に確認のダイアログが表示されたら、[ 続行 ...] をクリックします。Bento により Bento バックアップファイルの内容がロードされます。

## Bento で Time Machine を使用する

Time Machine は、コンピュータのバックアップ (Bento データを含む ) を定期的に実行する Mac OS X アプリケーションです。Time Machine を使用して特定の日時に実行したバックアップから Bento データを復元できます。

データを Time Machine バックアップから復元すると、Bento にあるすべてのデータがバックアップファイルの内容に置き換えられます。

### Time Machine オプションを設定するには：

1 アップルメニューから [ システム環境設定 ...] を選択し、[Time Machine] をクリックします。

2 Time Machine 環境設定で、スイッチを [ 入 ] までスライドし、バックアップディスクを選択します。

3 ユーザのライブラリフォルダが Time Machine でバックアップされていることを確認します。（デフォルトでは、Time Machine では、ハードドライブ全体がバックアップされます。）

### Time Machine を使用して Bento データを復元するには：

1 Bento を終了します。

2 ( オプション ) アドレスブックや iCal アプリケーションデータを Bento で表示する場合は、まず各アプリケーションからデータを復元してください。（Bento バックアップファイルには、これらのアプリケーションのデータは含まれません。）詳細については、134 ページの「アドレスブックおよび iCal データをバックアップする」を参照してください。

3 Finder ウインドウを開いて、ユーザのライブラリフォルダの Bento フォルダに移動します。

ライブラリ /Application Support/Bento/

4 Dock またはアプリケーションフォルダから Time Machine を開きます。

5 画面の右側にある矢印またはタイムラインを使用して、Time Machine により作成されたすべてのバックアップを参照します。

6 復元するデータの日付が見つかったら、ファイル bento.bentodb を選択し、[ 復元 ] をクリックします。

7 確認ダイアログで [ 置き換え ] をクリックします。

復元された bento.bentodb ファイルがライブラリ /Application Support/Bento/ にコピーされます。この場合、Bento にあるデータがすべて置き換えられます。

8 Bento を開きます。Bento では、bento.bentodb ファイルの内容がロードされます。

# 同期する 12

## この章では、Bento for Mac を Bento for iPhone および Bento for iPad と同期する方法について説明します。

Bento for iPhone および Bento for iPad は、iPhone、iPod touch、または iPad で、ライブラリ、コレクション、レコード、およびフィールドを作成できるパーソナルデータベースアプリケーションです。

2 台の iOS デバイスを Bento for Mac と同期させることができます。たとえば、iPhone と iPad を 1 台ずつ、iPhone と iPod touch を 1 台ずつ、または iPad 2 台と Bento for Mac を同期させることができます。Bento for Mac は、接続されているすべてのデバイス全体で 1 つのライブラリのセットと同期します。

Bento for Mac には、2 台のデバイスを同時に接続できますが、Bento for Mac と同期するデバイスは一度に 1 台だけです。2 番目のデバイスの同期を開始しても、1 番目のデバイスから開始した同期が進行中の場合、1 番目のデバイスの同期が中断されることはありません。2 番目のデバイスの同期は、1 番目のデバイスの同期が完了した後で開始します。

## Mac とデバイスの情報を同期する

同期すると、コンピュータと 2 台の iOS デバイスで情報を共有できます。たとえば、Bento for iPad のライブラリに情報を追加し Bento for Mac と同期すると、その情報はデスクトップの Bento と Bento for iPhone のライブラリに追加されます。

同期できる Bento for Mac、Bento for iPhone、および Bento for iPad のバージョンについては、FileMaker ナレッジベースを参照してください。

メモ アドレスブック、iCal イベント、および iCal タスクライブラリは Bento 4 for iPad と同期できません。iCal イベントライブラリは Bento for iPhone と同期できません。デフォルトでは、その他すべてのライブラリが同期されます。アドレスブックおよび iCal ライブラリからのデータ移行については、43 ページの「iCal、iPhoto およびアドレスブックライブラリを移行する」を参照してください。

## デバイスをコンピュータと同じ Wi-Fi ネットワークに接続する

Bento for Mac と Bento for iPhone または Bento for iPad は、デスクトップアプリケーションとデバイスアプリケーションの両方が開いていて、コンピュータ間 ( アドホック ) ネットワークなどの同じ Wi-Fi ネットワークに接続されている場合に同期できます。ネットワークの詳細については、Mac ヘルプを参照してください。

### デバイスをコンピュータと同じ Wi-Fi ネットワークに接続するには：

1. デバイス上で [ ホーム ] ボタンをクリックし、[ 設定 ] をタップしてから [Wi-Fi] をタップし、Wi-Fi ネットワークを選択します。
2. Mac で、アップルメニュー から [ システム環境設定 ...] > [ ネットワーク ] を選択します。
3. ネットワークパネルの左側で [AirPort] (Mac OS X 10.6) または [Wi-Fi] (OS X Lion 10.7) をクリックします。
4. ネットワーク名は、デバイスの接続に選択したものと同じ Wi-Fi ネットワークを選択します。
5. [Airport を入にする ] (Mac OS X 10.6) または [Wi-Fi を入にする ] (OS X Lion10.7) をクリックします。
6. [ 適用 ] をクリックして、ネットワークパネルを閉じます。

## 最初の同期

Bento for Mac と Bento for iPhone または Bento for iPad を同じ Wi-Fi ネットワークに接続すると、データベースを同期できます。

同期する前に、Bento のデータをバックアップします。詳細については、133 ページの「情報をバックアップおよび復元する」を参照してください。

### 最初に同期するには：

1. 次のいずれかを行います：
   - Bento for iPhone を起動して をタップします。
   - Bento for iPad を起動して をタップしてから [ 同期 ] をタップします。
2. [ 新しいコンピュータとの同期 ] をタップします。
3. 4 桁のパスコードが表示されます。

   メモ デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されていない場合は、警告が表示されます。Wi-Fi ネットワークに接続するには、140 ページの「デバイスをコンピュータと同じ Wi-Fi ネットワークに接続する」を参照してください。

4 Bento for Mac を起動し、[ ファイル ] > [ デバイスと同期の設定 ...] を選択します。

5 デバイスを選択して、[ 続行 ] をクリックします。

6 接続パネルで、デバイスに表示されたパスコードを入力します。

同期が開始します。

7 同期が完了した後、既存のアドレスブックライブラリがある場合、データを移行するように求めるメッセージが表示されます。画面に表示される手順に従ってデータを移行します。

メモ Bento は Bento アドレスブックライブラリと Bento 4 for iPad の同期をサポートしません。

ロックされた暗号化フィールドがライブラリに含まれる場合、データベースパスワードを入力してフィールドのロックを解除するように求められます。暗号化フィールドのロックを解除しない場合、ライブラリは移行されません。

ライブラリパネルのデバイスセクションからデバイスを選択し、[ 移行 ] をクリックしてデータを移行することもできます。画面に表示される手順に従ってデータを移行します。

移行が完了した後、Bento for Mac のアドレスブックライブラリが Bento 連絡先ライブラリで置き換えられます。新しい Bento 連絡先ライブラリは Mac OS のアドレスブックアプリケーションとはリンクされません。デバイス上で新しい連絡先ライブラリを表示するには、Bento for Mac を iOS デバイスに再度同期します。

データの移行の詳細については、43 ページの「iCal、iPhoto およびアドレスブックライブラリを移行する」を参照してください。

## Bento for Mac と Bento for iPhone または Bento for iPad を同期する

最初に同期した後は、Bento for Mac、Bento for iPhone、または Bento for iPad でデータを追加、編集または削除できます。Bento 製品全体で一貫したデータを保つには、忘れずに定期的に同期してください。

Bento for Mac は、デスクトップアプリケーションとデバイスアプリケーションの両方が開いていて、同じ Wi-Fi ネットワークに接続されている場合に、Bento for iPhone または Bento for iPad と同期できます。詳細については、140 ページの「デバイスをコンピュータと同じ Wi-Fi ネットワークに接続する」を参照してください。

### Bento for Mac を Bento for iPhone または Bento for iPad と同期するには：

1. ( オプション ) Bento for Mac のライブラリパネルのデバイスセクションでデバイスを選択し、同期するライブラリが選択されていることを確認します。
2. 次のいずれかを行います：
   - Bento for iPhone を起動して をタップします。
   - Bento for iPad を起動して をタップしてから [ 同期 ] をタップします。
3. [ 今すぐ同期 ] をタップします。
4. 同期が完了した後、既存のアドレスブックライブラリがある場合、データを移行するように求めるメッセージが表示されます。アドレスブックライブラリを新しい Bento 連絡先ライブラリに移行するには、画面に表示される手順に従います。詳細については、43 ページの「iCal、iPhoto およびアドレスブックライブラリを移行する」を参照してください。

ヒント　最後に同期した時刻を確認するには、[ 同期および設定 ] 画面 (Bento for iPhone) または [ 同期 ] ウィンドウ (Bento for iPad) でタイムスタンプをチェックします。

## 接続されたデバイスを管理する

Bento for Mac を 2 台の iOS デバイスと同期できます。複数のデバイスを Bento for Mac と同期させている場合、Bento は現在接続されているデバイスと最後にいつ同期したかを記録します。

### 現在接続されているデバイスのリストにデバイスを追加するには：

1. Bento for Mac のライブラリパネルのデバイスセクションで をクリックします。
2. [ セットアップ ] 画面の下部で [ 追加 ] をクリックします。

   すでに 2 台のデバイスが表示されている場合は、まず取り除くデバイスを選択して、[ 取り除く ] をクリックします。
3. 140 ページの「最初の同期」の手順に従います。

   デバイスが [ セットアップ ] タブのリストに追加されます。リストには各デバイスの最近の同期日時も表示されます。

### 現在接続されているデバイスのリストからデバイスを取り除くには：

1. Bento for Mac のライブラリパネルのデバイスセクションで をクリックします。
2. [ セットアップ ] 画面の下部で、デバイスを選択して、[ 取り除く ] をクリックします。

   選択したデバイスが [ セットアップ ] タブのリストから取り除かれます。

## 同期のトラブルシューティング

このセクションでは、Bento 製品間の情報の同期に伴う一般的な問題のいくつかについて説明します。

- **複数の Bento for Mac をデバイスと同期できますか？**

  いいえ。1 台のデバイスが同期できる Bento デスクトップは 1 つだけです。2 番目の Bento for Mac をデバイスと同期すると、1 番目のデスクトップからのライブラリが取り除かれます。データ損失を防止するには、複数のデスクトップとの接続は避けてください。

- **Bento 4 for iPad を Bento for Mac のアドレスブックライブラリと同期できますか？**

  Bento 4 for iPad は Bento for Mac のアドレスブックライブラリと同期しません。Bento for Mac のアドレスブックライブラリを新しい Bento 連絡先ライブラリに移行した後、iOS デバイスと同期してデータを表示できます。

- **Bento 4 for iPad または Bento for iPhone を Bento for Mac の iCal ライブラリと同期できますか？**

  iCal イベントライブラリおよび iCal タスクライブラリは Bento 4 for iPad と同期できません。iCal イベントライブラリは Bento for iPhone と同期できません。Bento for Mac の iCal タスクライブラリを新しい Bento タスクライブラリに、および iCal イベントライブラリを新しい Bento イベントライブラリに移行した後、iOS デバイスを同期してデータを表示できます。43 ページの「iCal、iPhoto およびアドレスブックライブラリを移行する」を参照してください。

- **すべてのメディアファイルを同期できなかったのはなぜですか？**

  Bento for Mac の 10 メガバイトを超えるメディアファイル、またはデバイスで開くことや再生することができない Bento for Mac のメディアファイルは同期できません。Bento for iPad または Bento for iPhone の 10 メガバイトを超えるメディアファイルは Bento for Mac と同期できます。

- **同期中に Bento for iPhone または Bento for iPad が中断された場合はどうなりますか？**

  同期中に Bento for iPhone または Bento for iPad が中断された場合 ( 電話がかかってきたり、電源障害の場合など ) は、同期を再起動する必要があります。

- **同期する場合、1 台のデバイスのデータが別のデバイスのデータと不一致だとどうなりますか？**

  データの不一致がある場合、Bento for iPhone または Bento for iPad によって、Bento for Mac のデータが上書きされます。たとえば、John Smith の電話番号が両方の Bento アプリケーションに保存されているとします。Bento for Mac の電話番号を 555-1010 に、Bento for iPhone の電話番号を 555-9090 に変更します。同期すると、デバイスの電話番号で、コンピュータの電話番号が上書きされます。

# キーボードショートカット A

## このセクションでは、キーボードショートカットのリファレンスを提供します。

キーボードおよびマウスを使用すると、Bento でのさまざまなタスクを迅速に完了できます。共通メニューコマンドのショートカットを探すには、メニュー内で確認してください ( または、ここに記載されているメニューショートカットを参照してください )。操作を完了するには、提示されている順序に従ってショートカットキーを押します。

メモ　表形式およびフォーム形式のすべてのフィールドで Tab および Shift + Tab 操作を行うには、フルキーボードアクセスを [ すべてのコントロール ] に設定する必要があります。

### フルキーボードアクセスを [ すべてのコントロール ] に設定するには：

1. [ システム環境設定 ] を開きます（アップルメニューから [ システム環境設定 ...] を選択）。
2. [ キーボード ] を開きます。
3. [ キーボードショートカット ] タブをクリックします。
4. フルキーボードアクセスの下で、[ すべてのコントロール ] を選択します。

| 操作 | ショートカット |
|---|---|
| **フォーム形式を使用した作業** | |
| フォームツールを表示または隠す | Option + コマンド + C |
| 次のフィールドに移動 | Tab |
| 前のフィールドに移動 | Shift + Tab |
| フォームの名称変更 | フォーム名をダブルクリック |
| 複数フィールドを選択 | 最初のフィールドの外側をクリックし、選択するその他のフィールドまで選択領域をドラッグする。 |
| フィールド選択を拡張 | フィールドが選択されたら、Shift キーまたはコマンドキーを押しながらクリックして、選択したフィールドのセットで項目を追加または削除する。 |

| 操作 | ショートカット |
| --- | --- |
| すべてのフィールドを選択 | コマンド + A |
| すべてのフィールドを選択解除 | Shift + コマンド + A |
| チェックボックスフィールドのチェックマークの選択 / 選択解除 | チェックボックスフィールドを選択してから、スペース キーを押す。 |
| **1 つのセルが選択されている場合の表形式を使用した作業** | |
| 値の編集 | Option + Return |
| 保存して次のセルに移動 | Return |
| テキストフィールドに改行を追加 | コマンド + Return |
| 上のセルに移動 | 上矢印 |
| 下のセルに移動 | 下矢印 |
| 次のフィールドに移動 | Tab |
| 前のフィールドに移動 | Shift + Tab |
| **1 つ以上のセルが選択されている場合の表形式を使用した作業** | |
| 選択を上に拡張 | Shift + 上矢印 |
| 選択を下に拡張 | Shift + 下矢印 |
| **レコードが選択されている場合の表形式を使用した作業** | |
| レコードを選択 | 行番号をクリックします。レコード全体が選択されます。 |
| 複数レコードを選択 | レコードを 1 つ選択し、次に、Shift を押しながら別のレコードをクリックして、その間のすべてのレコードを選択。 |
| レコード選択を拡張 | レコードを選択した状態でコマンドキーを押しながらレコードをクリックすると、選択されていない場合はレコードが選択に追加されます。選択されている場合はレコードが選択から取り除かれます。 |
| 上のレコードに移動 | 上矢印 |
| 下のレコードに移動 | 下矢印 |
| **レコードを使用した作業** | |
| レコードの追加 | コマンド + N |
| レコードの複製 | Shift + コマンド + D |
| レコード ( ライブラリ ) を削除する<br>レコード ( コレクション ) を取り除く | コマンド + Delete |
| 次のレコードに移動 | コマンド + 右カッコ (]) |
| 前のレコードに移動 | コマンド + 左カッコ ([) |

| 操作 | ショートカット |
| --- | --- |
| 最初のレコードに移動 | Option + コマンド + 左カッコ ([) |
| 最後のレコードに移動 | Option + コマンド + 右カッコ (]) |
| | |
| **テキストおよびオブジェクトを使用した作業** | |
| 編集するフィールド内のすべてのテキストを選択 | コマンド + A |
| 編集するフィールド内のすべてのテキストを選択解除 | Shift + コマンド + A |
| カット | コマンド + X |
| コピー | コマンド + C |
| ペースト | コマンド + V |
| 複製 | コマンド + D |
| 削除 | Delete |
| 英文スペルチェック | コマンド + セミコロン (;) |
| スペルウインドウを表示 | コマンド + コロン (:) |
| 特殊文字ウインドウを表示 | Option + コマンド + T |
| | |
| **一般** | |
| テンプレートからライブラリを作成 ([ 新規ライブラリ ] ダイアログを開く ) | コマンド + L |
| テンプレートエクスチェンジからライブラリを作成 | Option + コマンド + L |
| コレクションを作成 | Shift + コマンド + N |
| スマートコレクションを作成 | Option + コマンド + N |
| フィールドを追加 | Control + N |
| 詳細検索を表示または隠す | コマンド + F |
| 選択した項目のクイックルック | コマンド + Y |
| 表形式で、選択した 1 件以上のメールアドレスにメールを送信 | Shift + コマンド + M |
| 検索フィールドを使用 | Option + コマンド + F |
| 表形式を表示 | コマンド + 1 |
| グリッド形式を表示 | コマンド + 2 |
| 分割形式を表示 ( 表 / フォーム、またはグリッド / フォーム ) | コマンド + 3 |
| フォーム形式を表示 ( 次のフォームに移動するには、ショートカットを繰り返す ) | コマンド + 4 |

| 操作 | ショートカット |
| --- | --- |
| ライブラリおよびフィールドパネルを表示または隠す | コマンド + 5 |
| メインウインドウの次の領域に移動 | Control + Option + 右矢印 |
| メインウインドウの前の領域に移動 | Control + Option + 左矢印 |
| 集計行を表示 / 隠す | コマンド + 6 |
| ファイルの読み込み | Shift + コマンド + I |
| 現在のライブラリまたはコレクションの書き出し | Shift + コマンド + E |
| 現在の表示にある現在のライブラリまたはコレクションをプリント | コマンド + P |
| 現在のライブラリまたはコレクションからラベルをプリントする | Shift + コマンド + P |
| 最後の操作の取り消し | コマンド + Z |
| 最後に取り消した操作のやり直し | Shift + コマンド + Z |
| ウインドウを開く | コマンド + 0 ( ゼロ ) |
| ウインドウを閉じる | コマンド + W |
| ウインドウをしまう | コマンド + M |
| 環境設定を表示 | コマンド + コンマ (,) |
| 暗号化フィールドをロック | Shift + コマンド + L |
| Bento ヘルプメニューを表示 | Shift + コマンド + 疑問符 (?) |
| Bento を隠す | コマンド + H |
| その他のウインドウを隠す | Option + コマンド + H |
| Bento を終了 | コマンド + Q |

# 前のバージョンの Bento に復帰する

B

このセクションでは、Bento 4 をインストールした Bento 1、Bento 2、および Bento 3 ユーザが前のバージョンに戻す場合の手順について説明します。

## Bento 4 から前のバージョンに復帰する

前のバージョンの Bento をインストールしている場合、Bento 4 では前の Bento のデータベースファイルを使用して、新しいデータベースファイルを作成します。古い Bento データベースは、bentoUpgradeBackup.bentodb に名称変更され、Bento 4 データベースに bento.bentodb という名前が付けられます。

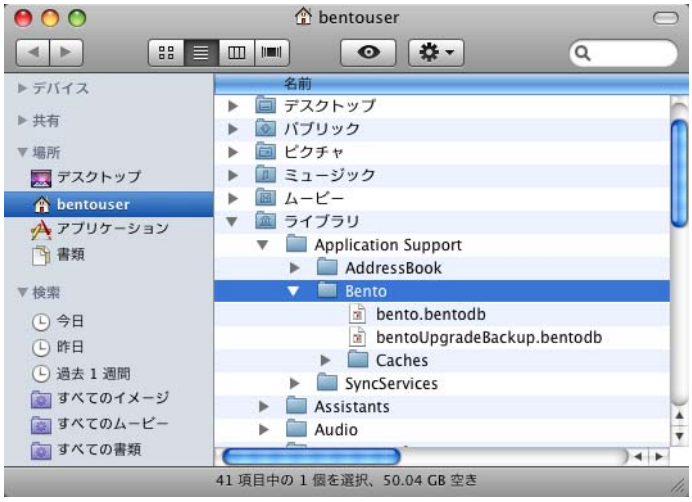
Bento 4 で作成したデータを Bento の前のバージョンで使用する場合は、データベースを復帰する前に、Bento 4 のレコードを .csv 形式で書き出します。詳細については、121 ページの「情報を Bento から書き出す」を参照してください。

### Bento 4 から Bento 1、Bento 2 または Bento 3 に復帰するには：

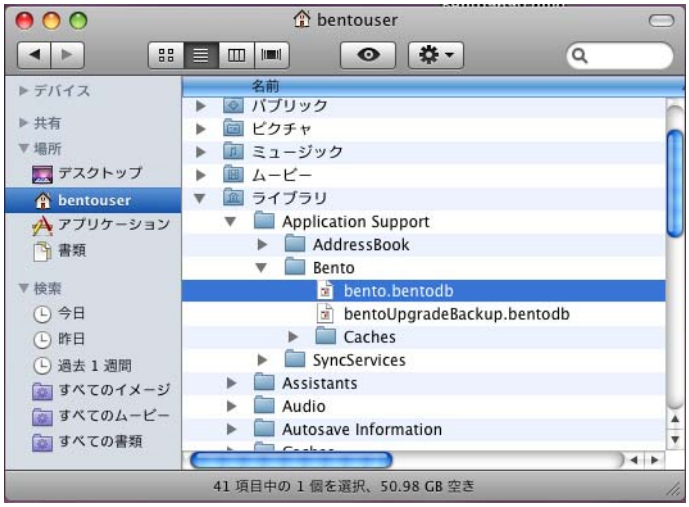
1. Bento が現在開いている場合は、[Bento] > [Bento を終了 ] を選択します。
2. Finder で [ 移動 ] > [ ホーム ] を選択します。
3. 「ライブラリ」フォルダ、「Application Support」フォルダ、「Bento」フォルダの順に開きます。

   現在の Bento 4 データベースファイル (bento.bentodb) および前の Bento のデータベースバックアップファイル (bentoUpgradeBackup.bentodb) が表示されます。

   Bento 1 および Bento 2 ユーザ：bentoUpgradeBackup.bentodb と bentoUpgradeBackup 2.bentodb という 2 つのデータベースバックアップファイルが作成されます。

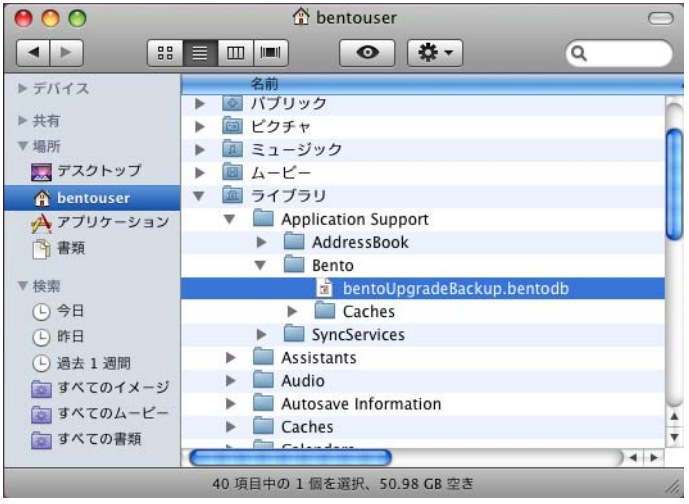


4 bento.bentodb (Bento 4) ファイルをゴミ箱にドラッグします。




5 bentoUpgradeBackup.bentodb ファイルの名前を bento.bentodb に変更します。

Bento 1 および Bento 2 ユーザ：bentoUpgradeBackup.bentodb ファイルの名前だけを変更してください。bentoUpgradeBackup 2.bentodb ファイルの名前は変更しないでください。



6 フォルダの表示はこのようになります（bentoUpgradeBackup.bentodb が bento.bentodb によって置き換えられています）。

7 前の Bento アプリケーションを検索して起動します。

前の Bento アプリケーションを Bento 4 試用版で上書きした場合は、Bento サポート Web サイトから別のコピーをダウンロードできます。

8 データは、Bento 4 の使用開始前と同じように Bento 1 、Bento 2 または Bento 3 に表示されます。

9 Bento 4 アプリケーションをゴミ箱にドラッグします。

または、再度使用する場合に備えて、Bento 4 アプリケーションの名前を変更します（そして別のフォルダに保存してください）。

# 索引


## A

AppleWorks から書き出す 112

## B

bento.bentodb 105, 138
Bento for iPad、Bento と同期する 139, 143
Bento for iPhone、Bento と同期する 139, 143
bentoUpgradeBackup.bentodb 149
Bento テンプレートエクスチェンジ 15, 123
Bento の前のバージョンに復帰する 150
Bento フォーラム 15

## C

ClarisWorks から書き出す 112
CSV ファイル 10
　説明 112
　ファイル名拡張子の要件 112

## I

iCal イベントライブラリ
　移行する 44
　同期する 139
iCal タスクライブラリ
　移行する 44
　同期する 139
IM アカウントフィールド 83
iPad 139
iPhone 139
iPhoto ライブラ、移行する 44
iPod touch 139
iSight カメラ 104
iTunes
　ファイルをメディアフィールドに追加する 105
　プレイリスト 47

## J

JPEG 104

## M

Mac OS X Mail 項目 88
MP3 ファイル 104

## N

Numbers ファイル
　読み込む 115
　書き出す 122

## P

PDF ファイル 87

## Q

QuickTime 104

## T

tab ファイル
　説明 112
　ファイル名拡張子の要件 112
Time Machine 133, 137
tsv ファイル
　ファイル名拡張子の要件 112
　説明 112

## U

URL フィールド 83

## W

Wi-Fi ネットワーク 139, 140

## あ

アーカイブ。「バックアップ」を参照。
アドホックネットワーク 139, 140
アドレスフィールド 83
アドレスブックアプリケーション
　アドレスブックグループ 39
　データを表示する 40
　読み込み 45

アドレスブックライブラリ
アドレスブックアプリケーションでアップデートされたフィールド 41
移行する 45, 143
隠す 40
説明 39
同期する 139
トラブルシューティング 42
表示する 40
暗号化フィールド
共有 37
検索する 26
説明 83
データベースパスワード 107

## い

移行する
iCal イベントライブラリ 44
iCal タスクライブラリ 44
iPhoto ライブラリ 44
アドレスブックライブラリ 45, 143
イベントライブラリ 44
イメージボックス 64

## え

英文スペルチェック 147
演算子 85

## お

オブジェクト
イメージボックス 64
サイズ変更する 60
テキストボックス 63
フォーム上で移動する 60
フォーム上で選択する 60
音楽 105

## か

カード。「フォーム」を参照。
カウント関数 76
書き出す
CSV 形式 121
Excel 2008 形式 121
Numbers 形式 121
TAB 形式 121
ファイルをドラッグして 125
ライブラリテンプレート形式 121
画像 104
移動およびサイズ変更 105
保存 106
簡易リストフィールド
説明 82, 99
データを集計する 75
簡易リストフィールドの列 75, 99
関連データフィールド 12, 82
移動する 93
作成する 89
関連レコードリスト。「関連データフィールド」を参照。

## き

キーボードショートカット 145
共有パスワード 37
「データベースパスワード」も参照。

## く

クイックルック 98
クイックルックでファイルをプレビューする 98
空白テンプレート 32
区切り線、水平 64
グリッド形式、説明 24, 77
グリッド項目
説明 77
デフォルトのフォームを設定する 80
デフォルトのメディアフィールドを設定する 79
表示サイズを変更する 79
表示する 78
ラベルを追加する 79
グループ、アドレスブック
および Bento コレクション 39

## け

計算
簡易リストフィールド 86
設定 85
計算フィールド 83
作成する 85
形式、説明 22
継続時間フィールド 82
現在の日付と時刻 55
検索する
検索フィールド 26
詳細検索 26, 27
場所フィールド 28
フィールドのテキスト 26
検索フィールド 26

## こ

合計関数 76
コレクション 11
　およびアドレスブックグループ 39
　異なるデータを表示する 53
　削除する 49
　作成する 48
　さまざまなコレクションでレコードを関連付ける 89
　説明 20, 47
　にあるフィールドを表示する 29
　読み込む 116
　ライブラリパネルに追加する 20
コレクションからレコードを取り除く 49
コンピュータ間ネットワーク 139, 140
コンマ区切りファイル 10
　説明 112

## さ

最小値関数 76
最大値関数 76
サウンドファイル 105
削除する
　コレクション 49
　フィールドおよびデータ 95
　フィールドをフォームから 61
　フォーム 56
　メディアファイル 106
　ライブラリ 38
　レコード 38, 55, 70
作成する
　コレクション 48
　スマートコレクション 50
　表形式のレコード 68
　フィールド 84, 94
　フォーム 56
　フォーム形式でレコードを作成する 54
　ライブラリ 32

## し

式 85
時刻、現在 55
時刻フィールド 82
自動カウンタフィールド 83
写真 104
写真ライブラリ 44
集計行 75, 100, 103
自由自在のスペース 65
詳細検索 26, 27

## す

数字フィールド 82
スプレッドシートから読み込む 112
スプレッドシート形式。「表形式」を参照。
スペーサ 65
スマートコレクション
　作成する 50
　説明 20, 50

## せ

選択フィールド 82

## た

タスクライブラリ 44
タブ区切り (tsv) ファイル、説明 112

## ち

チェックボックスフィールド 82
チュートリアル 15

## つ

通貨フィールド 83

## て

データソース、関連レコードに指定する 90
データの復元 136
データベース
　共有 35
　共有されているデータベースを検索する 36
　共有をオフにする 36
　共有を解除する 36
　読み込む 112
データベースパスワード 107
　「共有パスワード」も参照。
データベースを共有する 35
　共有されているデータベースを検索する 36
　共有をオフにする 36
テーマ
　説明 24
　フォーム用に変更する 61
テーマセレクタ 61
テキスト、サイズを変更する 62
テキストの自動入力 72
テキストフィールド 82
テキストフィールドを自動的に入力する 72
テキストボックス 63
テキストを自動的に入力する 72
テクニカルサポート 16

デバイス、同期する 139, 143
デバイスを組み合わせる 139
テンプレート 8
　空白テンプレート 32
　説明 21
　ライブラリを作成する 32
テンプレートエクスチェンジ 15, 123
電話番号フィールド 83

## と

同期する
　Bento と Bento for iPad 139, 143
　Bento と Bento for iPhone 139, 143
　iCal イベントライブラリ 139
　iCal タスクライブラリ 139
　アドレスブックライブラリ 139
トラブルシューティング
　Bento を Bento for iPad と同期する 143
　Bento を Bento for iPhone と同期する 143
　アドレスブック 42

## な

ナビゲーションバー 25

## は

場所フィールド 88, 110
　検索する 28
　説明 83
パスコード 140
パスワード
　共有されているデータベース用 37
　最大文字数 107
　データベースおよび暗号化フィールド用 107
バックアップ
　説明 133
　リマインダーをオフにする 135
バックアップ、復元 136

## ひ

日付
　現在 55
日付フィールド 82
表形式
　説明 23, 32, 67
　データをコピーおよびペーストする 69
　テキストサイズ 68
　レコードを選択する 68
表形式の行。「レコード」を参照。
表形式の列。「フィールド」も参照。75
　サイズ変更する 75
　並べ替える 74
　表示または隠す 73
表形式の列。「フィールド」を参照。
　説明 67

## ふ

ファイル、ファイルリストフィールドに格納する 86
ファイルまたはフォルダへのエイリアス 86, 88, 105
ファイルリストフィールド 82
　作成する 86
　ファイルを開く 97
ファイルリストフィールドのファイルのコピー 86
ファイルリストフィールドへのファイルの格納 86
フィールド
　アドレスブックから表示される 41
　移動する 59
　共有 37
　現在のライブラリにある 29
　異なるフォーム形式 53
　サイズ変更する 60
　作成する 84, 94
　シェーディングを追加する 63
　自動的に入力する 72, 75
　説明 81
　選択する 60
　データの計算 85
　データを削除する 95
　データを集計する 75
　場所 110
　表形式 67, 81
　フィールドパネルでロックされたフィールド 94
　フォームから削除する 61
　フォーム形式 81
　フォーム上で整列する 63
　フォームに追加する 59
　複製する 95
　保護 107
　メディア 104
　リストフィールド 83
　ロックする 108

フィールドタイプ
IM アカウント 83
URL 83
アドレス 83
暗号化 37, 83, 107
書き出す 126
簡易リスト 82, 99
関連データ 82
計算 83
継続時間 82
時刻 82
自動カウンタ 83
数字 82
説明 82
選択 82
選択する 84
チェックボックス 82
通貨 83
テキスト 82
電話番号 83
場所 83, 88, 110
日付 82
ファイルリスト 82
変更 95
メールアドレス 83
メッセージリスト 82, 88
メディア 82
読み込み 119
レート 83
フィールドタイプを変更する 95
フィールドパネル 18
隠す 19, 74
説明 29, 94
表形式のフィールドを隠すために使用する 73
フィールド名 85
表形式で変更する 71
フィールドパネルで変更する 94
読み込み中に設定する 115
フィールドラベル
移動する 62
テキストサイズを変更する 62
フィールドを自動的に入力する 75
フィールドをマッピングする 118
フォーム
オブジェクトを追加する 63, 64
カスタマイズ 60
グリッド形式のサムネール 77
削除する 56
作成する 56
テーマを変更する 61
非表示フォームの表示または隠す 57
フィールドを追加する 59
複製する 57
名称変更する 58
メディアファイルを追加する 104
列区切り線を削除する 65
列区切り線を自動的に追加する 65
列幅を変更する 61
ロック解除 58, 59
ロックする 58, 59
フォーム形式
[ 概要 ] および [ 詳細 ] ボタン 25
説明 24, 31, 53
フォーム上のフィールドを整列する 63
フォームの色、変更する 61
フォームのカスタマイズ 60
フォーラム 15
フォルダ、ライブラリ 37, 80
フォントサイズ
表形式で変更する 68
フォーム形式で変更する 62
プリントする 126
カスタムのページサイズを作成する 127
選択レコード 128
ラベル 129
プリント用にカスタムの余白を作成する 127
分割形式、説明 24, 54, 68

## へ

平均値関数 76

## ほ

ホームダイアログ 17

## む

ムービー 105

## め

メール
　表形式で送信する 96
　フォーム形式で送信 96
メールアドレスフィールド 83
メールを送信する
　表形式 96
　フォーム形式 96
メッセージリストフィールド 82, 88
メディアファイル
　削除する 106
　追加する 104
メディアフィールド 82, 104

## ゆ

郵送ラベル。「ラベル」を参照。129

## よ

読み込む 10
　Numbers ファイル 115
　アドレスブックデータ 45
　既存のライブラリに読み込む 116
　準備する 112
　新規ライブラリに 114
　説明 111
　ライブラリテンプレート 118

## ら

ライブラリ 9
　アイコンを変更する 34
　イベント 44
　書き出す 121
　既存のライブラリに読み込む 116
　グループ化 37, 80
　異なるデータを表示する 53
　削除する 38
　さまざまなライブラリのレコードを関連付ける 89
　写真 44
　説明 19
　タスク 44
　テンプレートを使用して作成する 32, 118
　にあるフィールドを表示する 29
　読み込みにより作成する 114
　ライブラリパネルに追加する 19
　連絡先 45
ライブラリテンプレート。「テンプレート」を参照。
ライブラリパネル
　アイコンとテキストのサイズを変更する 20
　隠す 19
　共有セクション 22
　説明 19
　デバイスセクション 21
ライブラリパネルの共有セクション 18
ライブラリパネルのデバイスセクション 18
ライブラリフォルダ 37, 80
ライブラリ用のアイコン 34
ライブラリをグループ化する 37, 80
ラベル
　カスタム 129, 131
　設定 129
　設定を保存する 129, 131
　フィールド 62
　プリントする 129
　郵送 129

## り

リストフィールド 83
リレーションシップ 12, 89

## れ

レートフィールド 83
レイアウト。「フォーム」を参照。
レコード
　関連 89
　コレクションに追加する 49
　探す 26
　削除する 38, 55, 70
　ソートする 71
　追加する 54, 68, 116
　データの計算 83
　取り除く 49
　表形式 67
　表形式で選択する 68
　表形式で編集する 69
　フォーム形式 53
　フォーム形式で編集する 54
　複製する 55, 70
　メディアファイルを追加する 104
レコード領域 18
レコードをコピーする 55, 70
レコードを探す 26, 27
レコードをソートする
　説明 71

列区切り線 65
列幅 ( フォーム ) 61
列名 115
連絡先
    関連 89
    表示する 39
    メール 96
連絡先ライブラリ 45

## ろ

ロックされたフィールド、フィールドパネル 94
ロックする
    Bento 108
    フィールド 108
    フォーム 58, 59